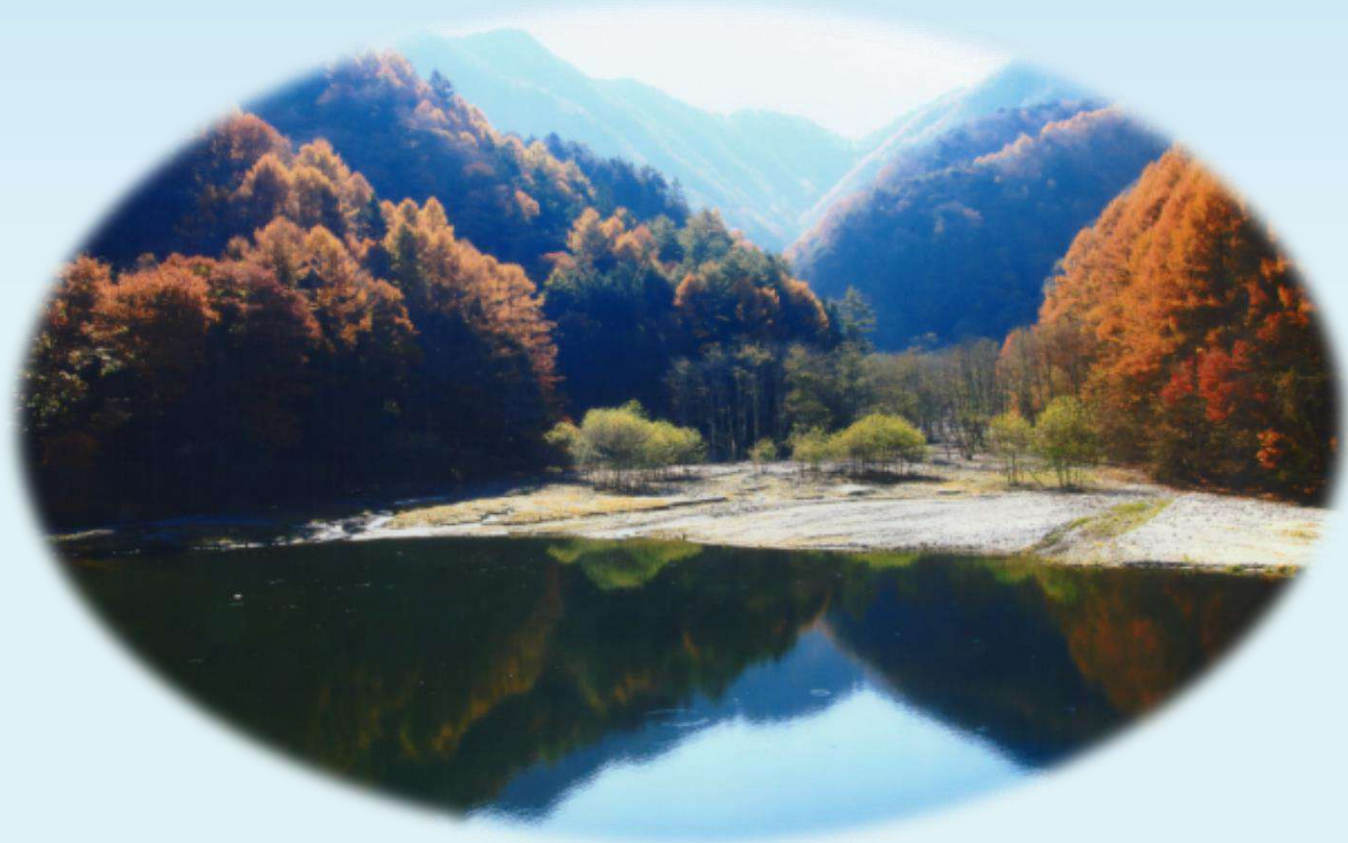


役場の仕事を知っていただき、明日のむらづくりにつなげるための

わかりやすい決算書

令和4年度
一般会計・特別会計



2022喬木村風景写真コンテスト 特別賞 「晩秋」



喬木村

○一般会計・特別会計 歳入歳出決算の状況

単位:円

会計名	歳入			歳出		
	令和4年度	令和3年度	前年比	令和4年度	令和3年度	前年比
一般会計	5,257,995,616	5,265,776,621	△0.1%	4,750,173,222	4,826,463,044	△1.6%
特別会計	1,508,196,326	1,421,916,421	+6.1%	1,478,513,266	1,394,000,342	+6.1%
国民健康保険特別会計	581,058,286	510,555,698	+13.8%	566,184,089	497,629,505	+13.8%
後期高齢者医療特別会計	88,063,097	86,447,508	+1.9%	87,928,297	86,418,508	+1.7%
介護保険特別会計	839,074,943	824,913,215	+1.7%	824,400,880	809,952,329	+1.8%
合計	6,766,191,942	6,687,693,042	+1.2%	6,228,686,488	6,220,463,386	+0.1%

目次

1 一般会計	P1
(1) 歳入	P2
(2) 歳出 性質別・目的別	P3
(3) 決算額の推移	P4
(4) 基金の状況	P5
(5) 事業別目次	P6
① 議会費	P9
② 総務費	P13
③ 民生費	P87
④ 衛生費	P167
⑤ 農林水産業費	P207
⑥ 商工費	P259
⑦ 土木費	P271
⑧ 消防費	P295
⑨ 教育費	P305
⑩ 災害復旧費	P373
⑪ 公債費	P377
2 国民健康保険特別会計	P381
3 後期高齢者医療特別会計	P433
4 介護保険特別会計	P443

令和4年度 喬木村一般会計

わかりやすい決算書

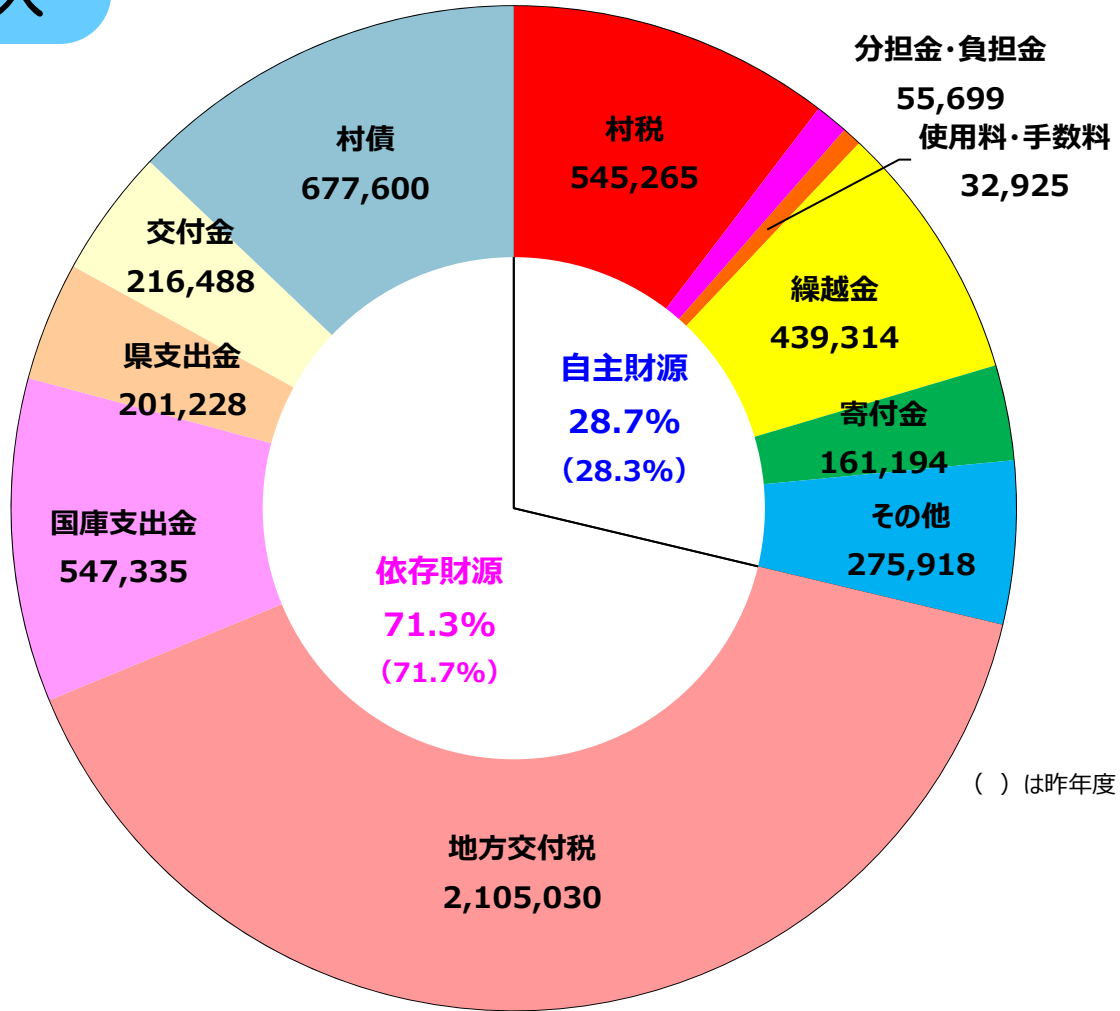
令和4年度 喬木村一般会計 主要事業の執行状況を別紙のとおり報告します。

令和5年9月6日

喬木村長 市瀬 直史

歳入

単位：千円



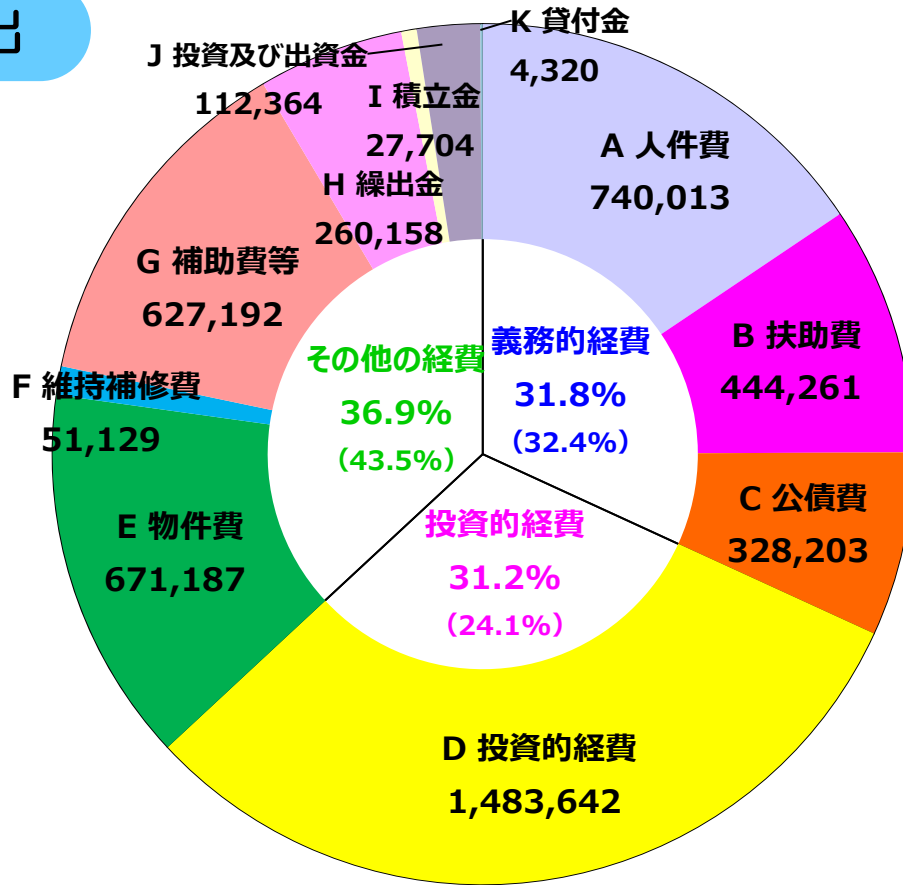
() は昨年度

単位：千円

区分	令和4年度	構成比	令和3年度	前年比	経常一般財源
1 村税	545,265	10.4%	530,677	+2.7%	545,265
2 地方譲与税	43,154	0.8%	42,380	+1.8%	43,154
3 利子割交付金	238	0.0%	431	△44.8%	238
4 配当割交付金	2,897	0.1%	3,344	△13.4%	2,897
5 株式等譲渡所得割交付金	2,092	0.0%	3,586	△41.7%	2,092
6 法人事業税交付金	8,695	0.2%	4,979	+74.6%	8,695
7 地方消費税交付金	150,531	2.9%	147,838	+1.8%	150,531
8 環境性能割交付金	2,728	0.1%	2,837	△3.8%	2,728
9 地方特例交付金	6,153	0.1%	10,844	△43.3%	6,153
10 地方交付税	2,105,030	40.0%	2,143,136	△1.8%	1,935,968
11 交通安全対策特別交付金	0	0.0%	0	-	0
12 分担金及び負担金	55,699	1.0%	55,587	+0.2%	0
13 使用料及び手数料	32,925	0.6%	34,455	△4.4%	0
14 国庫支出金	547,335	10.4%	610,968	△10.4%	0
15 県支出金	201,228	3.8%	195,920	+2.7%	0
16 財産収入	58,370	1.1%	25,005	+133.4%	233
17 寄付金	161,194	3.1%	190,546	△15.4%	0
18 繰入金	148,896	2.8%	1,253	+11783.2%	0
19 繰越金	439,314	8.4%	391,010	+12.4%	0
20 諸収入	68,652	1.3%	264,181	△74.0%	9
21 村債	677,600	12.9%	606,800	+11.7%	0
合計	5,257,996	100.0%	5,265,777	△0.1%	2,697,963

歳出

単位：千円



() は昨年度

○一般会計 歳出の状況(性質別) ※決算統計による区分

単位：千円

区分	令和4年度	構成比	令和3年度	前年比
A 人件費	740,013	15.6%	717,520	+3.1%
B 扶助費	444,261	9.3%	551,797	△19.5%
C 公債費(約定償還分)	328,203	6.9%	295,214	+11.2%
D 投資的経費	1,483,642	31.2%	1,163,677	+27.5%
E 物件費	671,187	14.1%	616,636	+8.8%
F 維持補修費	51,129	1.1%	30,506	+67.6%
G 補助費等	627,192	13.2%	568,173	+10.4%
H 繰出金	260,158	5.5%	253,818	+2.5%
I 積立金	27,704	0.6%	508,112	△94.5%
J 投資及び出資金	112,364	2.4%	115,010	△2.3%
K 貸付金	4,320	0.1%	6,000	△28.0%
合計	4,750,173	100.0%	4,826,463	△1.6%

○一般会計 歳出の状況(目的別)

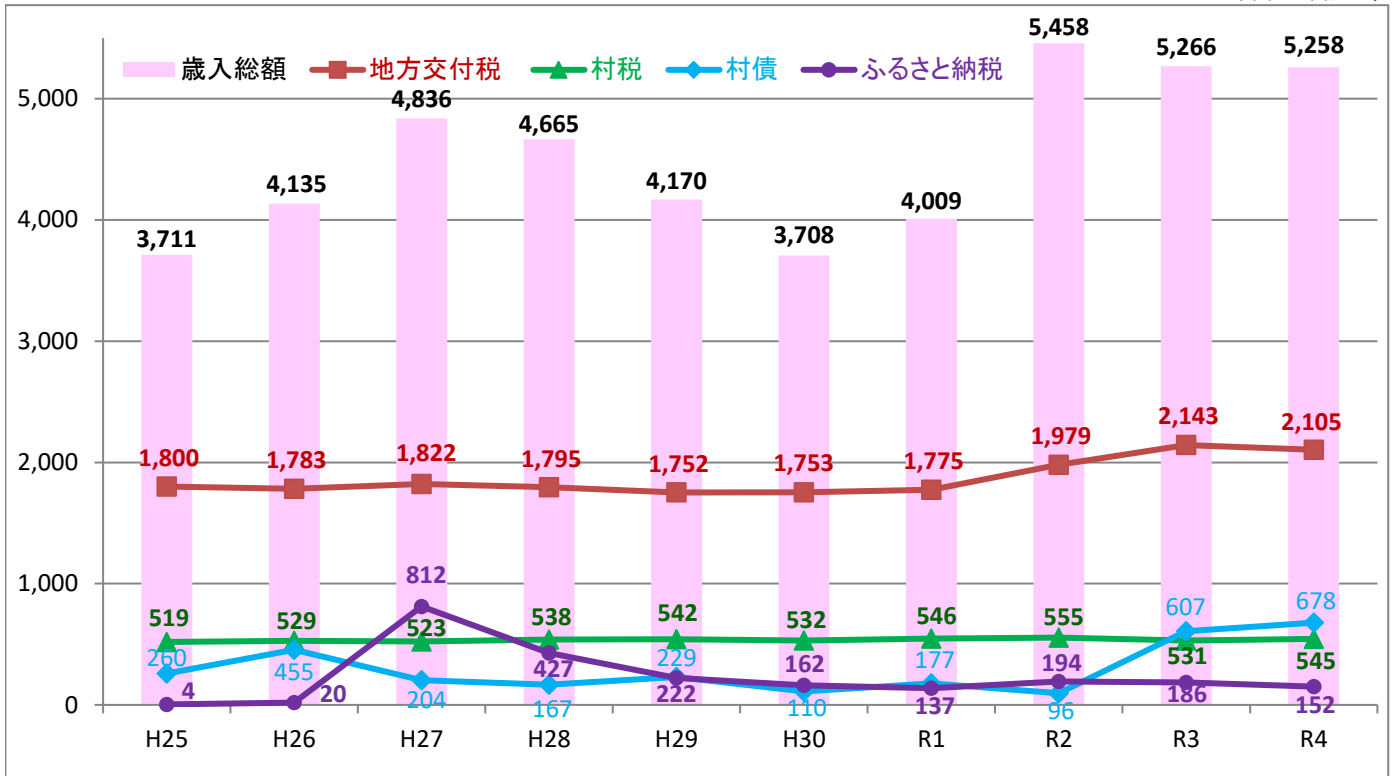
単位：千円

区分	令和4年度	構成比	令和3年度	前年比
1 議会費	51,165	1.1%	50,241	+1.8%
2 総務費	676,427	14.2%	1,338,279	△49.5%
3 民生費	1,618,629	34.1%	1,548,507	+4.5%
4 衛生費	228,846	4.8%	207,915	+10.1%
5 農林水産業費	170,900	3.6%	200,147	△14.6%
6 商工費	152,268	3.2%	157,036	△3.0%
7 土木費	972,841	20.5%	401,846	+142.1%
8 消防費	158,617	3.3%	139,546	+13.7%
9 教育費	383,457	8.1%	327,939	+16.9%
10 災害復旧費	8,820	0.2%	159,793	△94.5%
11 公債費	328,203	6.9%	295,214	+11.2%
12 諸支出金	0	0.0%	0	-
合計	4,750,173	100.0%	4,826,463	△1.6%

決算額の推移

① 歳入

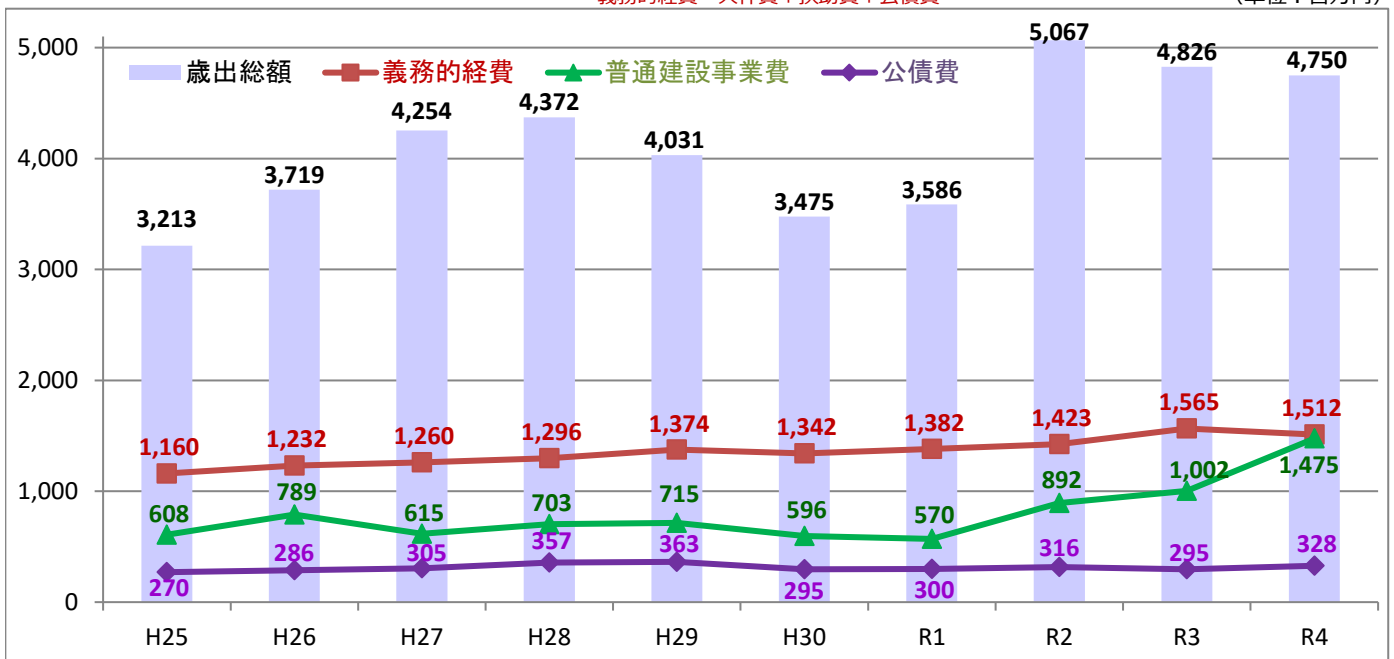
(単位：百万円)



② 歳出

義務的経費 = 人件費 + 扶助費 + 公債費

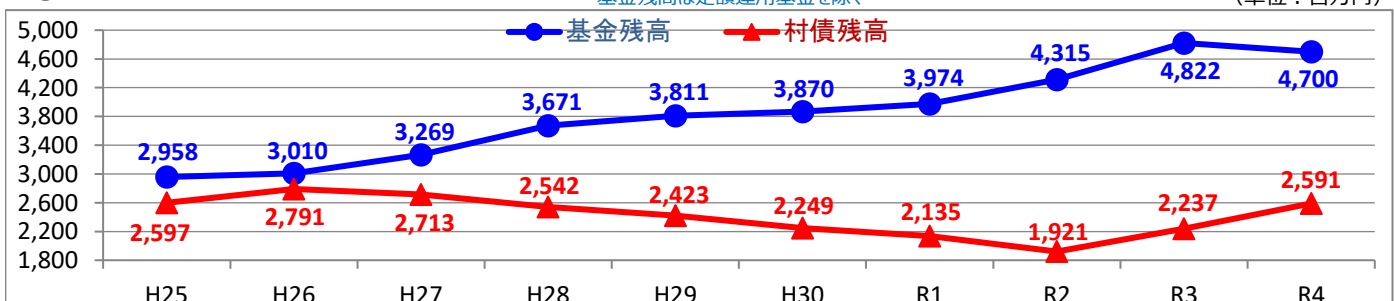
(単位：百万円)



③ 基金残高・起債残高

基金残高は定額運用基金を除く

(単位：百万円)



基金の状況

令和5年5月末(令和4年度末)現在高

単位:円

基金名	預入基金 期末額	令和4年度運用状況			
		期首額	利息	積み増し	取り崩し
1 財政調整基金	621,395,012	619,984,751	1,410,261		
2 減債基金	802,228,385	801,436,368	792,017		
* 3 公共施設整備基金	1,788,387,005	1,784,307,709	4,079,296		
* 4 福祉(果実)基金	225,469,494	225,469,400	549,105		549,011
* 5 福祉(取り崩し)基金	120,568,597	115,551,265	17,332	5,000,000	
* 6 リニア・三遠南信道関連 活性化基金	1,136,149,145	1,268,267,107	1,731,531	14,150,507	148,000,000
* 7 新型コロナ対策支援基金	5,644,060	6,540,100	198		896,238
★ 8 医療費支払基金	2,033,230	2,033,210	20		
★ 9 優良繁殖雌牛導入事業基金	4,396,347	4,946,298	49	1,000,000	1,550,000
★ 10 強い農業経営のための 施設栽培応援基金	15,164,978	13,491,499	139	1,976,910	303,570
一般会計11基金計	4,721,436,253	4,842,027,707	8,579,948	22,127,417	151,298,819
1 国民健康保険財政調整基金	121,521,433	121,451,914	69,519		
2 介護給付費準備基金	69,320,232	69,303,998	16,234		
3 水道事業基金	96,019,246	95,950,005	69,241		
特別会計3基金計	286,860,911	286,705,917	154,994	0	0
14基金総計	5,008,297,164	5,128,733,624	8,734,942	22,127,417	151,298,819
1 商工振興資金預託金	40,081,561	40,080,760	801		
総 計	5,048,378,725	5,168,814,384	8,735,743	22,127,417	151,298,819

★定額運用基金 * :その他特定目的基金

ページ	事業名	事業費 (千円)
議会費		
P9	議会一般管理費	3,343
P11	議員人件費	36,749
総務費		
P13	村営バス運営経費	46,315
P15	小さな拠点交通ネットワーク運行事業	8,979
P17	庁内情報機器関連経費	49,746
P19	企画財政一般経費	2,432
P21	地域コミュニティ推進事業	299
P23	地域おこし協力隊事業	10,749
P25	ふるさと納税関係経費	69,032
P27	企画財政システム関連経費	2,986
P29	下伊那北部総合事務組合関係経費	6,517
P31	庶務事務経費	27,799
P33	庁用事務管理経費	12,546
P35	交際費一般経費	230
P37	特別職人事経費	39,084
P39	広報一般経費	2,669
P41	会計一般経費	791
P43	公用車維持管理経費	9,695
P45	財政調整基金等管理経費	27,704
P47	庁舎管理経費	15,547
P49	交通安全防犯一般経費	2,084
P51	交通安全・防犯施設整備経費	506
P53	UIJターン推進事業	4,066
P55	リニア関連整備事業	46,267
P57	リニア対策関係事業	5,337
P59	次世代ネットワーク事業経費	20,641
P61	むらづくり推進経費	18,194
P63	総合計画関係経費	163
P65	文化祭・ふるさと祭り事業	1,913
P67	税務一般経費	588
P69	徴税賦課事務経費	22,814
P71	戸籍住民基本台帳経費	27,557
P73	選挙管理委員会経費	184
P75	参議院議員通常選挙執行経費	6,404
P77	長野県知事選挙執行経費	5,207

ページ	事業名	事業費 (千円)
P79	県議会議員一般選挙費	1,374
P81	統計一般経費	158
P83	監査委員関係経費	669
P85	職員人件費	608,637
民生費		
P87	出会い・結婚支援事業	1,914
P89	介護者慰労事業	850
P91	地域福祉総合助成金(障害者)	775
P93	老人福祉施設入所措置事業	11,836
P95	移送支援事業	5,460
P97	社会福祉協議会関係経費	11,445
P99	社会福祉一般経費	19,523
P101	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業	7,720
P103	国民健康保険関係経費	32,973
P105	児童・生徒医療費(村単)	9,121
P107	乳幼児医療費(県単)	8,348
P109	重心母子精神医療費(県単)	16,320
P111	重心母子精神医療費(村単)	1,445
P113	福祉医療事務関係経費	2,502
P115	福祉施設支援事業	5,179
P117	価格高騰緊急支援給付金支給事業	24,761
P119	生活困窮世帯緊急支援金支給事業	4,015
P121	国民年金事業	66
P123	高齢者クラブ活動事業	681
P125	緊急通報サービス事業	606
P127	介護保険特別会計関係経費	131,357
P129	後期高齢者医療関係経費	96,509
P131	福祉センター管理経費	4,677
P133	障害者総合支援関係経費	230,230
P135	地域生活支援事業経費	9,494
P137	喬木荘等維持管理経費	21,529
P139	出産祝金事業	2,500
P141	児童福祉一般経費	303
P143	子ども・子育て支援事業	4
P145	低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	4,421
P147	出産・子育て応援事業	3,500
P149	児童手当事業	91,215

ページ	事業名	事業費 (千円)	ページ	事業名	事業費 (千円)
P151	病児・病後児保育事業	19	P221	中山間地域等直接支払交付金事業	5,611
P153	保育所広域入所事業	19,221	P223	経営所得安定対策等推進事業	361
P155	保育所関係経費	9,809	P225	新規就農者育成総合対策	2,133
P157	統合保育所関係経費	633,948	P227	村単農業施設改良事業	10,368
P159	南保育園運営経費	5,148	P229	土地改良事業関係経費	4,900
P161	北保育園運営経費	10,396	P231	交流研修センター管理運営経費	12,028
P163	中央保育園運営経費	11,093	P233	公園事業	6,472
P165	災害救助経費	211	P235	クラインガルテン事業	830
衛生費			P237	ふるさと会事業	357
P167	保健衛生一般経費	2,270	P239	地域活性化関連事業補助金	9,441
P169	新型コロナウイルス感染症対策 傷病手当金事業	130	P241	森林造成事業	27,173
P171	予防接種事業経費	16,468	P243	林業総務一般経費	1,892
P173	保健事業経費	7,809	P245	森林づくり県民税事業	4,125
P175	健康増進事業経費	1,942	P247	有害鳥獣駆除事業	2,319
P177	がん検診推進事業経費(国庫)	139	P249	森林経営管理事業	4,059
P179	がん検診推進事業経費(村単)	7,342	P251	林道管理経費	103
P181	自殺対策事業経費	20	P253	県営林道開設事業	3,938
P183	後期高齢者保健事業	968	P255	林道橋梁管理事業	4,906
P185	風しん対策事業	476	P257	分収造林事業	2,556
P187	新型コロナウイルスワクチン接 種事業	33,820	商工費		
P189	妊婦健康診査支払事業経費	3,031	P259	商工業振興経費	37,946
P191	母子衛生関係経費	3,047	P261	喬木村地域活性化商品券発行事 業	62,696
P193	村営墓地事業	341	P263	喬木村飲食店消費活性化商品券 発行事業	8,462
P195	合併処理浄化槽経費	4,138	P265	喬木村物価高騰対策商品券発行 事業	31,690
P197	廃棄物処理事業	21,348	P267	観光振興経費	484
P199	環境一般経費	40,565	P269	消費者保護関係経費	20
P201	脱炭素・循環型社会推進事業	8,226	土木費		
P203	処分場管理経費	8,705	P271	土木管理経費	28,515
P205	水道事業経費	25,357	P273	急傾斜地崩壊対策事業	231
農林水産業費			P275	道路橋梁維持管理経費	70,911
P207	農業委員会運営経費	7,161	P277	社会資本整備総合交付金事業	74,475
P209	農業総務一般経費	427	P279	道路橋梁新設改良経費	212,752
P211	農地管理システム関係経費	1,485	P281	三遠南信自動車道関係事業	103
P213	遊休農地対策事業補助金	908	P283	河川維持経費	9,152
P215	農業振興事業補助金	13,390	P285	公営住宅事業	313,454
P217	農業次世代人材投資事業	7,500	P287	教員住宅維持管理経費	31
P219	多面的機能支払交付金事業	6,404	P289	住宅等支援事業	20,362

ページ	事業名	事業費 (千円)
P291	宅地造成事業	22,742
P293	下水道事業費	182,000
消防費		
P295	常備消防経費	110,323
P297	消防団運営経費	28,763
P299	災害対策経費	7,969
P301	防災施設管理経費	11,481
P303	防災センター関係経費	81
教育費		
P305	教育委員会経費	1,470
P307	教育委員会事務局一般経費	18,052
P309	教育関係事業補助金	1,154
P311	要・準要保護児童生徒援助費	2,881
P313	特別支援教育就学奨励費	1,081
P315	I C T活用教育関係経費	8,454
P317	小中学生入学祝品支給事業	3,399
P319	第一小学校管理経費	19,104
P321	第一小学校教育振興費	3,140
P323	第二小学校管理経費	13,517
P325	第二小学校教育振興費	1,195
P327	中学校管理経費	23,446
P329	中学校教育振興費	3,870
P331	外国青年招致事業	1,337
P333	調理場管理運営経費	46,542
P335	社会教育総務一般経費	458
P337	社会教育施設維持管理経費	6,702
P339	人権・平和関係経費	282
P341	こども学遊館管理運営経費	1,261
P343	子育て支援事業	519
P345	児童クラブ事業	9,284
P347	放課後子ども教室事業	393
P349	地域子育て支援拠点事業	3,534
P351	地域未来塾事業	567
P353	男女共同参画活動費	274
P355	公民館運営経費	1,973
P357	保健体育運営経費	1,062
P359	保健体育関係事業補助金	502

ページ	事業名	事業費 (千円)
P361	保健体育施設管理経費	55,481
P363	多機能型施設関係経費	5,262
P365	文化財保護一般経費	622
P367	歴史民俗資料館管理運営経費	583
P369	埋蔵文化財発掘経費	1
P371	棕記念館図書館運営経費	17,017
災害復旧費		
P373	森林災害復旧事業費	7,995
P375	国庫補助農業用施設災害復旧事業費	825
公債費		
P377	借入金元金償還経費	323,944
P379	借入金利子償還経費	4,259

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	議会一般管理費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいを一つに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	01 協働のむらづくりの推進
	担当所属	100100 議会事務局・議会事務局
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	010101 議会費・議会費・議会費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	議会活動のための経費。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・議会改革の成果が問われるとした令和 3 年 6 月改選では欠員 2 名、その後の令和 4 年 1 月再選挙でも欠員 1 となった。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	D. DX 推進プロジェクト
----------	----------------

3. 指標の推移

活動	指標名	省庁への提言回数						単位	回
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	0	1						
活動	指標名	長野県及び長野県議会への提言回数						単位	回
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	1	3						
活動	指標名	村への提言回数						単位	回
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	1	0						
活動	指標名	研修会等議員派遣件数						単位	件
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	37	63						

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○議会モニター報酬、報奨金162千円 ○議会だより印刷製本費761千円 ○議事録委託料488千円 ○議会録画、編集及び資料表示備品購入費1,289千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	3,343	3,590	0	0	0	0
	国庫支出金	1,289	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	2,054	3,590	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○議会構成が1名欠員の状態であるが、本会議や委員会活動については支障なく運営できた。 ○議会活動を議会の運営手法から村政や村の課題への取組を主とするよう転換し、住民やモニターとの懇談に注力した。 (議会モニター懇談会4回開催、傍聴・議会だよりモニターアンケート各4回、議員と語ろう会4回開催) ○常任委員会における質疑や全員協議会での村政全般に関する質問を通じ、審議の充実を図るよう取り組んでいる。 ○議案や会議資料等全てモアノートにより電子化し、タブレット活用が定着した。
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○議会運営、議員活動、がよくわからない。見えない。 ○議会モニターからは議会の活動が一定程度理解され、応援する声が寄せられている。 ○議会だよりが議会の情報を得る媒体であり、内容や編集について読みやすい等評価が寄せられている。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○欠員状態のまま11名で議会運営を行っていくが、定数見直しの議論は現状維持とする議員が多数。 ○議員及び議会の活動を住民に理解してもらうとともに、課題検討や審議の成果等を通じ住民の関心を高める必要がある。 ○議員の資質向上により監査機能及び政策提案機能の発揮。

7. 事業評価

評価項目	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	
施策への貢献度				A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準				A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法				A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性				Z：受益と負担の適正化は図られているか
	Z	Z	Z	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない 【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	議員人件費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいをついに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	01 協働のむらづくりの推進
	担当所属	100100 議会事務局・議会事務局
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	010101 議会費・議会費・議会費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	議員の人件費	評価対応内容	
		問題点・課題等	・選挙が低調となった折には議員定数削減及び議員報酬引き上げしか対策がないと言われた。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	議員数						単位	人
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	11	11						
成果	指標名	議員発議件数						単位	件
	説明	第1回定例会から第4回定例会までの議員発議の件数							
	実績値	3	7						
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	○報酬22,020千円 ○期末手当8,173千円 ○議員共済負担金6,556千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	36,749	37,085	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	36,749	37,085	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○令和2年度より報酬が引き上げられた。
村民等からの意見等	○現在の議員報酬では若者の専業議員は不可能。 ○議員のなり手不足は報酬の低さが要因の一つか。
今後の課題	○議員の活動に報酬が見合っているか常に検討が必要。 ○定数見直しと同時に検討している議員報酬については、現状維持とする議員が大半である。 ○全国的には議員の活動量に応じた報酬算定が唱えられているが、当村議員の算定では個人の差が大きい。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	村営バス運営経費	
総合計画	基本目標	02 社会基盤／住みたいと思える生活環境の整ったむら
	施策	01 道路・交通網の充実
	担当所属	400101 企画財政課・企画財政係・企画財政係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	園児・児童・生徒の通学手段の確保と公共交通維持のため、村民バスの運行委託と広域バスへの補助を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	A. 小さな拠点づくりの推進と交通網活用プロジェクト
----------	----------------------------

3. 指標の推移

成果	指標名	乗車人数（氏乗線）						単位	人
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	2,164	1,990						
成果	指標名	乗車人数（大島線）						単位	人
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	1,900	1,852						
成果	指標名	乗車人数（富田線）						単位	人
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	941	1,292						
成果	指標名	乗車人数（上平線）						単位	人
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	1,311	1,110						

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・村営バス運行委託料 18,699千円（村民バス大島線8便、氏乗線10便、上平線2便、富田線2便） ・広域バス運行負担金 4,324千円（阿島循環線平日・土曜日運行、遠山郷線平日・土日祝日運行） ・公共交通のコロナ感染防止対策 240千円（タクシー運行支援） ・車両購入（氏乗線） 22,400千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	46,315	28,003	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	240	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	22,650	196	0	0	0
	一般財源	23,425	27,807	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の通院や学生の通学的手段として、一定の利用がある。 ○中学生卒業時にバス利用のPRを行い、高校生の利用促進を図った。 ○介護保険第一号被保険者説明会、後期高齢者医療保険制度説明会においてバス利用PRを行った。 ○老朽化した車両（氏乗線）を更新した。 ○たかぎ保育園を経由するため、大島線の運行ダイヤを見直した。
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○便数を増やしてもらいたい。 ○買い物等に利用しやすい時刻にってもらいたい。 ○バスの運行エリアを広げてもらいたい。 ○バスに乗ることで、知人と話したり外出の機会となることで、介護予防にもなっておりありがたい。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○免許返納者の増加への対応。 ○村全体の高齢者に対する村民バス以外の手段も含めた交通網の検討。 ○バスの利用方法が分からない人を減らすため、周知・説明等の実施。 ○GTFS-JP整備について、氏乗線以外の路線についても着手する。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	B	B	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある 老朽化した車両（氏乗線）を更新したことにより、修繕費用が165千円の減となった。
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	B：改善の必要がある
	B	B	B	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある 利用者が減少している路線は、より多くの利用者を見込むことができる運行ルートや時間帯等の検討を行う。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	小さな拠点交通ネットワーク運行事業	
総合計画	基本目標	02 社会基盤／住みたいと思える生活環境の整ったむら
	施策	01 道路・交通網の充実
担当所属	400101 企画財政課・企画財政係・企画財政係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	たかぎ農村交流研修センターを発着点に下段地区を巡回するコミュニティバスを運行する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・新たな運行エリアの検討

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	A. 小さな拠点づくりの推進と交通網活用プロジェクト
----------	----------------------------

3. 指標の推移

成果	指標名	コミュニティバス利用人数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	1,801	1,526						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス運行业務委託料 6,061 千円 (阿島線 6 便、伊久間線 4 便、厚生病院線 1 便) ・コミュニティバス発着所整備工事 2,673 千円 ・コミュニティバス阿島線バス停作成料 198 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	8,979	6,315	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	7	6	0	0	0	0
	一般財源	8,972	6,309	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○たかぎコミュニティバスはたかぎ農村交流研修センターを発着点に主に下段地域を循環している。村民バスや広域バスと比べて、地区内を細かく運行する経路となっている。このことにより歩行に不安がある高齢者などにとって自宅からバス停までの移動距離が少なく利用できるため好評をいただいている。
村民等からの意見等	
今後の課題	○厚生病院線の利用者の増加。 ○利用者が減少している路線は、より多くの利用者を見込むことができる運行ルートや時間帯等の検討を行う。 ○デマンド交通やAI運行バスなど新しい仕組みの公共交通の可能性や、無料バスやタクシー券をマイナンバーカードで代替するなどDXを活用した交通ネットワークの検討。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	B：改善の必要がある
	B	B	B	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある 利用者が減少している路線は、より多くの利用者を見込むことができる運行ルートや時間帯等の検討を行う。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	庁内情報機器関連経費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいをついに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	01 協働のむらづくりの推進
	担当所属	200200 総務課・情報統計係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	庁内ネットワーク等機器及びシステムに係る経費及びホームページの維持改修に係る経費。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・セキュリティの意識向上と対策強化 ・自治体DXの取り組み（行政手続きのオンライン化）

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	E. 使用不可
----------	---------

3. 指標の推移

活動	指標名	公衆無線LAN整備箇所						単位	施設箇所
	説明	平常時及び災害時に活用されるWi-Fiアクセスポイントの整備							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	11	12						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・システム等業務委託料 31,051千円 <ul style="list-style-type: none"> うち ホームページリニューアル業務委託 4,926千円 うち 行政手続オンライン化システム構築委託（26手続き） 8,143千円 ・強化対応インターネット系機器更新 8,421千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費		49,746	45,346	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	1,972	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	4,071	0	0	0	0	0
	一般財源	45,675	43,374	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページについてユーザビリティとアクセシビリティに配慮し全面リニューアルを行うとともに、掲載記事の見直し週間を設け不要な記事の削除や新たな情報に更新を行った。 ・国の推進する26手続きについて滞りなくオンライン化を行った。また、LoGoフォームを活用したアンケートの実施及び例規制定を行い電子申請を受ける体制整備を行った。 ・図書館に公衆無線LANの整備を行った。
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページ ・検索しやすくして欲しい ・行事予定の詳細を掲載して欲しい
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ウイルス・情報漏洩対策 ・インシデント時の初動マニュアル・体制整備 ○その他 ・業務のデジタル化等の検討整備 ・国が進める自治体DXの推進

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	B：経費を節減できる余地が一部ある
	B	B	B	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある ネットワークの更新に当たり、他の機器との接続設定や責任所在を明確にする観点からベンダーが縛られる場合があり、現状では適正額の算定が難しい。
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	B：改善の必要がある
	B	B	B	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある セキュリティについては、セキュリティポリシーの改定、インシデント発生時の対応マニュアルの整備及び職員研修会の実施などセキュリティの強化を図る必要がある。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	3：改善
	<p>判断理由</p> <p>セキュリティについては、セキュリティポリシーの改定、インシデント発生時の対応マニュアルの整備及び職員研修会の実施などセキュリティの強化を図る必要があるため。</p>

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	企画財政一般経費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいをついに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	02 地域コミュニティの推進
担当所属	400101 企画財政課・企画財政係・企画財政係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	バリー&ゴーによる村のPR、敷地料(駐在所)の支払、コミュニティ助成事業など企画財政課に係る事業を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	B. 関係人口拡大プロジェクト
----------	-----------------

3. 指標の推移

活動	指標名	コミュニティ助成事業採択件数						単位	件
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	1	1						
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・コミュニティ助成事業 1,800千円 (氏乗区 集落センターエアコン整備) ・駐在所敷地料 307千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	2,432	4,206	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	2,378	4,142	0	0	0	0
	一般財源	54	64	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○コミュニティ助成事業に氏乗区が採択された。
村民等からの意見等	
今後の課題	○コミュニティ助成事業交付金の原資となる宝くじの売上げが減少しているため、採択が難しくなっている。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	地域コミュニティ推進事業	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいを一つに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	02 地域コミュニティの推進
担当所属	200100 総務課・総務危機管理係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	区長等に対する手当並びに区長会及び集会施設の増改築に対する補助を行う。 【事業名称を「庶務関係事業補助金」から「地域コミュニティ推進事業」改め、地域コミュニティ推進に関する経費を統合】	評価対応内容	
		問題点・課題等	・集会施設改修補助に関し中長期的見込みについて把握する必要性

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	区長会・区会連絡会開催回数						単位	回
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	5	5						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・区長会補助金 108 千円 ・地域集会施設等公共施設増改築補助金 191 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	299	3,338	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	299	3,338	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○区長会の開催により各区の連絡調整、情報共有につながると共に、村内の集落維持に関する課題抽出と検討材料の発掘に繋がった。
村民等からの意見等	
今後の課題	○地区集会所の増改築補助について年度毎の補助額の増減が大きいため、平準化できる仕組みづくりについて検討する必要がある。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	地域おこし協力隊事業	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいを一つに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	03 戦略的な自治体経営の推進
担当所属	400101 企画財政課・企画財政係・企画財政係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	3 大都市圏又は政令指定都市に在住する人材を“地域おこし協力隊”として採用し、地域力の維持や活性化などの活動に従事するための活動費と募集や定着のための経費。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	隊員数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	7	7						
活動	指標名	新規採用隊員数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	3	3						
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 借上料 6,568千円 (住居借上料、車両借上料) 補助金 1,000千円 (起業支援補助金) 需要費 757千円 (消耗品費) 補助金 120千円 (住宅支援補助金)
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	10,749	24,350	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	10,749	24,350	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○採用活動を実施し、計画通り3名の新規採用ができた。 ○1名の隊員が退任となったが、村内に定住しながら起業（就農）できた。
村民等からの意見等	
今後の課題	○着任中の活動から定住に結びつくようなビジネスモデルを示しにくい。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	ふるさと納税関係経費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいを一つに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	03 戦略的な自治体経営の推進
担当所属	700200 産業振興課・商工観光係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	ふるさと納税返礼品に係る経費及び情報管理システム、寄付申込決済の運用に係る経費。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・寄付額の維持及び増加

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	寄付金件数						単位	件
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	9,880	8,246						
成果	指標名	寄付金額						単位	千円
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	187,372	148,457						
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	令和 4 年 報償費 56,723千円 手数料 3,558千円 システム利用料 7,837千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費		69,032	75,885	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	69,032	75,885	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<p>○寄付件数 令和3年度：9,880件 令和4年度：8,246件 前年度比 1,634件 減</p> <p>○寄付金額 令和3年度：187,372千円 令和4年度：148,457千円 前年度比 38,915千円 減</p> <p>○コロナ禍と物価高騰の中、令和3年度に引き続き寄附額の見直しを行ったため当初見込んだ額（150,000千円）を下回った。</p> <p>○新規サイト（さとふる）を追加し、利用者の利便性向上を図った。</p>
村民等からの意見等	
今後の課題	<p>○近年減少傾向の寄付額を増加させるため、新商品開発の補助金創設を検討するとともに、NPOたかぎ及び村内企業と連携して新しい返礼品を開発に力をいれていきたい。</p> <p>○村の知名度向上と関係人口の拡大を目的とした取り組みとして、TwitterなどのSNSを活用した広報活動を実施し、情報発信に取り組んでいきたい。</p>

7. 事業評価

評価項目	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	
施策への貢献度				A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準				事業費・人件費の水準は適正か
				A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法				事業方法は適正か
				A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性				受益の公平性と負担の適正化は図られているか
				A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	<p>判断理由</p> <p>村の魅力を全国に発信し、村の知名度向上と関係人口拡大に繋がるよう取り組んでいく。</p>

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	企画財政システム関連経費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいをついに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	03 戦略的な自治体経営の推進
担当所属	400101 企画財政課・企画財政係・企画財政係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	財務会計システム、公会計システム、実施計画・行政評価システムに係る経費	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・財務会計システム使用料 2,182千円 ・公会計共同利用システム使用料 581千円 ・実施計画・行政評価システム使用料 185千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	2,986	3,349	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,986	3,349	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<p>○わかりやすい決算書として事務事業評価シートを用いたことで、職員の事務負担を軽減することができた。</p> <p>○公会計システムを使用して財務諸表・固定資産台帳をまとめることができた。</p>
村民等からの意見等	
今後の課題	<p>○財務会計システムについてもDXの推進・電子決裁等の動きに対応したシステムの検討を進める必要がある。</p> <p>○公会計については財政担当者のみが対応している状態であり、職員の意識醸成と活用方法について検討が必要。</p>

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	下伊那北部総合事務組合関係経費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいをついに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	03 戦略的な自治体経営の推進
担当所属	400101 企画財政課・企画財政係・企画財政係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	下伊那北部 5 町村が連携し、下伊那北部火葬場“五稜の森”の運営、地域活性化講演会など共同で事務事業を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	ワーキンググループの数						単位	個
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	21	21						
成果	指標名	火葬場利用件数						単位	件
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	94	85						
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・一般負担金 1,885 千円 ・火葬場事業負担金 4,632 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	6,517	5,945	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	6,517	5,945	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○北部火葬場の運営と北部町村の共同事業により、行政サービスの向上に寄与した。 ○「リニアを見据えた北部まちづくり構想」を策定し、12/24にシンポジウムを開催した。
村民等からの意見等	
今後の課題	○まちづくり構想の実現に向けた各ワーキングごとの取組。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	庶務事務経費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいをついに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	03 戦略的な自治体経営の推進
担当所属	200100 総務課・総務危機管理係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	広域連合等の各種負担金、条例管理、職員の旅費、庁用事務経費等行政運営の総体的なことに係る経費。 【「庁用事務管理経費」を当該事業に統合】	評価対応内容	
		問題点・課題等	・文書の電子管理 ・ペーパーレスの推進

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 区長等手当 2,580 千円 職員旅費 2,149 千円 業務委託料 7,381 千円（個人情報保護制度見直しに伴う例規整備支援業務等） 広域連合等負担金 9,723 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
	事業費	27,799	41,329	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	17	143	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	158	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	27,782	41,028	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○総合的な行政運営に対する必要経費の執行により円滑な事務遂行に資することができた。
村民等からの意見等	
今後の課題	○事務の効率化、文書管理の強化、期限満了文書廃棄の円滑化を推進するため、文書管理システムの導入について検討していく必要がある。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

□新規 ■完了 ■実計対象 ■評価対象 ■施策対象

事務事業名	庁用事務管理経費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいをついに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	03 戦略的な自治体経営の推進
担当所属	200100 総務課・総務危機管理係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 4 年度～令和 4 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	役場庁舎で使用する紙類、印刷費、コピーリース料などの経費。 【当該事業を「庶務事務経費」に統合】	評価対応内容	
		問題点・課題等	・ペーパーレス化の推進 ・グリーン購入の推進

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	コピー枚数（モノクロ）						単位	枚
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	220,038	192,641						
活動	指標名	コピー枚数（カラー）						単位	枚
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	89,391	94,495						
活動	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
活動	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・消耗品費 3,938 千円 ・庁舎等電話料 1,197 千円 ・郵便料 3,042 千円 ・コピー機使用料 1,698 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	12,546	0	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	314	0	0	0	0
	都道府県支出金	158	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	747	0	0	0	0
	一般財源	11,327	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○適正な執行により、行政事務をスムーズに行うことができた。
村民等からの意見等	
今後の課題	○電子決裁システムの導入等庁内DXの推進に併せ、事務のペーパーレス化を推進していく必要がある。 ○グリーン購入法に基づき、環境負荷の低減に資する物品等の調達について検討していく必要がある。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	B	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 当該事業を「庶務事務経費」に統合

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	交際費一般経費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいを一つに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	03 戦略的な自治体経営の推進
担当所属	200100 総務課・総務危機管理係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	各種団体が行う行事の際の祝儀等の支出及び村事業を対外的に展開する際等に相手方へ贈呈物品等の支出を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	・交際費 230千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	230	600	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	230	600	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○対外事業に対する対応等に適切に支出するにより、相手方との信頼関係の構築に繋がった。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	特別職人事経費	
総合計画	基本目標	09 その他/その他
	施策	09 その他
担当所属	200100 総務課・総務危機管理係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	常勤特別職（村長、副村長及び教育長）の人件費	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

指標名	説明	単位					
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		実績値					
指標名		単位					
説明		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
実績値							
指標名		単位					
説明		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
実績値							
指標名		単位					
説明		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
実績値							

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 給料 20,040千円 手当等 7,809千円 共済費 5,423千円 退職手当負担金 5,812千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費		39,084	39,315	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	39,084	39,315	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○条例に基づく適正支出により行政運営の円滑な遂行に繋がった。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	広報一般経費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいを一つに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	01 協働のむらづくりの推進
	担当所属	200200 総務課・情報統計係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020102 総務費・総務管理費・文書広報費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	情報誌たかぎ等を作成・発行し、喬木村の情報発信を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 配布文書数の減少と情報誌・他媒体への誘導 情報誌の見やすく読みやすい紙面作り 写真コンテストの新規応募者の増

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	発行部数						単位	部
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	2,150	2,150						
成果	指標名	風景写真コンテスト応募者数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	32	23						
成果	指標名	風景写真コンテスト応募作品数						単位	点
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	132	56						
成果	指標名	村からのお知らせや村政の情報等、必要とする情報を入手することができる人と答える人の割合						単位	%
	説明	村民意識調査で「満足」「まあ満足」「普通」と回答する率（令和3年度「満足」「まあ満足」と回答する率）							
	実績値	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
		83.3	79.6						

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 情報誌（毎月発行）印刷製本費 2,570 千円 フォトコンテスト開催経費（審査員謝金・副賞） 52 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	2,669	2,882	0	0	0	0
	国庫支出金	110	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	2,559	2,882	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○情報誌 ・12回の発刊について、遅延なく配布ができた。特集記事として加々須三枚添災害復旧などを掲載する事ができた。 ○フォトコンテスト ・「新たな魅力発見 四季の風景部門」、「日々の営み 暮らし部門」及び「Instagram部門」で募集を行い、計56作品の応募があった。
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○情報誌 ・村民意識調査：情報誌を毎月読むと回答した割合は59.1%であった。(R3 56.2%→R4 59.1%) ・広報モニター：媒体が多様化しているため、各媒体の特徴をいかした広報を行う必要がある。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○情報誌 ・全戸配布、組合回覧のペーパーレス化の為の、情報誌掲載内容の精査 ・20～40歳代の住民にも見てもらえるような誌面の工夫

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	B：改善の必要がある
	A	A	B	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある 広報モニターについて活動内容を精査し、村民意識調査への統合などあり方を検討していく
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	3：改善
	判断理由 広報モニターについて活動内容を精査し、村民意識調査への統合などあり方を検討していくため。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	会計一般経費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいを一つに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	03 戦略的な自治体経営の推進
	担当所属	300100 住民窓口課・会計係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020103 総務費・総務管理費・会計管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	役場の収入・支出を行うために収納等に係る金融機関手数料、支払通知書等必要用紙の作成、機器の保守管理を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	窓口収納来庁者数						単位	人
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	2,408	2,426						
成果	指標名	窓口収納金額						単位	千円
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	37,491	49,524						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> 印刷製本費 157千円（支払通知 8,000枚、窓あき封筒 1,500枚） 口座振替等データ通信料 50千円 金融機関窓口収納等手数料 525千円（窓口収納 15,337件、為替振替 109件）
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	791	1,149	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	791	1,149	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○支払業務、支払通知の発送、税料収納手数料の支払いなど適時・適正に実施できた。 ○ゆうちょ銀行（郵便局）扱いの収納金について、現金及び証書での払戻しから公金自動振込へ移行したことにより、指定金融機関及び会計担当者の業務改善が図られた。 ○支出命令票の期限内の会計到着がほぼ守られるようになっている。
村民等からの意見等	○南信交通災害共済掛金、みどりの募金、日赤活動費など、組合で集金するものが多い。
今後の課題	○今後、総合振込手数料が発生することに伴う予算措置と各部署への周知。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	<p>2：継続</p> <p>判断理由 歳入歳出事務として、必要不可欠であるため。</p>
--------	----------------------------------------------------------

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	公用車維持管理経費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいを一つに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	03 戦略的な自治体経営の推進
担当所属	200100 総務課・総務危機管理係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020104 総務費・総務管理費・財産管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	公用車の購入及び維持管理に関する経費支出を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・ 公用車管理の一元化 ・ 電気自動車の購入

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	公用車保有台数						単位	台
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	59	60						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公用車購入（電気自動車） 5,500千円 ・ 電気自動車充電スタンド設置工事 649千円 ・ 自動車損害共済分担金 1,274千円 ・ 公用車燃料費 845千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	9,695	5,580	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	216	0	0	0	0	0
	一般財源	9,479	5,580	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○公用車の適切な管理運用ができた。 ○電気自動車の購入により、環境に配慮したクリーンエネルギー、また災害時に非常用発電として活用できる体制を整えた。
村民等からの意見等	
今後の課題	○使用状況等を勘案し、引き続き適正な保有台数に努める。 ○環境に配慮したクリーンエネルギー自動車の更新について検討する。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	財政調整基金等管理経費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいをついに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	03 戦略的な自治体経営の推進
担当所属	400101 企画財政課・企画財政係・企画財政係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020104 総務費・総務管理費・財産管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	村が保有する基金の運用で生じた利子の積立や、新たな積立に係る経費。	評価対応内容	
		問題点・課題等	預金利息の低下による運用益の減少。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	基金数						単位	
	説明	財政調整、減債、公共施設、福祉（果実）、福祉（取崩）、リニア・三遠南信関連活性化、新型コロナ対策支援							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	7	7						
成果	指標名	基金残高						単位	円
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	4,821,556,700	4,699,841,698						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア・三遠南信関連活性化基金 16,405,062円 ・福祉基金（取崩） 5,017,332円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	27,704	20,864	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	25,704	20,864	0	0	0
	一般財源	2,000	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な基金管理及び運用ができた。 ○喬木村資金積立基金条例を改正し、その他の債権も含めて運用できるようにした。 ○今後の預金利息低下を見込み、リニア・三遠南信関連活性化基金で1億円分の債権（社債）を購入した。
村民等からの意見等	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○金融機関の預金利息が年々減少しているため、債権が購入しやすくなるように基金の一括運用を検討する。 ○基金の安定的な運用のため、どの預金や債券での運用が妥当かを今後も研究していく。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	庁舎管理経費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいを一つに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	03 戦略的な自治体経営の推進
担当所属	200100 総務課・総務危機管理係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020104 総務費・総務管理費・財産管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	役場庁舎の維持管理、村有施設の災害共済保険料、公共施設用地購入に関する支出を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・太陽光発電設備の拡大

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	電力使用量						単位	kwh
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	136,296	136,160						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 燃料費 630千円 光熱水費 5,215千円 建物災害共済分担金 3,607千円 高圧受電設備更新工事 833千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	15,547	37,712	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	18,000	0	0	0	0
	その他	729	568	0	0	0	0
	一般財源	14,818	19,144	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○庁舎の適切な管理により、来庁者環境及び職員の執務環境の向上に繋がった。
村民等からの意見等	
今後の課題	○電気料について、引き続き節電を呼びかけ徹底していくとともに、安定した電力供給を確保するため供給先について検討していく。 ○庁舎屋根に設置している太陽光発電設備について余剰スペースがあるため、設備拡大について検討を進める。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	交通安全防犯一般経費	
総合計画	基本目標	03 生活環境／環境にやさしく、安全・安心なむら
	施策	04 交通安全の充実
担当所属	200100 総務課・総務危機管理係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020105 総務費・総務管理費・交通安全防犯対策費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	生活安全指導員に対する報酬、交通安全協会等に対する補助金、交通安全資機材の購入に係る経費支出を行う。 【「交通安全・防犯施設整備経費」を当該事業に統合】	評価対応内容	
		問題点・課題等	・高齢運転者の事故対策 ・自転車保険の加入促進 ・通学路以外への防犯カメラ直営設置の検討

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	交通事故発生件数						単位	件
	説明								
	実績値	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
		9	4						
成果	指標名	犯罪認知件数						単位	件
	説明								
	実績値	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
		6	9						
成果	指標名	南信交通災害共済加入者数						単位	人
	説明								
	実績値	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
		4,433	4,272						
	指標名							単位	
	説明								
	実績値	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・生活安全指導員報酬 235千円 ・交通安全資機材購入 274千円 ・交通安全協会補助金 270千円 ・飯田地区防犯協会連合会負担金 153千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	2,084	2,836	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	326	224	0	0	0
	一般財源	1,758	2,612	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○カーブミラー等交通安全資機材の購入により、交通安全対策の充実が図られた。
村民等からの意見等	
今後の課題	○生活安全指導員の活動実績が地区により差異があるため、活動内容の情報共有を図り、活動の活性化を促進する必要がある。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

□新規 ■完了 ■実計対象 ■評価対象 ■施策対象

事務事業名	交通安全・防犯施設整備経費	
総合計画	基本目標	03 生活環境／環境にやさしく、安全・安心なむら
	施策	04 交通安全の充実
担当所属	200100 総務課・総務危機管理係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020105 総務費・総務管理費・交通安全防犯対策費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 4年度～令和 4年度	R3評価結果	継続
事業概要	交通安全や防犯に関する工事費用支出や地区が設置する防犯灯設置に対する補助支出を行う。 【当該事業を「交通安全防犯一般経費」に統合】	評価対応内容	
		問題点・課題等	・通学路以外への防犯カメラの直営設置の検討

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	街路灯など、防犯の面で安全であると答える人の割合（満足度）						単位	%
	説明	村民意識調査で「満足」「まあ満足」と回答した率							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	57.3	54.3						
成果	指標名	村内防犯灯の新規設置基数						単位	基
	説明	地区で新設する防犯灯に対するに補助数							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	5	11						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	・防犯灯設置事業補助金 506千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	506	0	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	506	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○6地区12基（新規11基、移設1基）に対し防犯灯設置補助を行うことで防犯効果の向上に繋がった。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	UIJターン推進事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	02 出会い・結婚の支援
担当所属	400101 企画財政課・企画財政係・企画財政係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020106 総務費・総務管理費・企画費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	村への移住を増やすため、オンラインも活用しつつ都市部でのセミナーへの出席、喬木ふるさとnet. 会員への情報発信や交流会の開催等を行う。 東京圏等から移住し、就職・起業した方へ補助金を支給する。 また、若者の地元就職への祝金を交付する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	B. 関係人口拡大プロジェクト
----------	-----------------

3. 指標の推移

活動	指標名	定住促進就業祝金交付者数						単位	人
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	17	20						
成果	指標名	喬木ふるさとnet. 会員数						単位	人
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	304	289						
活動	指標名	役場窓口での移住相談件数						単位	件
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	48	33						
成果	指標名	役場窓口経由での移住者数						単位	人
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	11	20						

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品 1,030千円 (学生応援宅配便113人) ・補助金 1,000千円 (定住促進就業祝金20人) ・補助金 835千円 (奨学金返還支援助成16人) ・報酬 932千円 (会計年度任用職員1人)
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	4,066	6,170	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	1,141	2,000	0	0	0
	都道府県支出金	0	500	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,925	3,670	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○喬木ふるさとnet.交流会を東京で開催。8名の参加者に対し村内の情報等をお伝えし、GWY後利用についての意見交換を行うことができた。 ○移住相談件数は前年を下回ったものの、移住者数は前年を上回った。 ○令和4年度に創設した奨学金返還支援助成事業については、若年層の経済的負担を軽減することができた。
村民等からの意見等	○学生応援宅配便事業については、物価高騰等により負担が大きい学生への支援に対し、感謝の声を保護者からいただいた。
今後の課題	○すぐに活用可能な状態のよい空き家や住宅用地の情報が少ない。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

□新規 ■完了 ■実計対象 ■評価対象 ■施策対象

事務事業名	リニア関連整備事業	
総合計画	基本目標	02 社会基盤／住みたいと思える生活環境の整ったむら
	施策	01 道路・交通網の充実
担当所属	900200 高速交通対策課・建設係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020106 総務費・総務管理費・企画費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 2年度～令和 3年度	R3評価結果	継続
事業概要	堰下開発事業（ガイドウェイヤード）	評価対応内容	
	事業完了	問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	A. 小さな拠点づくりの推進と交通網活用プロジェクト
----------	----------------------------

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	ガイドウェイヤード工事費精算 46,267千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	46,267	0	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	14,523	0	0	0	0	0
	一般財源	31,744	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○村が発注した工事について、令和4年度をもって精算した。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	5：終了
	判断理由 今後のガイドウェイヤード工事は、JR東海から受注した業者が施工する。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	リニア対策関係事業	
総合計画	基本目標	02 社会基盤/住みたいと思える生活環境の整ったむら
	施策	01 道路・交通網の充実
担当所属	900100 高速交通対策課・計画調整係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020106 総務費・総務管理費・企画費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	リニア中央新幹線建設に関する環境保全や移転対策及び整備効果を図るための経費。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・リニア建設に伴う諸問題（工事車両ルート、騒音振動大気安全対策、日照障害等） ・ガイドウェイ、工事ヤード使用後の利用について

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	A. 小さな拠点づくりの推進と交通網活用プロジェクト
----------	----------------------------

3. 指標の推移

活動	指標名	喬木村リニア中央新幹線対策委員会						単位	回
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	3	0						
活動	指標名	リニア関連事業連絡会						単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	4	1						
活動	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
活動	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・工事請負費 155 千円 環境測定車設置 ・土地購入費 5,085 千円 GWY 先行取得(2 件)
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	5,337	2,768	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	5,337	0	0	0	0	0
	一般財源	0	2,768	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○村リニア対策委員会・工事説明会の開催（工事に新たな進捗なく開催無し） ○リニア関連事業連絡会（R5.3） ○高架橋工事（基礎工事）着手（R5.2～） ○環境測定車/県貸与の設置・測定（R4.12～R5.1） ○北ミューゼンター前での環境測定の開始（R5.3～） ○阿島北協議会の再編（北リニア地域づくり協議会）
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○住宅連担地でのリニア工事の安全対策、環境対策を講じてほしい ○通行規制に伴う渋滞対策を講じてほしい ○環境調査・モニタリング地点の増加、家屋調査範囲の拡大を検討してほしい ○地域住民への丁寧な説明と公平な情報発信を行ってほしい ○工事終了後のヤード後利用について検討してほしい
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○本線工事に係る工事ヤード・車両通行ルート調整（豊丘村との調整/106号の通行可否） ○工事用車両及び一般車両の円滑な通行の調整（一貫道の交通規制） ○村リニア対策委員会を適時開催すること（測定結果の定期報告/住民からの意見の共有） ○堰下GWY・工事施工ヤード使用後の利用計画を具体化していくこと

7. 事業評価

評価項目	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	
施策への貢献度				A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準				A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法				A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性				Z：受益と負担の適正化は図られているか
	Z	Z	Z	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない 【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	次世代ネットワーク事業経費	
総合計画	基本目標	02 社会基盤／住みたいと思える生活環境の整ったむら
	施策	03 情報化社会の構築
担当所属	200200 総務課・情報統計係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020106 総務費・総務管理費・企画費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	くりんネットの音声告知放送、いちごチャンネルのデータ放送・自主番組放送設備の維持・充実を行う	評価対応内容	
		問題点・課題等	・視聴率向上にむけた発信内容の検討 ・未加入者の加入促進 ・4 K 8 K 放送の検討

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	E. 使用不可
----------	---------

3. 指標の推移

成果	指標名	加入者数						単位	件
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
		1,759	1,760						
	指標名							単位	
	説明	村関連施設、公民館等自治会施設、企業・福祉施設等及び休止中を除く							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・施設保守委託 4,358千円 ・電柱移転等工事 3,793千円 ・新規加入工事（12件＋集合住宅1件） 492千円 ・データ放送システムリプレイス負担金 4,928千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費		20,641	14,833	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	19,766	14,833	0	0	0	0
	一般財源	875	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○いちごチャンネル <ul style="list-style-type: none"> ・毎週番組を制作し放送する事ができた。 ・転入者に対し資料を作成し、新規加入促進ができた。 ○地域情報アプリ <ul style="list-style-type: none"> ・お悔やみ情報、防災行政無線放送内容等。
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○いちごチャンネル <ul style="list-style-type: none"> ・広報モニター：災害時にいかに活用できるか、必要なときに見える仕組み ・村放送番組審議会：肖像権の扱いと対策について、生中継の検討 ○くりんネット <ul style="list-style-type: none"> ・聞きたい情報や聞き逃した情報をいつでも聴ける仕組み
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○次世代ネットワーク全般 <ul style="list-style-type: none"> ・次期更改に向けて、パススルー方式の導入及び費用負担についての検討 ・音声告知の役割見直し（停電時の受信機能に対する費用対効果） ・4K8K放送への次世代ネットワーク対応についての検討 ・いちごチャンネルを多くの方に視聴していただける番組作り ・地域情報アプリについて、必要な情報を掲載するとともに周知に努める

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	むらづくり推進経費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加/村民と行政がおもいをついに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	01 協働のむらづくりの推進
	担当所属	400101 企画財政課・企画財政係・企画財政係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020106 総務費・総務管理費・企画費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	各地区の自発的な活動の支援を行うことにより、自発的、創造的な地域づくりを推進する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	自治振興交付金は現状を維持しつつ、算定項目の検討を行う。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	C.協働・共創によるSDGs推進プロジェクト
----------	------------------------

3. 指標の推移

成果	指標名	自治振興交付金交付団体						単位	区
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	8	8						
成果	指標名	活性化創造支援金交付団体						単位	団体
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	2	1						
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> 活性化創造支援金 162千円 (1 団体) 自治振興交付金 18,000千円 (8 区)
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	18,194	18,365	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	18,194	18,365	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○自治振興交付金は、8区に交付し、安定的な区・自治会運営に寄与することができた。 ○活性化創造支援金は、1件（のんか弁当）交付した。 ○次年度交付分1件の申請があった。
村民等からの意見等	
今後の課題	○自治振興交付金算定方法の検討。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	B：改善の必要がある
	B	B	B	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある 引き続き活性化創造支援金の申請件数の増加につながる手法の検討。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	B：一部見直しが必要である
	B	B	B	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない 活性化創造支援金の補助率について検討。

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	総合計画関係経費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいをついに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	03 戦略的な自治体経営の推進
担当所属	400101 企画財政課・企画財政係・企画財政係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020106 総務費・総務管理費・企画費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	第5次喬木村総合計画の実施内容の評価等を行うための経費。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・審議会の評価についてより良い方法を検討する

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	外部評価実施回数						単位	回
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
成果	実績値	1	1						
	指標名	村民意識調査回収率						単位	%
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	48.4	52.7						
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> 郵便料 109千円 (村民意識調査発送・返信) 委員報酬 45千円 (計画審議会、創生有識者会議)
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	163	246	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	163	246	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○計画審議会は、あらかじめ施策毎に関係する委員会、審議会等の皆様に内容の確認をいただき、いただいたご意見を参考にすることで、より深い議論ができるよう試みましたが、出席者もそれぞれの委員会等で議論をしているためか、意見はなかった。 ○有識者会議はコロナにより書面決議としたが、説明資料も送付し、わかりやすく示したところ、事業に対する提案や感想もいただいた。
村民等からの意見等	
今後の課題	○委員・有識者の過度な負担とならない効果的な評価方法の検討が必要。 ○住民の村政に対する意識や関心を高める取組が必要。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

□新規 ■完了 ■実計対象 ■評価対象 ■施策対象

事務事業名	文化祭・ふるさと祭り事業	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいをついに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	01 協働のむらづくりの推進
担当所属	200100 総務課・総務危機管理係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020106 総務費・総務管理費・企画費

1. 事務事業の概要

事業期間		R3評価結果	
事業概要	文化祭・喬木まつりに係る経費	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> 文化展示ウィークパネル等借り上げ 1,206千円 喬木まつり うちわ等消耗品 685千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	1,913	0	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1,913	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○“美し郷”喬木まつりとして、ふるさと祭り・文化祭に代わる新たな形での開催を計画し準備を進めたが、新型コロナの影響で中止となった。 ○文化展示ウィークは、教育委員会事務局が中心となり行ったが、福祉センター等のパネルの借り上げを行い、多くの団体による展示が行えた。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
			A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
			A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
			A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
			A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	6：廃止
	判断理由 文化祭・ふるさと祭り事業を喬木まつり（仮称）事業と文化祭は公民館の事業に分け、この事業は廃止とする。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	税務一般経費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいをついに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	03 戦略的な自治体経営の推進
担当所属	300200 住民窓口課・税務係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020201 総務費・徴税費・税務総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	村政運営の財源である税金を公平に納めてもらうための会議や租税教育の推進と課税・徴収のための関係機関への負担を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・租税教育の推進に積極的な機関と、現状のままではよいと考える機関があり、協議会内においても考え方に乖離がある。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	D. DX 推進プロジェクト
----------	----------------

3. 指標の推移

成果	指標名	小学生による「税に関するポスター」応募数						単位	点(人)
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	60	55						
成果	指標名	中学生の「税についての作文」応募数						単位	点(人)
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	29	51						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地方税滞納整理機構負担金 150千円 (1名移管) ・地方税共同機構負担金 201千円 ・軽自環境性能制徴収取扱費 89千円 ・固定資産評価審査委員報酬 8千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	588	1,169	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	588	1,169	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<p>○小中学生のポスター及び作文の募集を行い、ポスター55点、作文51点の募集があった。</p> <p>○地方税滞納整理機構に滞納者1名の移管を行った。機構の差押えにより順調に滞納額が減少しており、令和5年度も引き続き移管を行い完納となる見込みである。</p>
村民等からの意見等	<p>○税の仕組みについて、複雑でわかりづらいとの声がある。</p>
今後の課題	<p>○税に対する意識の醸成を図るため、引き続き学校等の関係機関と連携し、租税教育を推進する必要がある。</p>

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	<p>判断理由</p> <p>租税の意義や納税意識の醸成は、継続して必要な施策である。</p>

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	徴税賦課事務経費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいをついに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	03 戦略的な自治体経営の推進
	担当所属	300200 住民窓口課・税務係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020202 総務費・徴税費・賦課徴収費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	課税・収納業務のための電算委託料、固定資産税評価替えのための土地鑑定評価、督促状・税専用封筒等の印刷を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・マイナンバーカードの普及やDX推進を見据え、納税義務者の利便性向上、既存業務の効率化を進める必要がある。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	D. DX推進プロジェクト
----------	---------------

3. 指標の推移

成果	指標名	村税収納率						単位	%
	説明	現年・過年合計（国保除く）							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	97.7	97.4						
成果	指標名	村税滞納額						単位	千円
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	12,086	14,086						
成果	指標名	口座振替による収納の割合						単位	%
	説明	住民税普通徴収・固定資産税・軽自動車税・国保税							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	76.19	75.71						
成果	指標名	コンビニ収納サービスによる収納の割合						単位	%
	説明	住民税普通徴収・固定資産税・軽自動車税・国保税							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	12.07	12.58						

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> 課税、申告、家屋評価等システム委託料 10,812千円 R6年評価替えに伴う鑑定評価委託料 3,137千円 地方税共通納税・QRコード対応委託料 4,158千円 軽自動車税JNKS対応委託料 1,227千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	22,814	26,365	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	936	900	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	83	90	0	0	0
	一般財源	21,795	25,375	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○令和5年度運用開始のための共通納税税目拡大・QRコード追加に係る準備が完了した。 ○車検時に納税証明書の添付を不要とするためのシステム改修を行い、令和5年1月から運用を開始した。その結果、窓口へ納税証明書を請求する方が大幅に減り、納税者の利便性向上につながっている。 ○県内の市町村間で国保税負担が一定程度公平となるよう、県の示す標準的な基準に沿った減免要綱を策定した。
村民等からの意見等	○マイナンバーカードを用いて、役場に来庁しないで各種税証明の交付を希望する意見がある。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○今後のマイナンバーカードの普及を見越して、税関係の各種証明書の申請、発行を電子化することについても研究をする必要がある。 ○頻発する災害に備えて、罹災証明書を迅速かつ正確に発行できるよう、職員の知識習得及び体制の整備について引き続き研究をする必要がある。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 適正・公平な課税及び時勢に沿った徴収を行うために必要な事業である。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	戸籍住民基本台帳経費	
総合計画	基本目標	02 社会基盤／住みたいと思える生活環境の整ったむら
	施策	03 情報化社会の構築
担当所属	300300 住民窓口課・住民係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020301 総務費・戸籍住民基本台帳費・戸籍住民基本台帳費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	戸籍及び住民票等、公簿の適正管理と証明発行に係る経費。	評価対応内容	マイナンバーカードの普及、戸籍の改修対応や情報の紐づけの拡大を進める必要があるこれらに的確かつ横断的に遅滞なく対応していく必要がある
		問題点・課題等	マイナンバー利用拡大への対応、戸籍法改正への対応

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	住民票交付件数						単位	件
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	1,935	1,969						
活動	指標名	印鑑証明・登録件数						単位	件
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	1,669	1,615						
活動	指標名	総人口						単位	人
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	6,064	6,029						
活動	指標名	マイナンバーカード交付						単位	枚
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	750	2,153						

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 委託料（戸籍・住基・個人番号業務委託料） 12,975千円 借上料（戸籍共同利用システムリース等） 2,724千円 使用料（電算戸籍システム使用料等） 7,138千円 負担金（戸籍共同利用負担金等） 1,396千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	27,557	22,558	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	7,983	2,503	0	0	0
	都道府県支出金	180	177	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	1,683	1,664	0	0	0
	一般財源	17,711	18,214	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○マイナンバーカードの夜間休日窓口や出張窓口を行う等してカードの普及促進を行った。 (年度末時点 交付率68.95%、申請率81.41%)
村民等からの意見等	○マイナンバーカード保有者の増加に伴い、コンビニ交付の問い合わせが増加している。 時間外交付や郵送請求をご案内をしております。
今後の課題	○令和5年度末から行われる戸籍の広域交付や事務内連携への対応、氏名ふりがな記載に対応した戸籍システム改修対応。 ○令和6年秋頃のマイナ保険証一本化に向けて高齢者・施設入居者の申請希望者へのマイナンバーカード交付対応。 ○ぴったりサービスへの対応、書かない窓口の定着

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	選挙管理委員会経費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいを一つに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	01 協働のむらづくりの推進
担当所属	100100 議会事務局・議会事務局	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020401 総務費・選挙費・選挙管理委員会費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	選挙管理委員会の活動を行うための経費。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・現状の 10 ある投票所の見直しとそれに対応する補完施策の検討

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	選挙管理委員						単位	人
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	4	4						
活動	指標名	選挙管理委員補充員						単位	人
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	4	4						
活動	指標名	定例会・委員会開催回数						単位	回
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	9	6						
活動	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	○委員報酬132千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	184	220	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	184	220	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 7月10日参議院議員通常選挙 ○ 8月7日長野県知事選挙 ○ 12月に2名退職、2名補欠委員として改選。2年毎に2人ずつ選挙管理委員が交代。
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 期日前投票が定着している。 ○ 村内10の投票所の運営および維持は負担が大きい。
今後の課題	○ 令和5年度までは現状を維持するが、投票所の統廃合の研究は必要。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	参議院議員通常選挙執行経費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいをついに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	01 協働のむらづくりの推進
	担当所属	100100 議会事務局・議会事務局
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020403 総務費・選挙費・参議院議員通常選挙費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	参議院議員通常選挙の執行に要する経費。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・期日前投票に係る長期間の体制確保 ・開票作業の迅速化に向け必要な機器整備・開票方法の見直し

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	投票率						単位	%
		説明	(参考：令和3年度数値は前回令和3年補欠執行分)						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	54.73	66.37						
成果	指標名	18歳の投票率						単位	%
	説明	(参考：令和3年度数値は前回令和3年補欠執行分)							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	30.26	34.43						
成果	指標名	19歳の投票率						単位	%
	説明	(参考：令和3年度数値は前回令和3年補欠執行分)							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	23.44	34.33						
活動	指標名	期日前投票投票率						単位	%
	説明	(参考：令和3年度数値は前回令和3年補欠執行分)							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	21.39	30.06						

4. 年度別事業内容

令和 4年度	○選管、立会人等委員報酬1,289千円 ○事務従事者手当1,979千円 ○電算処理、ポスター掲示板等委託料1,037千円 ○投票用紙自動交付機2台備品購入費605千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	6,404	0	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	6,098	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	306	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○期日前投票の立会人を募集し、従来の倍の20人を超える方に協力いただき長期間にわたる選挙期間を乗り切った。 ○投票用紙自動交付機を2台購入し、複数の種類の投票に対応を図った。 ○開票作業に非常に手間を要する比例代表であるが、迅速な作業及び按分票を含め正確な集計作業で終えることができた。
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○不在者投票が定着している。 ○比例代表はわからない。 ○地区の施設を含め冷房施設が整っている。（北保育園を除く。）
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○選挙区、投票所の統廃合 ○期日前投票の宣誓書に係る手続きが不便

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
			A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
			A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
			A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
			Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	長野県知事選挙執行経費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいをついに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	01 協働のむらづくりの推進
担当所属	100100 議会事務局・議会事務局	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020405 総務費・選挙費・長野県知事選挙費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	県知事選挙執行に関する経費	評価対応内容	
		問題点・課題等	・期日前投票に係る長期間の体制確保

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	県知事選挙投票率						単位
	説明	(令和3年の数値は前回平成30年の投票率)						
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
	実績値	56.51	52.91					
活動	指標名	県知事選挙投票率						単位
	説明	18歳の投票率(18歳の投票は平成28年参議院選挙から)						
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
	実績値		33.96					
活動	指標名	県知事選挙投票率						単位
	説明	19歳の投票率(18歳の投票は平成28年参議院選挙から)						
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
	実績値		22.39					
活動	指標名							単位
	説明							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
	実績値							

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	○選管、立会人等委員報酬1,220千円 ○事務従事者手当1,555千円 ○消耗品等事務用品999千円 ○電算処理、ポスター掲示板等委託料998千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	5,207	0	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	5,207	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○前月の参議院議員選挙に引き続き、多くの立会人の協力を得て長期間にわたる期日前投票を乗り切った。 ○開票作業を迅速に行い、速やかに選挙結果を報告することができた。
村民等からの意見等	○期日前投票所が定着している。 ○期日前投票の時間を玄関（屋外）に掲示してほしい。
今後の課題	○投票率が低下している。 ○選挙区、投票所の統廃合の検討。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
			A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
			A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
			A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
			Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	県議会議員一般選挙費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいを一つに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	01 協働のむらづくりの推進
担当所属	100100 議会事務局・議会事務局	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020407 総務費・選挙費・県議会議員一般選挙費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	県議会議員選挙に係る執行経費	評価対応内容	
		問題点・課題等	・全体投票率の向上と18歳・19歳の投票率の向上

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	ポスター掲示板設置箇所数						単位	箇所
	説明	公営ポスター掲示場							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値		59						
活動	指標名	入場券発送件数						単位	通
	説明	はがき1通に4名							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値		2,103						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ○入場券郵便料143千円 ○入場券作成電算委託料228千円 ○ポスター掲示板作成委託料312千円 ○ポスター掲示板設置委託料380千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	1,374	4,143	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	1,356	3,600	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	18	543	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○飯田下伊那選挙区が定着した。
村民等からの意見等	○選挙結果の予想が困難。
今後の課題	○選挙期間が年度の切り替え時期にあたり、住民異動の時期と重なるため選挙人への対応に留意が必要。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
			A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
			A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
			A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
			Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	統計一般経費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいをついに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	01 協働のむらづくりの推進
	担当所属	200200 総務課・情報統計係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020501 総務費・統計調査費・統計調査費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	各種統計調査実施に係る経費。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・調査員の確保

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	調査数						単位	件
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	2	2						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・調査の報酬 89 千円 【経常調査】 学校基本調査 【周期調査】 就業構造基本調査
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	158	258	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	158	255	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	3	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	・各種調査について、遅延なく報告できた
村民等からの意見等	
今後の課題	・調査員従事者のなり手不足

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	監査委員関係経費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいをついに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	03 戦略的な自治体経営の推進
担当所属	100100 議会事務局・議会事務局	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	020601 総務費・監査委員費・監査委員費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	改善
事業概要	監査を行うための経費。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・公営企業会計等専門的な知識の習得が必要。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	監査委員						単位	人
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	2	2						
活動	指標名	監査回数						単位	回
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	14	14						
活動	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
活動	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	○委員報酬608千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	669	726	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	669	726	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○代表監査委員並びに議選監査委員共に経験豊富となり、的確な監査業務を遂行できた。 ○水道・下水道事業会計の監査を通じ、会計処理の精度が向上した。 ○現場視察の回数を重ねたため、大型事業の進捗状況や施工箇所の把握等村内の状況把握を常時行った。 ○北部ブロック協議会の要望に基づき、代表監査委員の報酬を引き上げた。
村民等からの意見等	
今後の課題	○議選監査委員の議会における申し合わせ任期が2年となっている。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	職員人件費	
総合計画	基本目標	09 その他/その他
	施策	09 その他
担当所属	200100 総務課・総務危機管理係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	-

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	職員の人件費	評価対応内容	
		問題点・課題等	・定年引上げに伴う定員管理

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	正規職員数（一般会計）						単位	人
	説明	各年度 4 月 1 日時点							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	66	66						
成果	指標名	会計年度任用職員数（一般会計の内総務課予算計上分）						単位	人
	説明	各年度 4 月 1 日時点							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	86	70						
成果	指標名	ラスパイレス指数						単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	92.3	93.8						
成果	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 報酬 119,119千円 給料 220,101千円 手当等 135,468千円 共済費 89,821千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	608,637	0	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	1,963	0	0	0	0
	都道府県支出金	9,136	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	29,159	0	0	0	0
	一般財源	568,379	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○定員管理に基づいた職員数の適正な確保により、また、職員に給与・手当・共済費を適切に支出することにより行政運営の円滑な遂行に繋がった。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	出会い・結婚支援事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	02 出会い・結婚の支援
担当所属	500200 保健福祉課・福祉係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030101 民生費・社会福祉費・社会福祉総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	結婚を希望される方の出会いの場のイベント開催などの委託料や負担金。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	C.協働・共創によるSDGs推進プロジェクト
----------	------------------------

3. 指標の推移

成果	指標名	婚活イベント・セミナー参加者数						単位	人
	説明								
	実績値	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
		6	15						
活動	指標名	結婚新生活支援事業補助件数						単位	件
	説明								
	実績値	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
		1	1						
活動	指標名	婚活イベント・セミナー開催数						単位	回
	説明								
	実績値	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
		1	2						
	指標名							単位	
	説明								
	実績値	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会への出会い結婚事業委託料 652千円 北部地区結婚相談所「愛ねっと北部」設置運営負担金 662千円 結婚新生活支援事業補助金 600千円（婚姻に伴い、村内に住宅を購入しリフォーム又は賃借する際に要した費用や引越費用を補助。世帯の所得が400万円未満の新婚夫婦が対象。補助上限額は30万円但し夫婦共に29歳の世帯は60万円。
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	1,914	3,028	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	600	1,000	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,314	2,028	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○喬木村結婚相談所の主催する婚活イベントは新型コロナウイルスの感染防止対策を行い2回少人数のイベントを開催した ○結婚新生活支援事業補助金は1件の申込があり、新生活をスタートするための支援ができた。
村民等からの意見等	
今後の課題	○結婚支援事業は社会福祉協議会への委託事業であるが成婚に向けより効果的な支援方法を相談員と村も共に協力して検討していく。 ○コロナによる影響の為に婚姻数がコロナ前に比べ大幅に減少している。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	B：一部貢献している
	B	B	B	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない 近年結婚相談所の登録者が成婚へ結びつけることができていない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	B	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 成果が得られにくい事業ではあるが、地域の活力維持を図るためのまちづくり事業として、結婚支援は継続する必要がある。村ができる支援として、北部5町村で行う「愛ねっと北部」への支援や県が行う結婚支援事業に協力をしていく。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	介護者慰労事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	04 障がい児者福祉の推進
担当所属	500200 保健福祉課・福祉係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030101 民生費・社会福祉費・社会福祉総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	特別障害者手当・障害児福祉手当を受給している重度の障がい児者を在宅で介護している方に慰労金を支給する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	特別障害者手当受給者の介護者数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	13	14						
活動	指標名	障害児福祉手当受給者数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	5	3						
活動	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
活動	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	○介護者慰労金支給 850 千円 (17 名支給)
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	850	900	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	850	900	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○重度の障がい児者を在宅で介護している方の慰労金として成果がある。 ○慰労金支給17名（一人につき5万円）
村民等からの意見等	
今後の課題	○平成2年から始まった事業であり、当時は福祉サービスの充実がされていない中で家庭介護をされる方々が多くあり、その労をねぎらう形でこの事業が始まった。障害者総合支援法、介護保険法等が整備され、家庭で介護を受ける方の支援が充実してきている中、介護者全般で公平性が保たれているのか検証を行っていく。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	B：改善の必要がある
	B	B	B	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある 介護者全般で公平性が保たれているのか検証を行っていく
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 介護者全般で公平性が保たれているのか検証を行っていく。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	地域福祉総合助成金(障害者)	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	04 障がい児者福祉の推進
担当所属	500200 保健福祉課・福祉係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030101 民生費・社会福祉費・社会福祉総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	地域福祉の充実に向け、障がい児者の一時的な介護委託、住環境の改善に対する補助を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	タイムケア知人・親戚介護者登録者数						単位	人
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	2	2						
活動	指標名	住宅改修						単位	件
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	0	0						
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> 心身障害児者タイムケア事業 775千円 (利用者数 21名、利用時間 1222.5時間) 障がい者にやさしい住宅改良費 利用なし 軽度・中等度難聴児補助金 利用なし
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	775	1,467	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	387	734	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	388	733	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○タイムケア事業は障がい児者が家庭において介護を受けることができず、一時的に介護を必要とする場合に、障がい児者を知人、事業者等に介護を委託する事業であり、この事業によって障がい児者とその家族の地域生活を支援する事業となっている。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 引き続きタイムケア事業を実施し、心身障がい者児と家族の地域生活を支援する。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	老人福祉施設入所措置事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500200 保健福祉課・福祉係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030101 民生費・社会福祉費・社会福祉総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	身体または精神上の障がいがあり日常生活に支障を来し総合的に勘案して村の措置が必要と判断された者を養護老人ホームに措置する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	措置人数 (年度末)						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	6	4						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・養護老人ホーム入所措置費 11,836千円 (年度末措置者数 4名 4年度中 新規 0名 死亡1名 施設転出 1名) (信濃寮 3名、ハートビル川路 1名)
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費		11,836	14,652	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	2,662	2,840	0	0	0	0
	一般財源	9,174	11,812	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○高齢者が経済的理由や障害等により、自宅において養護を受けることが困難な場合に対する措置入所として利用されている。
村民等からの意見等	
今後の課題	○家族関係の希薄、8050問題、高齢者虐待など問題を抱える世帯の発見や相談が増えてきている。入所に当たっては様々な面から検討し適正な入所となるように努める。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 高齢者が経済的理由や障がい等により、自宅において養護を受けることが困難な場合に対する措置として継続していくことは必要。生活困窮によって生活がままならない状況に陥る前に支援ができるよう関係機関と協力していく。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	移送支援事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030101 民生費・社会福祉費・社会福祉総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	交通弱者の方への社会参加・通院の移動等に係る交通経費の補助を行う。	評価対応内容	高齢化等による交通弱者に対する外出支援策として必要な事業であり、今後も効果検証を重ねながら事業を継続する。
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	C. 協働・共創によるSDGs推進プロジェクト
----------	-------------------------

3. 指標の推移

成果	指標名	利用率（金額ベース）						単位	%
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	60	62.7						
活動	指標名	利用対象者数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	416	394						
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー利用補助／給油補助 4,874千円 ・人工透析通院交通費補助 356千円 ・病人等移送専用タクシー利用補助 131千円 ・タクシー利用補助券等印刷製本費 99千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費		5,460	5,870	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	5,460	5,870	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○タクシー利用補助券等の利用率は、前年度から2.7%上がって62.7%となった。 ○病人等移送専用タクシー利用補助の延利用数は24件であった。 ○人工透析通院交通費補助は19名の利用があった。 ○ハンドル形電動車いす購入補助は利用がなかった。
村民等からの意見等	○日常生活の移動にタクシー利用補助券は欠かせない物になっており、ありがたく使わせてもらっている。
今後の課題	○人工透析患者の増加に伴い、通院交通費用が増えていることから、健康保険係と連携して予防に注力する必要がある。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	B	B	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある 事業の効果検証を重ね、交付枚数の見直しや重度心身障がい者区分における補助拡充を図ってきており、利用者にも一定の理解が得られたと考えている。引き続き事業の周知を行い、利用促進を図っていく。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	社会福祉協議会関係経費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
担当所属	500200 保健福祉課・福祉係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030101 民生費・社会福祉費・社会福祉総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	遺族会、高齢者クラブ、生活困窮者自立支援事業の委託、地域福祉事業部門の補助。	評価対応内容	共同作業所「さくらの園」の管理運営について、平成 30 年度から指定管理とする。
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	ボランティア登録者数（年度末）						単位
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
	実績値	746	729					
	指標名							単位
	説明							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
	実績値							
	指標名							単位
	説明							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
	実績値							
	指標名							単位
	説明							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
	実績値							

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉受託事業 1,305千円 ・生活困窮者支援事業 5,000千円 ・地域福祉推進事業（人件費補助） 4,600千円 ・災害ボランティアセンター事業 540千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	11,445	11,573	0	0	0	0
	国庫支出金	4,000	4,000	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	7,445	7,573	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○社会福祉協議会のさらなる地域福祉活動の充実を図るため、本部職員の人件費の一部、災害ボランティアセンターの運営費を村が補助金として支出を行った。
村民等からの意見等	
今後の課題	○地域コミュニティの充実、高齢化社会を支え、いざ災害があった場合住民の安全を守りまた復旧を早くするために大変重要である。それらの活動を支援していくために社会福祉協議会の役割が重要であり、そのために安定した事業運営を行うため、村の経済的な支援が継続的に必要となる。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 社会福祉協議会と協議を行いながら地域福祉充実の為に必要な支援をしていく必要がある

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	社会福祉一般経費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
担当所属	500200 保健福祉課・福祉係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030101 民生費・社会福祉費・社会福祉総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	民生児童委員、保護司、人権擁護委員などの喬木村の福祉に携わってくれる方への報酬、福祉業務に必要な事務費や負担金等。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	敬老祝い金 (99歳以上)						単位	人
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	23	21						
活動	指標名	敬老祝い金 (88歳)						単位	人
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	58	51						
活動	指標名	福祉金 (重度心身障害者)						単位	人
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	30	37						
活動	指標名	福祉金 (ひとり親)						単位	人
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	8	8						

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 民生児童委員報酬 19名 2,678千円 (12月改選より+1名) 人権擁護委員報酬 3名 90千円 保護司報酬 3名 90千円 敬老祝金 (祝金・記念品) 99歳以上 21名 88歳 51名 845千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	19,523	13,339	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	1,374	1,261	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	1,091	1,043	0	0	0
	一般財源	17,058	11,035	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○民生児童委員19名、人権擁護委員3名、保護司3名の方には、村から依頼している業務の他に、関係機関からの活動依頼にも積極的に参加し、事業への助言も頂いている。
村民等からの意見等	○民生児童委員について、成り手の人選に苦慮している。
今後の課題	○民生児童委員等について、活動内容や役割を住民の方に理解と認識をもっていただき、地域での選出に協力をお願いする。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 各種委員が地域での活動がしやすいように自治会等に協力をいただき働きかけを行っていきたい。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

■新規 □完了 ■実計対象 ■評価対象 ■施策対象

事務事業名	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
担当所属	500200 保健福祉課・福祉係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030101 民生費・社会福祉費・社会福祉総務費

1. 事務事業の概要

事業期間		R3評価結果	
事業概要	令和4年度非課税世帯等に対する臨時特別給付金（1世帯あたり10万円）住民税均等割非課税世帯や令和4年度1月以降に新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変した世帯を支援する給付金	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・非課税世帯等に対する臨時特別給付金 7,200千円（72世帯へ給付） ・電算システム改修委託料 463千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	7,720	0	0	0	0	0
	国庫支出金	7,720	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	・新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々へ速やかに生活、暮らしの支援を受けられるようプッシュ型にて給付を行った
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
			A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
			A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
			A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
			Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	5：終了
	判断理由 国の給付金事業（100%補助事業）であるため令和4年度で給付が終了。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	国民健康保険関係経費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030101 民生費・社会福祉費・社会福祉総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	一般会計から国民健康保険特別会計への繰出金。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	被保険者数						単位	人
	説明	各年度3月末現在							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	1,207	1,193						
活動	指標名	一人あたりの医療費						単位	円
	説明	国保一般（国保連提供資料）R4 は速報値							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	331,856	395,948						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	繰出金	基盤安定分	26,225 千円
		事務費分	3,332 千円
		財政安定化分	2,918 千円
		出産育児一時金分	280 千円
令和 5 年度			
令和 6 年度			
令和 7 年度			
令和 8 年度			
令和 9 年度			

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	32,973	34,810	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	4,885	4,884	0	0	0
	都道府県支出金	14,783	14,782	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	13,305	15,144	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○財源の確保に努め、法定外の繰出しを行うことなく運営することが出来た。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	児童・生徒医療費（村単）	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	03 健やかな子どもの成長の支援
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030101 民生費・社会福祉費・社会福祉総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	小学生から高校 3 年生（18 歳相当）までの児童・生徒の医療費の一部を助成する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	受給者数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	653	648						
活動	指標名	1人当たり1月の給付金						単位	円
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	1,379	1,408						
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・児童・生徒医療費 9,121 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	9,121	9,300	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	3,009	2,500	0	0	0	0
	一般財源	6,112	6,800	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○高校生までのお子さんを持つ家庭の医療費の負担軽減に繋がっている。 ○負担軽減に向け、高校3年生（相当）までのお子さんに対する現物給付方式を行っている。 柔道整復療養費について、令和3年8月より現物給付化が導入された。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	乳幼児医療費（県単）	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	03 健やかな子どもの成長の支援
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030101 民生費・社会福祉費・社会福祉総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	小学校 3 年生までの乳幼児医療費及び中学校 3 年生までの入院費の一部を助成する。 R3 年度 8 月より柔道整復施術療養費も現物給付方式の対象となる。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	受給者数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	793	767						
活動	指標名	1人当たり1月の給付金						単位	円
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	695	1,088						
活動	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
活動	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・乳幼児医療費 8,348 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	8,348	8,370	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	3,741	3,720	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	4,607	4,650	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○受給者は減少傾向にあるが、医療費は前年に比べ増加している。 ○子育て世帯への医療費の負担軽減に繋がっている。 柔道整復療養費について、令和3年8月より現物給付化が導入された。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	重心母子精神医療費（県単）	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030101 民生費・社会福祉費・社会福祉総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	重度心身障害者、母子父子家庭の医療費の一部を助成する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	受給者数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	304	322						
活動	指標名	1人当たり1月の給付金						単位	円
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	4,936	4,223						
活動	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
活動	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・重心母子精神医療費 16,320千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	16,320	16,500	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	7,588	7,710	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	8,732	8,790	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○障害を持つ方、母子父子家庭への医療費負担の軽減に繋がっている。
村民等からの意見等	
今後の課題	○貸付制度について、受給者にあまり認知されていないため、引き続き周知を行う。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	重心母子精神医療費（村単）	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030101 民生費・社会福祉費・社会福祉総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	重度心身障害者、精神医療費（県単）の対象にならない方に枠を広げ、医療費の一部を助成する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	受給者数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	44	45						
活動	指標名	1人当たり1月の給付金						単位	円
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	2,896	2,676						
活動	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
活動	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・重心母子精神医療費 1,445千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	1,445	1,595	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1,445	1,595	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○自立支援医療、特定疾患医療利用者の医療費の負担軽減に繋がっている。 ○指定難病受給者証の送付に併せて福祉医療制度のチラシの同封を行い、対象者全員に周知を行うことが出来た。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	福祉医療事務関係経費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030101 民生費・社会福祉費・社会福祉総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	福祉医療費支払いのための事務経費。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 福祉医療費事務手数料（償還払分） 1,130 千円 福祉医療費委託料（現物分） 949 千円 福祉医療費給付システム使用料 396 千円 福祉医療受給者証用紙代 7 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	2,502	2,760	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	703	1,049	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1,799	1,711	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○事務の委託及び福祉医療システムの利用により、職員の負担軽減、事務の円滑化に繋がっている。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

■新規 □完了 ■実計対象 ■評価対象 ■施策対象

事務事業名	福祉施設支援事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
	担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030101 民生費・社会福祉費・社会福祉総務費

1. 事務事業の概要

事業期間		R3評価結果	継続
事業概要	新型コロナウイルス感染症対策のため、介護・障害福祉サービス事業所等への感染予防用品配布や、施設利用者の抗原定量検査検査費用への補助を行う。 また、物価高騰対策として介護サービス事業者等に補助金を交付する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症防護対策用品購入費 3,873千円 ・介護サービス事業者等価格高騰対策支援補助金 729千円 ・感染予防用品購入費（地区サロン） 345千円 ・高齢者施設等利用者抗原検査費用補助金 232千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	5,179	0	0	0	0	0
	国庫支出金	5,179	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○地区サロンに非接触型体温計とパーテーションを支給した。感染症対策をして開催してもらうことで、コロナ禍においても高齢者の通いの場を確保できた。 ○介護サービス事業所等でコロナウイルス陽性者が確認された際に支給する感染対策用品を確保した。 ○高齢者施設利用に係る抗原定量検査費用補助について、58件の申請があった。 ○県の物価高騰対策補助事業の対象とならない介護サービス事業所等に独自に支援補助金を交付し、事業の継続に役立てていただいた。
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○介護サービス事業所でコロナウイルス陽性者が発生した時に、村から感染対策用品を支給してもらいありがたかった。 ○高齢者施設利用のための抗原検査費用を補助してもらい助かっている。
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
			A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
			A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
			A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
			Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

■新規 □完了 ■実計対象 ■評価対象 ■施策対象

事務事業名		価格高騰緊急支援給付金支給事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら	
	施策	06 社会保障の充実	
担当所属		500200 保健福祉課・福祉係	
予算科目	会計	01 一般会計	
	科目	030101 民生費・社会福祉費・社会福祉総務費	

1. 事務事業の概要

事業期間		R3評価結果	
事業概要	令和4年9月30日時点で喬木村に住居登録があつて世帯全員が令和4年度住民税均等割が非課税の世帯か予期せず家計が急変したことで令和4年1月以降の収入が減少し住民税非課税相当の収入となった世帯へ1世帯あたり5万円を給付する	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和4年度	・電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 477世帯 23,850千円
令和5年度	
令和6年度	
令和7年度	
令和8年度	
令和9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和4年度決算額	令和5年度予算額	令和6年度計画額	令和7年度計画額	令和8年度計画額	令和9年度計画額
財源内訳	事業費	24,761	0	0	0	0	0
	国庫支出金	24,761	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	・新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々へ速やかに生活、暮らしの支援を受けられるようプッシュ型にて給付を行った
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
			A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
			A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
			A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
			Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 国の給付金事業（100%補助事業）であるため令和4年度で給付が終了であったが、令和5年度も継続して給付が行われることになったので継続する。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

■新規 □完了 ■実計対象 ■評価対象 ■施策対象

事務事業名	生活困窮世帯緊急支援金支給事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
担当所属	500200 保健福祉課・福祉係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030101 民生費・社会福祉費・社会福祉総務費

1. 事務事業の概要

事業期間		R3評価結果	
事業概要	令和4年9月30日時点で喬木村に住居登録があつて世帯全員が令和4年度住民税所得割が非課税の世帯か予期せず家計が急変したことで令和4年1月以降の収入が減少し住民税所得割非課税相当の収入となった世帯へ1世帯あたり3万円を給付する	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和4年度	・生活困窮世帯緊急支援金 120世帯 3,600千円
令和5年度	
令和6年度	
令和7年度	
令和8年度	
令和9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和4年度決算額	令和5年度予算額	令和6年度計画額	令和7年度計画額	令和8年度計画額	令和9年度計画額
財源内訳	事業費	4,015	0	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	4,014	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	・新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々へ速やかに生活、暮らしの支援を受けられるよう給付を行った
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
			A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
			A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
			A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
			Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	5：終了
	判断理由 県単独事業（100%補助事業）として行ったので令和4年度で終了。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	国民年金事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
担当所属	300300 住民窓口課・住民係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030102 民生費・社会福祉費・国民年金事務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	国民年金業務を行うための電算処理委託料。	評価対応内容	委任事務であるため継続。
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	D. DX 推進プロジェクト
----------	----------------

3. 指標の推移

活動	指標名	異動届受付件数						単位	件
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	269	245						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・電算委託料 66千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	66	66	0	0	0	0
	国庫支出金	66	66	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○国民年金被保険者および受給者の異動に関する手続きのうち村に委任されている事務を行った。 ○国民年金のみに関する事務以外は年金事務所となるが、個人では判断が難しいため、適切な案内を行うことが出来た。
村民等からの意見等	○年金事務所の場所がわからない、年金手続きがわからないという窓口や電話での問合せがある。
今後の課題	○マイナンバーカードを使ってマイナポータル内で個人での申請・免除が出来るようになったため、それに関する問い合わせも今後増える可能性があり対応していく必要がある。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	高齢者クラブ活動事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030103 民生費・社会福祉費・老人福祉費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	高齢者の生きがいづくりや健康増進を目的に、高齢者クラブの活動を支援する。 令和 3 年度から県の補助基準に合わせ、会員数に応じた補助金額を交付している。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・役員の担い手不足や会員減少による休会が相次いでおり、持続可能な活動への転換が急務である。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	C. 協働・共創によるSDGs推進プロジェクト
----------	-------------------------

3. 指標の推移

活動	指標名	活動支会数						単位	支会
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	10	9						
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 支会活動費補助 378千円 連合会活動費補助 178千円 コロナフレイル予防事業委託料 125千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	681	571	0	0	0	0
	国庫支出金	125	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	370	379	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	186	192	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○活動実施にあたり、各支会で感染対策の徹底を図って交流の機会を維持することができた。
村民等からの意見等	○会員の減少の歯止めがかけられないため、活動に支障が出ている。 ○65歳以上でも現役で仕事をしている方が多く、従来のような新規会員の獲得が難しい。 ○コロナの影響が長く続いたため、活動を再開することに不安を感じている。
今後の課題	○役員の担い手不足・会員の減少により、休止となったまま活動が再開できない支会がある。 ○今後も会員減少が見込まれることから、限られた人数で持続可能な活動への転換が急務である。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	B：改善の必要がある
	A	B	B	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある 会員の減少に歯止めがかからず、活動の休止・縮小を余儀なくされる支会が出てきている。役員 の事務負担軽減や高齢者クラブのあり方の見直しなど、限られた人数で持続可能な活動への転換 を引き続き模索していく。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	緊急通報サービス事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030103 民生費・社会福祉費・老人福祉費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	独居高齢者の安否確認と非常時の緊急対応のためのシステムの設置及びサービスを実施。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・新規利用者を増やすため、積極的な広報が必要。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	利用者数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	31	34						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 緊急通報サービス委託料 518千円 新規設置手数料 44千円 撤去手数料 44千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	606	1,426	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	157	420	0	0	0	0
	一般財源	449	1,006	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<p>○近年、固定電話回線に対応していない家庭や、緊急時における協力者の確保が困難な家庭の増加が課題となっていたが、これらの課題を解決するため、令和5年度から総合警備保障株式会社（ALSOK）を新たにサービス事業者指定することとした。</p> <p>○従来、独居高齢者のみを利用対象としていたが、サービスの必要性が高い高齢者二世帯及び独居重度心身障がい者にも対象を拡大するため、要綱の改正を行った。</p> <p>○安否確認センサーによる10件の真報通報があり、全員の無事を確認した。</p> <p>○緊急通報サービスを入れたことで、離れて暮らしていても安心感がある。</p>
村民等からの意見等	
今後の課題	○独居高齢者世帯が増加しているため、引き続き新規利用者の拡大を図ることが必要。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	介護保険特別会計関係費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030103 民生費・社会福祉費・老人福祉費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	介護保険特別会計への一般会計からの繰出金。	評価対応内容	
		問題点・課題等	後期高齢者の増加に伴い要介護認定者の増加及び重度化が見込まれるため、給付費や地域支援事業費の増加が予想される。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	被保険者数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	2,167	2,161						
活動	指標名	介護保険認定者数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	352	348						
活動	指標名	総合事業対象者数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	146	147						
活動	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 介護給付費一般会計繰出金 92,574千円 事務費等繰出金 21,182千円 低所得者保険料軽減分繰出金 6,513千円 地域支援事業繰出金（包括的支援・任意事業） 5,749千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	131,357	140,462	0	0	0	0
	国庫支出金	3,257	3,462	0	0	0	0
	都道府県支出金	1,628	1,731	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	126,472	135,269	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○介護給付費等に対して定められた割合で負担しており、介護保険制度の安定した運営に寄与している。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	後期高齢者医療関係経費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030103 民生費・社会福祉費・老人福祉費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	後期高齢者医療特別会計への一般会計からの繰出金や後期高齢者広域連合への医療費負担金。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・被保険者数の増加による繰出金の増加 ・一人あたりの医療費の増加による医療費負担金の増加

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	被保険者数						単位	人
	説明	年度末時点の被保険者数							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	1,265	1,257						
活動	指標名	一人あたりの医療費						単位	円
	説明	1 年間にかった一人あたりの医療費							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	806,223	771,284						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 負担金 療養給付費負担金 71,483 千円 繰出金 基盤安定事業分 20,940 千円 広域連合事務費分 3,099 千円 事務費分 988 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	96,509	108,764	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	15,704	16,690	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	80,805	92,074	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○一人当たりの医療費は減少した。一体的事業により、対象者に対し丁寧な健康指導を行うことが出来ている。
村民等からの意見等	
今後の課題	○今後、団塊の世代が加入するなど、将来的に加入者数の増加が予想され、それに伴う繰出金、医療費負担金の増加が見込まれる。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	福祉センター管理経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	02 生涯学習の推進
担当所属	800500 教育委員会・社会教育係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030104 民生費・社会福祉費・福祉センター管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	福祉センターの管理運営を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・利用者の減少

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	C. 協働・共創によるSDGs推進プロジェクト
----------	-------------------------

3. 指標の推移

成果	指標名	施設稼働率						単位	%
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	52.6	57.7						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 福祉センター管理委託料 1,080千円 電気料 1,638千円 エレベーター点検料 436千円 福祉センター外壁改修工事 508千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費		4,677	5,645	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	18	60	0	0	0	0
	一般財源	4,659	5,585	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○適正な維持管理を行っている。 ○外壁クラック修繕により雨水対策を講ずることが出来た。
村民等からの意見等	○第三会議室の椅子が古いのでそろそろ更新してほしい。
今後の課題	○日中の空き部屋の有効活用について検討していく必要がある。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	障害者総合支援関係経費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	04 障がい児者福祉の推進
担当所属	500200 保健福祉課・福祉係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030105 民生費・社会福祉費・障害者総合支援制度費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	障がい児者の自立を支援するため、在宅サービス、就労支援、施設サービス等の費用の支給、育成・更生医療等の医療費の給付を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	施設入所・グループホーム利用者数						単位	人
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	26	27						
活動	指標名	就労移行支援・就労継続A型利用者数						単位	人
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	9	10						
活動	指標名	障害支援区分新規認定者数						単位	人
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	2	1						
活動	指標名	放課後等デイ利用人数						単位	人
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	23	21						

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> 障害福祉サービス費 195,465千円 (利用者 73名) 障害児通所給付費 29,876千円 (利用者 21名) 障害児者補装具交付修理費 2,757千円 (給付件数 18件) 障害者医療給付事業 1,465千円 (育成・更生医療利用者 0名、療養介護利用者 2名)
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	230,230	227,487	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	117,271	113,442	0	0	0
	都道府県支出金	56,807	56,720	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	56,152	57,325	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○障害福祉サービスは、計画相談に基づいて給付が行っている。
村民等からの意見等	
今後の課題	○サービス利用は増加傾向にあり、障害福祉サービスでみると、令和3年度と比較し6,947千円増加している。今後も計画相談に基づいて適正に支給していく。 ○需要が増えつつある障害者グループホーム、重度重複障害の対応できる事業所等が人員不足の影響もあり定員が増えない。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 計画相談に基づき適正な障害福祉サービスの給付を行う必要があるため。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	地域生活支援事業経費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	04 障がい児者福祉の推進
	担当所属	500200 保健福祉課・福祉係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030106 民生費・社会福祉費・地域生活支援事業

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	障がい児者の地域生活を支援するためのサービスの提供や障がいへの理解を深めるための学習会や交流活動を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	サービス利用者数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	23	20						
活動	指標名	相談支援利用者数						単位	件/年
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	204	208						
活動	指標名	成年後見制度申請者数						単位	人/年
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	0	0						
活動	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援事業サービス給付費 4,632千円 (移動支援 15名 917時間、訪問入浴 2名 224回) ・日常生活用具給付費 1,254千円 (ストマ用装具、紙おむつ等 138件) ・相談支援事業費広域連合負担金 2,535千円 ・ペアレントトレーニング 90千円 (講師謝礼、参加者 2名)
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	9,494	10,238	0	0	0	0
	国庫支出金	1,882	2,391	0	0	0	0
	都道府県支出金	941	1,195	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	6,671	6,652	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○ペアレント・トレーニングを開催し、発達障害など子どもの接し方に悩む保護者を対象にした学びの場を提供した。 ○買い物や社会的活動を行うために利用する移動支援サービスや日常生活用具（ストマ等）購入支援などにより、障がい者が地域で安心して暮らし続けることができている。
村民等からの意見等	
今後の課題	○障がいについて理解を深める機会の提供方法を検討する。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 日常生活用具の給付および移動支援事業については、飯伊地域で統一された取り組みであるため引き続き実施すると共に、障がいをもった児童との交流会、障がいの理解を深める学習会を開催していく。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	喬木荘等維持管理経費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500200 保健福祉課・福祉係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030107 民生費・社会福祉費・喬木荘等維持管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	特別養護老人ホーム喬木荘, 喬木村デイサービスセンターに係る大型修繕等に係る経費	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 簡易修繕村負担分工事 772千円 デイサービスセンター浴室改修工事 9,669千円 特養喬木荘介護浴槽改修工事 8,448千円 特養喬木荘灯油地下タンク 2,640千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	21,529	27,340	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	1,759	26,500	0	0	0	0
	一般財源	19,770	840	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○長寿命化計画によって計画された工事によって入居者の安全を守ることができた。
村民等からの意見等	
今後の課題	○特養開設から30年あまり経過し、修繕箇所が多くなってきており引き続き長寿命化工事を計画する必要がある。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A		A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A		A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A		A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	Z		A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない 指定管理者制度の契約により社会福祉協議会より一部負担してもらっている

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 長寿命化工事計画により施設を安全に維持するための工事が今後も計画されているため継続。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	出産祝金事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	03 健やかな子どもの成長の支援
担当所属	500200 保健福祉課・福祉係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030201 民生費・児童福祉費・児童福祉総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	次代を担う児童を確保するため、出産し養育する父母に出産祝金を支給する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	C.協働・共創によるSDGs推進プロジェクト
----------	------------------------

3. 指標の推移

活動	指標名	第1子						単位	人
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	2	8						
活動	指標名	第2子						単位	人
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	14	8						
活動	指標名	第3子以降						単位	人
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	11	9						
活動	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> 第1子（祝い金額 10万円） 8名 800千円 第2子（祝い金額 10万円） 8名 800千円 第3子（祝い金額 10万円） 9名 900千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費		2,500	3,500	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	2,500	3,500	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○祝金贈呈数 25名 (R3年度27名) 村から祝い金を贈呈することによって、村で生まれたお子様の健やかな成長を応援する意思を伝えることができている。 ○令和4年度より新たな子育て支援策として制度を見直し、祝金は一律10万円の交付を行った。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	B	B	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない 新しい子育て支援策として見直し、祝金は子育て世帯に対し健やかな子どもの成長支援として貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	B	B	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある 新しい子育て支援策として見直し、祝金額を一律にし子育て世帯へ平等に子育て支援を行う施策へ切り替えた。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 祝金事業は引き続き子育て支援策として一律の祝金額として継続していく。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	児童福祉一般経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	03 青少年の健全育成
担当所属	500200 保健福祉課・福祉係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030201 民生費・児童福祉費・児童福祉総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	青少年健全育成、生活安全のための活動費等。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	青少年健全育成講演会・学習会開催回数						単位	回
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	0	0						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 少年警察ボランティア報酬 45千円 南信交通災害共済 190千円 (0歳児～高校生掛金) 社会を明るくする運動 57千円 (啓発物品)
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	303	307	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	303	307	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○南信交通災害共済について、村内における各種工事等で交通量が増えているため高校3年生までのお子さんを公費負担対象とした。
村民等からの意見等	
今後の課題	○社会を明るくする運動について、より理解を深める活動を検討したい

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	<p>2：継続</p> <p>判断理由 青少年の健全育成のため見守り活動や、犯罪非行から守るための取り組み、更生保護への取り組みについて、保護司、少年警察ボランティア、更生保護女性会、飯田警察署等と協力し継続的に行っていく。</p>
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	子ども・子育て支援事業	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	07 保育・子育て支援の充実
	担当所属	500200 保健福祉課・福祉係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030201 民生費・児童福祉費・児童福祉総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	家庭での子どもの養育が一時的に困難になった場合、児童が児童養護施設に一時的に入所するための施設委託料。	評価対応内容	令和元年度中に利用者の拡大を図るため、乳幼児にも対応できる施設との新たな契約をおこなう。パンフレットを作成し周知を行う。
		問題点・課題等	・制度の周知

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	利用児童数（延べ人数）						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	0	1						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・子ども子育て支援事業 1名利用 4千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	4	188	0	0	0	0
	国庫支出金	0	46	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	46	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	3	1	0	0	0	0
	一般財源	1	95	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○1名の利用があった。一時的に児童の養育が困難になった際の受け皿として、保護者の安心感へと繋がっている。 ○乳幼児を対象とした施設と契約し、産後うつなどに対応できる環境がある。
村民等からの意見等	
今後の課題	○利用数が少ないため、子育て家庭やその支援をされている方などへこの制度があることをさらに周知を図る必要がある。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 事業の周知とともに、関係機関との連携を行っていく。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	03 健やかな子どもの成長の支援
担当所属	500200 保健福祉課・福祉係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030201 民生費・児童福祉費・児童福祉総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 4年度～令和 4年度	R3評価結果	継続
事業概要	令和 4 年 3 月 3 1 日時点で18歳未満の児童(障害児の場合、20歳未満)を養育する父母等で令和 4 年度住民税(均等割)が非課税の方または令和 4 年 1 月 1 日以降のコロナの影響を受け収入が急変し、住民税非課税相当の収入となった父母等(家計急変者)へ児童一人当たり一律 5 万円を給付する	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	・子育て世帯生活支援特別給付金(その他世帯)給付 3,900千円(36世帯児童78人へ支給)
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位:千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	4,421	4,800	0	0	0	0
	国庫支出金	4,421	4,800	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	新型コロナウイルスの影響による失業や収入減少の中で、食費等の物価高騰等の影響を受けた子育て世帯へ低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯分）の支給をプッシュ型（一部の方申請）で行い低所得の子育て世帯へ家計の支援をおこなった。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
		A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
		A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
		A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
		Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 国の給付金事業（100%補助事業）であるため令和4年度で給付が終了したが、令和5年度も引き続き給付金事業がおこなわれることになった。支払いまで迅速かつ的確に給付事務を行う。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

■新規 □完了 ■実計対象 ■評価対象 ■施策対象

事務事業名	出産・子育て応援事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	03 健やかな子どもの成長の支援
担当所属	500200 保健福祉課・福祉係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030201 民生費・児童福祉費・児童福祉総務費

1. 事務事業の概要

事業期間		R3評価結果	
事業概要	出産応援給付金は、支給対象者の妊娠1回につき5万円を現金で支給する。 子育て応援給付金は、対象児童1人につき5万円を現金で支給する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	出産・子育て応援交付金交付件数						単位	件
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値		70						
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	・ 出産応援交付金 (70名) 3,450千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	3,500	3,500	0	0	0	0
	国庫支出金	2,775	2,333	0	0	0	0
	都道府県支出金	550	583	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	175	584	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	・国の要綱によって交付される給付金であり、対象者へ速やかに給付を行うことができた。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
			A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
			A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
			A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
			Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 国の伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業実施要綱に基づき支給する事業であるが、令和5年度も引き続き事業が行われている。出産育児に対する経済的負担を軽くするためまた母への聞き取りを強化し安心して出産、子育てができる環境を整えるための事業として継続する。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	児童手当事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	03 健やかな子どもの成長の支援
担当所属	500200 保健福祉課・福祉係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030202 民生費・児童福祉費・児童措置費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	中学校修了までの児童を対象に1人につき月額10,000円を支給。3歳未満及び小学校修了前の第3子は月額15,000円を支給する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	C.協働・共創によるSDGs推進プロジェクト
----------	------------------------

3. 指標の推移

活動	指標名	3歳未満						単位	件
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	年間支給延べ件数	1,233	1,155						
活動	指標名	3歳～小学生						単位	件
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	年間支給延べ件数	5,496	5,188						
活動	指標名	中学生						単位	件
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	年間支給延べ件数	1,922	1,820						
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	年間支給延べ件数								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満(月額15,000円) 17,325千円 ・小学校修了前(月額10,000円、第3子以降15,000円) 55,530千円 ・中学生(月額10,000円) 17,520千円 ・特例給付(月額5,000円) 840千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	91,215	95,070	0	0	0	0
	国庫支出金	63,262	65,819	0	0	0	0
	都道府県支出金	13,995	14,564	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	13,958	14,687	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○子育てに係る恒常的な支援として一定の意義がある。 ○年間件数 8,163件
村民等からの意見等	
今後の課題	○他自治体も実施する事業であるので、住民の異動があった際の支給開始・終了等の処理について、情報連携を行いながら二重支給、漏れ等がないようにする。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 児童を養育するために必要な事業。給食費の未納者への対応など教育委員会と連携していく。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	病児・病後児保育事業	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	07 保育・子育て支援の充実
担当所属	800100 教育委員会・子ども教育係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030203 民生費・児童福祉費・保育所費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	病児・病後児のための保育の実施。	評価対応内容	
		問題点・課題等	感染症等による施設利用者数の増加。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	病児保育利用者数						単位	人
	説明	健和会病院内 病児保育施設（おひさまはるる）利用者							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	17	2						
成果	指標名	病児保育新規登録者数						単位	人
	説明	健和会病院内 病児保育施設（おひさまはるる）新規登録者							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	4	0						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	・病児保育負担金 19千円（町村負担金）
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	19	250	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	2	50	0	0	0
	一般財源	17	200	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○施設利用者は少数であったが保護者のニーズに対応することができた。
村民等からの意見等	
今後の課題	○様々な感染症等による施設利用者の急激な増加への対応。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	保育所広域入所事業	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	07 保育・子育て支援の充実
担当所属	800100 教育委員会・子ども教育係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030203 民生費・児童福祉費・保育所費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	保育の必要な児童で、村外の私立幼稚園・私立保育園・認定子ども園への入所調整を図る。	評価対応内容	
		問題点・課題等	勤務状況により広域入所を希望する保護者の増加。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	村外委託児童数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	22	17						
活動	指標名	広域委託費						単位	千円
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	17,941	19,212						
活動	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
活動	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・広域入所扶助費 19,212千円（施設型給付費）
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	19,221	14,442	0	0	0	0
	国庫支出金	7,508	4,370	0	0	0	0
	都道府県支出金	3,896	2,185	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	1,284	690	0	0	0	0
	一般財源	6,533	7,197	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○保護者のニーズ、申請に基づき適切な協議、保育認定を行っている。
村民等からの意見等	
今後の課題	○社会情勢、保護者の就労形態の変化により今後も一定程度の利用者が見込まれる。 ○委託市町村側の定員超過。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	保育所関係経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	07 保育・子育て支援の充実
	担当所属	800100 教育委員会・子ども教育係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030203 民生費・児童福祉費・保育所費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	保育園の運営を円滑に進め、専門性の向上に努めるとともに健全な心身の発達を図る。	評価対応内容	
		問題点・課題等	たかぎ保育所が新たに始まることによる運営状況の変化。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員報酬 6,848千円 (会計年度任用時給職員) ・消耗品費 258千円 (園児服41人分) ・委託料 517千円 (子ども・子育てシステム保守料等) ・借上料 961千円 (中央保育園・南保育園敷地賃借料)
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
	事業費	9,809	56,776	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	1,782	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	9,809	54,994	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○保育の質の向上、各園の安全確保等施設環境整備に努めた。 ○会計年度任用職員（時給）の保育士を2名雇用し、入所の希望に添えるように適切な人員配置に努めた。
村民等からの意見等	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○現場の多様な保育ニーズに対する課題への対応。 ○会計年度任用職員の適宜雇用。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

□新規 ■完了 ■実計対象 ■評価対象 ■施策対象

事務事業名	統合保育所関係経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	07 保育・子育て支援の充実
担当所属	800100 教育委員会・子ども教育係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030203 民生費・児童福祉費・保育所費

1. 事務事業の概要

事業期間		R3評価結果	
事業概要	統合保育園建設に関わる経費。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

指標名	説明	単位					
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	実績値						
指標名	説明	単位					
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	実績値						
指標名	説明	単位					
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	実績値						
指標名	説明	単位					
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	実績値						

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 5,030千円 (椅子・棚 等) ・測量・設計・管理委託料 9,900千円 (工事管理業務) ・工事請負費 600,917千円 (園舎建設工事費・遊具設置工事費 等) ・庁用器具費 14,527千円 (物置・机・避難車 等)
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	633,948	0	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	547,400	0	0	0	0
	その他	630	0	0	0	0
	一般財源	85,918	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○令和3年6月より造成工事に着手し令和3年10月に竣工。 ○令和4年2月に園舎・外構建設工事に着手し、令和4年11月に園舎が完成する。 ○令和5年3月に遊具設置工事が終了し全ての工事が完了する。 ○園名は令和4年8月に一般公募し、令和5年2月に「たかぎ保育園」と発表。 ○令和5年3月25日、竣工式・オープニングイベントを実施し1,200名を超える方が来園。
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所、地区の総会等での一部開放。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・たかぎ保育園の適切な管理運営。 ・園児専用バスの整備。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
			A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
			A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
			A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
			A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	5：終了
	判断理由 令和5年3月統合保育園完成のため。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	南保育園運営経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	07 保育・子育て支援の充実
担当所属	800100 教育委員会・子ども教育係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030205 民生費・児童福祉費・南保育園費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	南保育園の管理運営を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	園児数の減少。 職員の適正（加配保育士等）の確保。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	未満児（0～2歳）児童数						単位	人
	説明								
	実績値	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
		7	6						
活動	指標名	以上児（3～5歳）児童数						単位	人
	説明								
	実績値	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
		13	10						
活動	指標名	保育標準認定者数						単位	人
	説明	保育標準時間11時間保育（8時～19時）							
	実績値	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
		10	8						
成果	指標名	待機児童者数						単位	人
	説明								
	実績値	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
		0	0						

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 491千円（手指消毒用アルコール等） ・光熱水費 957千円（電気・上下水道料） ・賄材料費 1,560千円（給食・おやつ代） ・備品購入費 171千円（抗菌カーペット等）
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	5,148	5,207	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	400	0	0	0	0
	都道府県支出金	36	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	766	861	0	0	0
	一般財源	3,946	4,346	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○園児数（年度末現在）16名 ○修繕を要する箇所及び保育環境の整備（遊具）に対応することができた。 ○コロナの影響もあり活動の制限もあったが、小規模ならではの特色ある保育を実施することができた。 ○園舎隣接地（農地）を利用し自然保育の更なる充実に努めた。
村民等からの意見等	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○加配保育士等の確保及び体制づくり。 ○園児数減少に伴う各種事業内容の検討。 ○運営形態の検討。 ○施設の老朽化による改修。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

□新規 ■完了 ■実計対象 ■評価対象 ■施策対象

事務事業名	北保育園運営経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	07 保育・子育て支援の充実
	担当所属	800100 教育委員会・子ども教育係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030290 民生費・児童福祉費・北保育園費

1. 事務事業の概要

事業期間		R3評価結果	
事業概要	北保育園の管理運営をおこなう。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	未満児（0～2歳）児童数						単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	27	26						
活動	指標名	以上児（3～5歳）児童数						単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	60	52						
活動	指標名	保育標準認定者数						単位	
	説明	保育標準時間11時間（8時～19時）							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	28	25						
成果	指標名	待機児童数						単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	0	0						

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 1,113千円（手指消毒用アルコール等） ・光熱水費 1,781千円（電気・上下水道） ・賄材料費 5,667千円（給食・おやつ代） ・備品購入費 161千円（サーマルカメラ体温計等）
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	10,396	0	0	0	0	0
	国庫支出金	500	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	108	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	6,189	0	0	0	0	0
	一般財源	3,599	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○園児数（年度末現在）78名 ○保護者のニーズに応えることができた。（待機児童0名）
村民等からの意見等	○公園としての利用を検討してほしい。
今後の課題	○今後の跡地利用の検討。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
			A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
			A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
			A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
			A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	5：終了
	判断理由 たかぎ保育園の運営が開始されたため。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

□新規 ■完了 ■実計対象 ■評価対象 ■施策対象

事務事業名	中央保育園運営経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	07 保育・子育て支援の充実
	担当所属	800100 教育委員会・子ども教育係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030291 民生費・児童福祉費・中央保育園費

1. 事務事業の概要

事業期間		R3評価結果	
事業概要	中央保育園の管理運営を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	未満児（0～2歳）児童数						単位
	説明							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
	実績値	27	29					
活動	指標名	以上児（3～5歳）児童数						単位
	説明							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
	実績値	65	65					
活動	指標名	保育標準認定者数						単位
	説明	保育標準時間11時間（8時～19時）						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
	実績値	35	32					
成果	指標名	待機児童数						単位
	説明							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
	実績値	0	0					

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 1,272千円（手指消毒用アルコール等） ・光熱水費 1,451千円（電気・上下水道料） ・賄材料費 6,579千円（給食・おやつ代） ・備品購入費 161千円（サーマルカメラ体温計等）
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	11,093	0	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	500	0	0	0	0
	都道府県支出金	108	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	3,634	0	0	0	0
	一般財源	6,851	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○園児数（年度末現在）94名 ○保護者のニーズに応えることができた。（待機児童0名）
村民等からの意見等	
今後の課題	・園舎解体時、解体後の維持管理。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
			A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
			A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
			A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
			A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	5：終了
	判断理由 たかぎ保育園の運営が開始されたため。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	災害救助経費	
総合計画	基本目標	03 生活環境／環境にやさしく、安全・安心なむら
	施策	03 消防・防災対策の充実
担当所属	500200 保健福祉課・福祉係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	030301 民生費・災害救助費・災害救助費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	災害時応急救助に係る経費、赤十字奉仕団への活動補助金。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	赤十字奉仕団役員数						単位	人
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	49	48						
活動	指標名	赤十字奉仕団災害支援出動回数（累計）						単位	回
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	4	1						
活動	指標名	赤十字奉仕団研修会・訓練回数						単位	回
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	3	3						
活動	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 喬木村赤十字奉仕団への活動補助金 150千円 ・ 日赤活動資金口座振替手数料 5千円 ・ 住宅火災見舞金 50千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	211	479	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	211	479	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○赤十字奉仕団の訓練等を再開し、コロナ禍であっても災害に備え共助の為の知識を深めることができた。 ○村内で火災が発生した際、どのように赤十字奉仕団として行動するか研修を行った
村民等からの意見等	
今後の課題	○赤十字奉仕団の活動が小規模集落の地区によっては、活動参加が困難なところがあり役員の人数の精査や、選出方法、活動内容等を見直していくことが必要となってきている。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 赤十字奉仕団の活動は地域の共助活動として重要な役割となっている。訓練等を工夫し、減災、防災の知識を深め地域全体に浸透できるよう活動をおこなう。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	保健衛生一般経費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	01 村民の健康づくりの推進
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	040101 衛生費・保健衛生費・保健衛生総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	保健衛生事業を円滑に推進するために、各種団体等への助成を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	薬物乱用指導員数						単位	人
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	1	1						
活動	指標名	食を考える会員数						単位	人
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	11	11						
活動	指標名	食を考える会活動回数（会議・学習会・事業）						単位	回
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	8	9						
活動	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 飯伊包括医療協議会負担金 1,916千円 飯伊診療情報連携負担金 262千円 食を考える会補助金 45千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	2,270	2,293	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,270	2,293	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<p>【飯伊包括医療協議会等負担金】 ○地域医療の充実・安心して医療機関を受診できる体制づくりに繋がっている。 【食を考える会】 ○定期的に学習を行い、学習した内容を活かし旬菜健康定食や食の学習会等の事業協力へ繋げている。</p>
村民等からの意見等	
今後の課題	<p>【食を考える会】 ○年々会員数が減少しているため、村での活動を継続できるよう新会員入会に向けて努力していきたい。</p>

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

■新規 □完了 ■実計対象 ■評価対象 ■施策対象

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策傷病手当金事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	01 村民の健康づくりの推進
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	040101 衛生費・保健衛生費・保健衛生総務費

1. 事務事業の概要

事業期間		R3評価結果	
事業概要	国保加入者のうち自営業者に対し、コロナ感染症感染による傷病手当金を支給する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	傷病手当金支給対象者数						単位	人
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値		4						
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	・扶助費 130千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	130	0	0	0	0	0
	国庫支出金	50	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	80	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	・国保加入者のうち自営業者に対し、コロナ感染症により休業した期間に応じて、傷病手当金を支給し、経済的な支援を行うことが出来た。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
			A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
			A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
			A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
			Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	5：終了
	判断理由 コロナ感染症の状況を鑑み、令和4年度で終了。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	予防接種事業経費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	01 村民の健康づくりの推進
	担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	040102 衛生費・保健衛生費・予防費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	乳幼児期から高校 3 年生（18 歳相当）の予防接種による感染症の流行の抑制及び高齢者のインフルエンザ、肺炎球菌の発症、重症化を防ぐ。	評価対応内容	
		問題点・課題等	子どものインフルエンザ補助は令和 4 年度限りとする

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	ヒブワクチン接種率						単位	%
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	100	97.8						
成果	指標名	小児用肺炎球菌予防ワクチン接種率						単位	%
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	100	97.8						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	予防接種委託料 15,610 千円 消耗品費 28 千円 印刷製本費 38 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	16,468	18,255	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	672	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	15,796	18,255	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○ほとんどのお子さんについて定期接種が終了しており、疾病予防に繋がっている。 ○65歳以上のインフルエンザ・肺炎球菌ワクチン接種についても同様に疾病予防に繋がっている。
村民等からの意見等	
今後の課題	○未接種者への接種勧奨。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	保健事業経費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	01 村民の健康づくりの推進
	担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	040102 衛生費・保健衛生費・予防費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	健康増進法に基づき生活習慣病の予防のための健康診査を実施する。対象年齢は40歳未満及び後期高齢者。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	39歳以下受診者数						単位	人
	説明								
	実績値	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
		117	114						
成果	指標名	20～39歳の受診者割合						単位	%
	説明								
	実績値	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
		12.8	12.7						
成果	指標名	後期高齢者受診者数（集団健診）						単位	人
	説明								
	実績値	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
		205	229						
	指標名							単位	
	説明								
	実績値	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		

4. 年度別事業内容

令和 4年度	基本健診委託料（39歳以下及び後期高齢者、基本健診・心電図・眼底検査）2,139千円 消防団健診委託料（消防団員・消防団員配偶者基本健診、InBody検査料）199千円 検診調査代行パンチ入力 75千円 簡易検査キット負担金 4,550千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	7,809	2,976	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	3,443	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	1,429	1,418	0	0	0
	一般財源	2,937	1,558	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<p>○39歳以下の受診者・割合ともにやや減少した。対面での健診受診勧奨が効果的であるが消防団員数、出生数が減少に伴い、その機会も減っている。しかし、LOGOフォームを活用し申しやすいように工夫することができた。</p> <p>○健診結果について、初めての方と結果に異常があった方に必ずお会いして検査値の意味、結果の見方等について説明して継続受診に繋げている。</p>
村民等からの意見等	
今後の課題	<p>○基本健診について丁寧に周知を行い、引き続き乳幼児健診等で個別勧奨を行っていく。</p> <p>○健康ポイント事業を活用し生活習慣病予防に繋げていく。</p>

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	健康増進事業経費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	01 村民の健康づくりの推進
	担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	040102 衛生費・保健衛生費・予防費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	生活習慣病発症・重症化予防のための保健指導・相談等を施す。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	肝炎ウイルス検査実施者						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	4	3						
活動	指標名	全訪問件数						単位	件
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	723	796						
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・システム使用料 800千円 ・システム保守料 665千円 ・歯科健診委託料 90千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	1,942	2,280	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	536	567	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1,406	1,713	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○国の動向に合わせたシステムを使用することで、住民の健（検）診結果を適切に管理し、活用することができている。 ○訪問件数は昨年度より73件増加した。重症化予防のための訪問、地区・組織での健康相談により、個別・集団と対象に合わせた保健指導を行うことができている。
村民等からの意見等	
今後の課題	○今年度は第三期健康増進計画を策定する年であり、社会保険の方も含めた住民に対しての取組を評価、検討し、今後の方向性を考えていく必要がある。それに基づき、今後の取組を検討、実施していく。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	がん検診推進事業経費（国庫）	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	01 村民の健康づくりの推進
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	040102 衛生費・保健衛生費・予防費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	働き盛りの年代層のがんの早期発見と早期治療を目的に検診受診促進を図り、健康意識の普及を実施する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	子宮頸がん検診クーポン利用者割合						単位	%
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	4.8	16						
成果	指標名	乳がん検診クーポン利用者割合						単位	%
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	18.5	33.3						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> がん検診委託料（子宮頸がん検診、乳房マンモグラフィ検診） 96千円 印刷製本費 34千円 郵便料 5千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	139	299	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	17	20	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	122	279	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○子宮頸がん検診・乳房検診ともに昨年度より利用者割合は増加。クーポン券の送付が受診へのきっかけづくりに繋がっている。
村民等からの意見等	
今後の課題	○クーポンの周知、受診勧奨を引き続き行う。 ○国が子宮がん検診クーポン対象年齢の見直しを検討しているため、国の動向を注視し対応できるようにする。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	B：改善の必要がある
	B	B	B	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある 昨年より受診率は増加した。今後国の動向に合わせ、対象者を検討する。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	がん検診推進事業経費（村単）	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	01 村民の健康づくりの推進
	担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	040102 衛生費・保健衛生費・予防費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	健康増進法に基づき、予防可能ながんの早期発見・早期治療を目的に、がん検診を実施する。	評価対応内容	平成29年度より前立腺がんの補助対象を拡大。
		問題点・課題等	・国指針で示された「がん検診受診を特に推奨する年齢」での健診受診率向上。 ・集団乳房検診を受けられなかった方への対応。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	受診率の維持向上（胃・大腸）					単位	%
	説明	(胃集団検診受診者数+大腸集団検診受診者数) / (胃検診対象者数+大腸検診対象者数)						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
	実績値	11.4	11.4					
成果	指標名	精検受診率の向上（胃・大腸）					単位	%
	説明	(胃検診精検受診者数+大腸精検受診者数) / (胃検診精検対象者数+大腸精検対象者数)						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
	実績値	84.1	80.3					
成果	指標名	乳がん受診率（エコー・マンモグラフィ）					単位	%
	説明	(エコー集団検診受診者数+マンモ集団検診受診者数) / (エコー検診対象者数+マンモ検診対象者数)						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
	実績値	20.6	22.9					
成果	指標名	前立腺がん検査受診者数					単位	人
	説明							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
	実績値	210	227					

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> 各種がん検診委託料 7,112千円 郵便料 184千円 印刷製本費 43千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	7,342	8,070	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	200	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	1,154	1,228	0	0	0
	一般財源	6,188	6,642	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○検診受診により、がんの早期発見に繋がっている。R4：大腸3名、前立腺1名 ○乳幼児健診、ママ講座、広報誌等で受診勧奨を実施しており、婦人がん検診受診率向上や受診への意識に繋がっている。
村民等からの意見等	
今後の課題	○HPVワクチンキャッチアップの方に対し、接種勧奨と合わせ、受診勧奨を行う。 ○R5年度より、乳房検診を集団検診で受診できなかった方に対し、個別健診を実施。 ○集団検診以外での検診受診（人間ドックや職場健診等）の状況把握が困難なため、がん検診の未受診者の特定が困難。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	B	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	自殺対策事業経費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	01 村民の健康づくりの推進
	担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	040102 衛生費・保健衛生費・予防費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	自殺の危険性の高い人の早期発見・早期対応を図るため、地域や職場で相談対応を行う担当者に対するうつ病等精神疾患の理解、対応についての学習会を実施する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	課を超えて連携をとっていく機会を検討。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	学習回数						単位	回
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	1	1						
成果	指標名	自殺者数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	0	1						
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・報償費 20 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	20	60	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	20	60	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○職員間の事例検討学習を行い、対応に困る事例について共有・検討し、助言をいただくことで、今後の関わり方についての見通しがもて、共有することができた。 ○民生委員に対し、ゲートキーパー研修を実施した。
村民等からの意見等	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○精神疾患患者についての理解を深め、関係職員の力量形成、連携の取れる体制づくりのために学習会を継続していくことが必要。 ○民生児童委員等の要望により学習会の実施を検討。 ○民生児童委員等からの情報や相談により、心配な方には関わり医療へ繋げることを検討する。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	後期高齢者保健事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	01 村民の健康づくりの推進
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	040102 衛生費・保健衛生費・予防費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	後期高齢者医療の被保険者に対し、人間ドックの費用助成や、生活習慣病重症化予防のための相談・保健事業を実施する。 R2 年度から国の補助事業「高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業」の取り組みを開始している。	評価対応内容	R2 年度から国の補助事業「高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業」の取り組みを開始している。
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	後期高齢者人間ドック受診者数						単位	人
	説明								
	実績値	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
		43	39						
活動	指標名	訪問人数（延べ）						単位	人
	説明								
	実績値	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
		291	416						
活動	指標名	健康教育						単位	人
	説明								
	実績値	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
		267	305						
	指標名							単位	
	説明								
	実績値	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬 会計年度任用職員 263 千円 ・需用費 消耗品等 56 千円 ・人間ドック補助 585 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	968	1,189	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	712	1,189	0	0	0
	一般財源	256	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<p>○後期高齢者人間ドック受診者は前年度と比べ4人減少しているが、国保でドックを受けられた方が引き続き後期高齢でも受けていただいている。</p> <p>○地区の学習会等で依頼により血圧測定し、血圧の基準値確認、家庭血圧測定により重症化予防に繋がっている。</p> <p>○介護と医療の一体的実施として保健事業を行っており、後期高齢者の健康維持増進に繋げている。</p>
村民等からの意見等	○地区で引き続き健康相談を実施してほしい。
今後の課題	○後期高齢者健診受診者について、重症化予防の保健指導が十分には行えていないため、今後注力していく。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	風しん対策事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	01 村民の健康づくりの推進
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	040102 衛生費・保健衛生費・予防費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 6 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性に対して、予防接種法に基づき、風しん抗体検査・予防接種の勧奨を行う。当初令和元年から令和3年度末までの3年間の事業だったが令和6年度末まで延長となった。風しん抗体の保有率をあげ、風しんの発症、重症化を防ぐとともに、風しんの流行を予防する。	評価対応内容	令和2年度以降は抗体検査及び予防接種が未実施の対象者に向けてクーポンを発行した。
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	対象者の風しん抗体検査実施率(抗体検査実施数/クーポン券発行者数)						単位	%
	説明	令和元(平成31)年度よりはじまる							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	18.3	10.2						
成果	指標名	風しん抗体検査陰性の者のワクチン接種率(ワクチン接種者数/風しん抗体検査陰性者数)						単位	%
	説明	令和元(平成31)年度よりはじまる							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	84.9	83.5						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	抗体検査委託料 180千円 予防接種委託料 61千円 印刷製本費 30千円 郵便料 22円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	476	555	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	232	226	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	244	329	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○風しん抗体価に応じて予防接種を実施することで、対象世代の抗体保有率の引き上げができています。また、疾病予防に繋がっている。
村民等からの意見等	
今後の課題	○クーポン対象者へ向け、風しん抗体検査および予防接種の周知活動を行う。 ○風しん抗体検査陰性の者が、確実に風しんワクチンを接種できるように接種勧奨を行う。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	01 村民の健康づくりの推進
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	040102 衛生費・保健衛生費・予防費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 3 年度～令和 4 年度	R3 評価結果	
事業概要	新型コロナウイルスワクチン接種が適正に執行されるための接種券の送付、予約受付、ワクチン調整等を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	新型コロナウイルスワクチン接種者数（年度末）						単位	%
	説明	2 回目接種者数（割合）							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	82.3	86.3						
活動	指標名	新型コロナウイルスワクチン接種者数（年度末）						単位	%
	説明	3 回目接種者数（割合）							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	44.7	75.9						
活動	指標名	新型コロナウイルスワクチン接種者数（年度末）						単位	%
	説明	4 回目接種者数（割合）							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値		57.4						
活動	指標名	新型コロナウイルスワクチン接種者数（年度末）						単位	%
	説明	2 価ワクチン接種者数（割合）							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値		53.5						

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 報酬 コールセンター職員 4,260 千円 消耗品 電話用ヘッドセット他 560 千円 委託料 接種委託料等 23,175 千円 償還金 過年度返還金 3,565 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	33,820	24,278	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	30,255	24,278	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,565	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナワクチン接種について、接種券の送付、予約の受付等を行った。 ・3回目は村全体で75.9%、2価ワクチンは53.5%となっている。国県の平均接種率は上回っている。
村民等からの意見等	
今後の課題	コロナ禍は続いており、引き続き秋接種以降の対応を行っていく必要がある。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	妊婦健康診査支払事業経費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	03 健やかな子どもの成長の支援
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	040103 衛生費・保健衛生費・母子衛生費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	母子保健法に基づき、母子の健康を保持増進するため妊婦健康診査を安心して受診できるよう健康診査料を助成する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	妊婦健診助成券交付件数						単位	件
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	31	29						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	妊婦健診委託料、妊婦歯科検診委託料 2,986千円 県外妊婦一般健診補助 45千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	3,031	4,731	0	0	0	0
	国庫支出金	0	5	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	3,031	4,726	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○妊婦健診の受診により、母子の健康維持と安心・安全な出産に繋げることが出来た。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	母子衛生関係経費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	03 健やかな子どもの成長の支援
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	040103 衛生費・保健衛生費・母子衛生費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	母子保健法・健やか親子21等に基づき、親と子が健やかに暮らせるよう乳幼児健診、母乳相談、不妊症・不育症治療費の助成を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	出生数の減少

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	C.協働・共創によるSDGs推進プロジェクト
----------	------------------------

3. 指標の推移

成果	指標名	乳幼児健診相談参加率						単位	%
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	98	98.3						
成果	指標名	産前妊婦訪問・相談の割合						単位	%
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	100	100						
活動	指標名	不妊治療助成件数						単位	件
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	2	2						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	賃金（乳幼児健診医師・助産師・保健師） 委託料（母乳相談、産後健診、乳幼児健診、股関節脱臼健診） 不妊治療助成金	1,789千円 711千円 142千円
令和 5年度		
令和 6年度		
令和 7年度		
令和 8年度		
令和 9年度		

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	3,047	3,594	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	569	986	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,478	2,608	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<p>○乳幼児の発育・発達について、保護者と確認し、子育てについては教育委員会担当者や発達支援機関職員と連携し、支援に繋がっている。</p> <p>○乳幼児健診に参加できなかった母子については、翌年度や個別対応で全員に関わることができている。</p> <p>○母親学級では、妊娠中の母胎の変化、胎児の成長、必要な栄養、出産の準備についての学習機会となり、安心して出産に臨めることに繋がっている。妊娠8ヶ月時訪問を開始したことで、全ての妊婦に会う機会ができた。</p> <p>○不妊治療助成があったが、妊娠、出産には至らなかった。</p>
村民等からの意見等	
今後の課題	○妊娠8ヶ月時訪問を開始したことで、全ての妊婦に会う機会ができた。この機会を活用し、妊娠期や出産に向けての不安の解消できるように相談も実施していく。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	村営墓地事業	
総合計画	基本目標	02 社会基盤／住みたいと思える生活環境の整ったむら
	施策	02 住環境の整備
担当所属	600100 生活環境課・環境林務係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	040201 衛生費・清掃費・清掃総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	村営墓地の維持管理を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・霊園会員が高齢化してきているため会の在り方について検討していく。 ・集合墓地の必要性について検討していく。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	北霊園						単位	区画
	説明	全105区画中の利用区画							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	102	104						
活動	指標名	郭霊園						単位	区画
	説明	全74区画中の利用区画							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	72	71						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 61千円 ・使用料還付 280千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	341	110	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	107	0	0	0	0
	一般財源	234	110	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策及び会の課題である高齢会員の負担軽減のため、共同作業（草刈り）をシルバー人材センターへ委託し実施した。
村民等からの意見等	○霊園会の共同清掃はシルバー人材センターへの委託を望む意見が多い。 ○高齢であったり、村外へ転出していて管理ができないため墓を返還したいとする使用者がいる。
今後の課題	○残り区画の使用許可(北霊園は残り1区画、郭霊園は残り3区画) ○霊園会の会員の高齢化に伴い共同作業を継続できるか、また、今後の墓終い対応や共同墓地化等について検討の必要性 ○名義人死亡後の管理者等が未届等による管理者の把握

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	合併処理浄化槽経費	
総合計画	基本目標	02 社会基盤／住みたいと思える生活環境の整ったむら
	施策	04 上・下水道の整備
担当所属	600201 生活環境課・上下水道係・上下水道係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	040201 衛生費・清掃費・清掃総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	集合処理区域外において、合併処理浄化槽を普及し生活排水処理を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・浄化槽の更新件数の増加 ・下水道公費負担との均衡に関し、法定検査費用に対する補助の検討

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	浄化槽の接続率						単位	%
	説明	個別処理区域における合併処理浄化槽の設置割合							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	90.99	91.76						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	浄化槽設置修繕補助金	【更新設置】 2基 1,800千円 【本体修繕】 3基 215千円 【付帯設備修繕】 15基 350千円	338基 1,705千円
令和 5 年度	浄化槽法定検査費 (11条)		
令和 6 年度			
令和 7 年度			
令和 8 年度			
令和 9 年度			

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	4,138	4,853	0	0	0	0
	国庫支出金	0	110	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	110	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	4,138	4,633	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○合併処理浄化槽設置修繕補助金により更新設置2基、本体修繕3基、付帯設備修繕15基の改修等が行われ、公共水域の水質保全の向上に寄与することができた。 ○令和4年度より11条法定検査費用（5,000円）を公費負担することとしたことにより、下水道利用者との費用の平準化が図られ、また、全基検査の実施が可能となった。
村民等からの意見等	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○独居高齢者や高齢者世帯の接続率向上をいかにして図るかが課題。 ○機器の老朽化に伴う修繕が適正に行われるかが今後の課題となる。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	B：一部見直しが必要である
	B	B	B	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない 11条法定検査費用の公費負担及び下水道使用料の段階的値上げにより、令和7年度の下水道使用料値上げ完了時には経費格差が是正される予定である。

8. 総合評価

今後の方向性	<p>2：継続</p> <p>判断理由 必要な事業であるため。</p>
--------	------------------------------------------------

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	廃棄物処理事業	
総合計画	基本目標	03 生活環境／環境にやさしく、安全・安心なむら
	施策	01 循環型社会の形成
	担当所属	600100 生活環境課・環境林務係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	040201 衛生費・清掃費・清掃総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	ごみの分別収集・運搬・処理を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・ごみの分別徹底及び減量化を推進する。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	燃やすごみ排出量						単位	t
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	713.28	713.63						
活動	指標名	資源紙排出量						単位	t
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	14.64	13.79						
活動	指標名	資源プラ排出量						単位	t
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	53.46	52.55						
活動	指標名	金物排出量						単位	t
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	19.05	17.71						

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 可燃ごみ収集運搬 5,515千円 その他資源・不燃・有害等収集運搬 13,789千円 専用袋等 1,296千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	21,348	26,289	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	8,786	7,778	0	0	0
	一般財源	12,562	18,511	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○ごみリサイクルカレンダーに沿ったごみの収集を実施することで、適正なごみの収集・処分につながった。 ○生ごみ処理機の補助率の引き上げを行った令和3年度以降補助実績件数が増加し、生ごみに起因する燃やすごみの排出量の増加抑制に寄与できた。(補助件数 R2:3件、R3:7件、R4:9件) ○令和2年7月豪雨により三枚添地籍のバツカー車通行に制限がある大島地区のごみ収集について、道路開通までの間直営や小型バツカーの手配により収集運搬の対応ができた。
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○分別をせず、袋にも名前や電話番号を書かないでごみを出す人がおり、収集もされないのごみが残ったままになっていることへの対応 ○自治会未加入者のごみ排出に対する自治会の対応のあり方
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○燃やすごみの排出量は依然として多いため、分別の徹底・生ごみの水切等各家庭での分別意識の徹底させるため、効果的な手法を検討する。 ○プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律への対応として、令和6年度から分別回収を行うことについて、燃やすごみとして排出している製品プラスチックごみにおける分別基準物の決定や収集袋の版の改定、容器包装リサイクル協会への委託申請等の準備を進める。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	環境一般経費	
総合計画	基本目標	03 生活環境／環境にやさしく、安全・安心なむら
	施策	01 循環型社会の形成
	担当所属	600100 生活環境課・環境林務係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	040201 衛生費・清掃費・清掃総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	燃やすゴミ、し尿の広域処理に係る費用負担と環境保護対策を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・処理施設の長寿命化対策

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	燃やすごみ排出量						単位	t
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	713.28	713.63						
活動	指標名	し尿処理量						単位	t
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	220.95	240.71						
活動	指標名	浄化槽汚泥処理量						単位	t
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	403.29	421.62						
活動	指標名	犬の登録数						単位	頭
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	313	304						

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ中間処理施設負担金 26,039千円 ・し尿処理施設負担金 12,238千円 ・不法投棄防止ネット設置工事 1,183千円 ・ゴミステーション設置補助 445千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	40,565	40,756	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	228	226	0	0	0
	一般財源	40,337	40,530	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○稲葉川センターの稼働（平成28年秋）以降、燃やすごみとして処理するごみの種類（廃プラ、古着・古布）が増えたことから、ここ数年間の排出量は増加傾向にあったものの、令和4年度は令和3年度の排出量減少に続き前年度同水準を維持できた。 ○令和4年4月1日付で行った喬木村ゼロカーボンシティ宣言を機に、南信州環境メッセ実行委員会に加入し、県ほか環境保全団体と共に、環境施策展開の一環として同メッセに出展し石けんづくりの会の紹介と石鹸の販売を展開した。
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○石けんづくりの会で活動する人を増やしたい。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○稲葉川センターの炉の維持等を目的とした燃やすごみの減量化について、周辺自治体とも情報共有しながら、資源プラや紙ごみの混入に対する分別の徹底のための啓発に努める。 ○石けんづくりの会の活動をPRすることを通して、村民のリサイクル意識を高め環境問題に対する関心を持ってもらう。 ○犬へのマイクロチップ装着義務化に係る狂犬病予防法特例制度への参加について県や市町村の動向をみながら検討する。 ○猫の避妊去勢手術費用への補助制度について、近隣市町村の動向をみながら導入について検討を行う。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	脱炭素・循環型社会推進事業	
総合計画	基本目標	03 生活環境／環境にやさしく、安全・安心なむら
	施策	01 循環型社会の形成
担当所属	600100 生活環境課・環境林務係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	040201 衛生費・清掃費・清掃総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	脱炭素社会の構築に向けたCO2の削減を推進するための事業を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・脱炭素社会に向けCO2削減の方策を検討していく。 ・太陽光発電システム設置補助金の申請増へ対応する。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	普及啓発活動の回数						単位	回
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	0	1						
活動	指標名	脱炭素社会推進委員会（旧：新エネルギー推進協議会）開催回数						単位	回
	説明	令和 3 年度から脱炭素社会推進委員会に改組し、その開催回数							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	1	1						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化防止実行計画策定業務委託料 3,490千円 太陽光発電システム設置補助 15件 1,495千円 蓄電池設置補助 23件 2,700千円 太陽熱温水器設置補助 4件 200千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	8,226	17,775	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	8,000	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	8,226	9,775	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○環境対策への取り組みを充実させることを目的として、令和4年4月1日付で喬木村ゼロカーボンシティ宣言を行った。 ○地球温暖化防止実行計画（事務事業編）を策定し、役場の業務遂行にあたって排出される二酸化炭素の排出量を算出するとともに、今後の排出削減のための道筋を立てた。 ○従前の新エネルギー協議会を脱炭素社会推進委員会に改組し、地球温暖化防止実行計画（事務事業編）の内容について協議検討を行った。
村民等からの意見等	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○令和5年度に地球温暖化防止実行計画（区域施策編）の策定を通じて、村全体での環境意識の醸成を図ると共に、再生可能エネルギーの活用をはじめとする温室効果ガス排出削減のための具体的な施策展開を検討する。 ○令和4年度に策定した事務事業編について、職員向けに概要説明を行い、併せて環境関係の補助制度の紹介をすることで計画の具体的展開に向けて全庁的に周知する必要がある。また、進捗管理のため、環境省提供ソフトLAPSSを利用し、各施設での電気・燃料使用量等の数値入力を行うと共に「いいむす21」へ加盟する。

7. 事業評価

評価項目	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	
施策への貢献度				A：十分貢献している
	B	B	A	【凡例】A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない 令和4年度は環境メッセ2022に村として出展したこと、及び地球温暖化防止実行計画（事務事業編）を策定したことを鑑み、評価をBからAへ変更。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	処分場管理経費	
総合計画	基本目標	03 生活環境／環境にやさしく、安全・安心なむら
	施策	01 循環型社会の形成
	担当所属	600100 生活環境課・環境林務係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	040202 衛生費・清掃費・処分場管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	一般廃棄物最終処分場の維持管理を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・一般廃棄物最終処分場長寿命化に向けた適切な維持管理を行う。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	埋立ごみ処分量						単位	立法メトリ
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	52	50						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 水質検査手数料 1,452 千円 水処理施設管理委託料 2,640 千円 散気ブロワ分解修繕工事 1,518 千円 調整ポンプ更新工事 396 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	8,705	9,132	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	8,705	9,132	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○処分場への埋立作業・水処理施設の維持管理を適正に行うことで、水質検査異常もなく、安全な施設維持ができた。 ○主要機器である散気ブロワやエアリフトブロワ、調整ポンプの更新工事を行うことで、施設の長寿命化が図られた。
村民等からの意見等	
今後の課題	○機器類の更新を進めることで施設の長期間使用に努める。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	水道事業経費	
総合計画	基本目標	02 社会基盤／住みたいと思える生活環境の整ったむら
	施策	04 上・下水道の整備
	担当所属	600201 生活環境課・上下水道係・上下水道係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	040301 衛生費・上水道費・水道事業費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	斑状歯の治療関連業務及び、基準に基づく水道事業会計への繰り出しの実施。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	有収率						単位	%
		説明	収入になった水量／作った水量						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	92.6	83.8						
成果	指標名	経費回収率						単位	%
	説明	供給単価／給水原価							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	104.08	80.67						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・斑状歯 2名治療 412千円 ・水道事業出資金 22,278千円 ・水道事業補助金 2,665千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費		25,357	27,756	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	3,400	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	2,904	0	0	0	0	0
	一般財源	22,453	24,356	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○漏水の多発により前年度より有収率は低下したが、早期発見・早期修繕に努め、年間26箇所の漏水修繕工事を実施した。 ○斑状歯治療（2人）補償を行うことができた。 ○収益的収支に対する補助金及び資本的収支に対する出資金を事業会計に繰り出すことで円滑な事業経営に資することができた。
村民等からの意見等	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○人口減少に伴い料金収入の減少も見込まれるが、経営状況を踏まえながら適正な料金を設定していく。（下水道料金改定完了の令和8年度以降における水道料金のあり方の検討を行う。） ○高速交通開通に伴う水源への影響を注視し安全な水の確保に向けた取り組みを行う。 ○経営戦略や水道ビジョンの策定を基に事業を実施し、適正な繰出を行う。 ○電気料高騰分の補てんを行うため、基準外の繰り出しを行う必要がある。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 必要な事業であるため

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	農業委員会運営経費	
総合計画	基本目標	04 産業／産業と雇用を交流で生み出すむら
	施策	01 地域特性を活かした農業振興
担当所属	700100 産業振興課・農政係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	050101 農林水産業費・農業費・農業委員会費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	農地法、農業経営基盤強化法に基づく法令審査及び農業生産力の拡大に向けた農業振興策の立案に関する経費。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	農業委員・農地利用最適化推進委員数						単位	人
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	15	15						
活動	指標名	農地法第3条（農地の所有権等の権利移動）許可件数						単位	件
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	6	11						
活動	指標名	農地法第4条・5条（農地等の転用）許可件数						単位	件
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	29	24						
活動	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	委員報酬 5,858千円 城原遊休農地対策 63千円 タブレット導入 990千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	7,161	6,138	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	2,362	2,032	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	198	214	0	0	0
	一般財源	4,601	3,892	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<p>○農地パトロール（8月～9月）により村内にある農地の利用状況の確認を行った。その結果、遊休農地と判定された農地に対しては農地利用意向調査（2月）を実施。</p> <p>○DX対応としてタブレットを導入し会議や農地パトロールに活用を始め、紙資料の大幅な削減を行った。</p> <p>○城原水田の転作作物の試験として野菜の栽培を行った。また、地権者と連携し水田の暗渠排水による柿の定植し今後経過を観察していく。</p>
村民等からの意見等	○新規就農者などから委員の声掛けや、相談対応など支援に感謝している。
今後の課題	○農地利用の目標地図作成による地域計画の策定と遊休荒廃農地への対策が必要。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 農業委員会等に関する法律に基づき行っている事業のため。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	農業総務一般経費	
総合計画	基本目標	04 産業／産業と雇用を交流で生み出すむら
	施策	01 地域特性を活かした農業振興
担当所属	700100 産業振興課・農政係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	050102 農林水産業費・農業費・農業総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	農政関係協議会への参加及び公用車・就農住宅管理等の一般的経費。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・需用費（消耗品費、燃料代等）103千円 ・負担金 98千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	427	649	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	30	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	111	3	0	0	0	0
	一般財源	316	616	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○構成団体として所属している市田柿活性化推進協議会では、市田柿を次の100年に繋げるための市田柿食育動画の作成や、市田柿レシピブックの発行を行い、県内外の方に市田柿を周知することができた。 また、地域文化の継承に繋がる活動を実施することができた。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 農政関係協議会や公用車管理に必要な経費のため。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	農地管理システム関係経費	
総合計画	基本目標	04 産業／産業と雇用を交流で生み出すむら
	施策	01 地域特性を活かした農業振興
担当所属	700100 産業振興課・農政係	
予算科目	会計	—
	科目	—

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	農地管理をシステム上で行うための経費	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

指標名	説明	単位					
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		実績値					
指標名		単位					
説明		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
実績値							
指標名		単位					
説明		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
実績値							
指標名		単位					
説明		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
実績値							

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	農地農家台帳システム更新委託料 660千円 農地農家台帳課税情報突合業務委託料 165千円 農地利用状況調査支線システム 660千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	1,485	2,819	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	241	448	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	167	150	0	0	0	0
	一般財源	1,077	2,221	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○農地利用状況調査にタブレットを導入をしたことで、効率よく実施することができている。
村民等からの意見等	
今後の課題	○農地利用状況調査結果を活用して、遊休農地対策や利用集積につなげていく。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 農地農家台帳の整理更新や農地状況を把握し対策をする上で必要な経費である。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	遊休農地対策事業補助金	
総合計画	基本目標	04 産業／産業と雇用を交流で生み出すむら
	施策	01 地域特性を活かした農業振興
担当所属	700100 産業振興課・農政係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	050103 農林水産業費・農業費・農業振興費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	遊休農地の解消、防止するための補助を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	高齢化等により、毎年遊休農地が発生している

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	有害鳥獣防護柵設置事業補助金						単位	件
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	2	1						
活動	指標名	小規模土地改良事業補助金						単位	件
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	4	2						
活動	指標名	農地流動化事業補助金						単位	件
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	45	46						
活動	指標名	遊休農地利活用事業補助金						単位	件
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	2	4						

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・農地流動化事業補助金 518千円 ・小規模土地改良事業補助金 298千円 ・有害鳥獣防護柵補助金 55千円 ・遊休農地利活用対策事業補助金 37千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	908	1,770	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	908	1,770	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<p>○農地流動化事業では、6.2haの農地を集積し、遊休農地抑制と経営面積の拡大に一定の効果があった。 また、小規模土地改良事業では排水改良、ハウス用地の造成工事への補助を行った。</p> <p>○遊休農地利活用事業では、栗苗木を13本、ブルーベリー苗木を20本、市田柿苗木を10本定植し、1,833㎡の遊休農地の抑制を図った。</p> <p>○有害鳥獣防護柵設置事業では、延長100mの防護柵に補助し、0.2haの農地において有害鳥獣侵入対策を行った。</p> <p>○本事業を活用し、耕作を継続している現状から、遊休地解消、防止のための一定の効果があった。</p>
村民等からの意見等	
今後の課題	<p>○農業者が高齢化、また減少していく中で、遊休農地発生防止のために集落で抱える問題について、話し合いを行いながら地域計画をたて、人と農地の問題を解決していく必要がある。</p>

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	<p>判断理由 本事業が活用され、遊休農地発生防止に一定の効果があったため。</p>

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	農業振興事業補助金	
総合計画	基本目標	04 産業／産業と雇用を交流で生み出すむら
	施策	01 地域特性を活かした農業振興
担当所属	700100 産業振興課・農政係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	050103 農林水産業費・農業費・農業振興費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	担い手の確保、農業生産額の向上に向けた補助を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	農業用ハウス設置棟数						単位	棟
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	3	3						
活動	指標名	土壌分析等導入支援件数						単位	件
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	56	49						
活動	指標名	果樹共済加入推進対策支援件数						単位	件
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	25	21						
活動	指標名	野菜価格安定対策支援件数						単位	件
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	88	80						

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> 農業用施設設置事業補助金 617千円 畜産飼料高騰対策支援事業補助金 2,435千円 農業者経営支援事業補助金 3,300千円 施設園芸緊急支援事業補助金 1,938千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	13,390	11,670	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	10,883	6,000	0	0	0
	都道府県支出金	2	2	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,505	5,668	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<p>○農業用施設設置費用補助金3件、土壌分析等導入支援事業49件、果樹共済加入推進対策事業21件、野菜価格安定対策事業80件などの補助を実施し、生産額向上に向け一定の効果があった。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響を受ける農家の支援として、農業者経営支援190件、畜産飼料高騰対策支援7件、施設園芸緊急支援29件、農業用設備固定費支援23件を行い農業経営の継続を支援した。</p>
村民等からの意見等	<p>○施設栽培農家の支援として行った施設園芸緊急支援事業について、燃料価格の高騰が経営を圧迫していたため、今回の補助制度により経営継続に繋がった。</p>
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	<p>判断理由 農業生産額を向上するために必要な事業である。</p>

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	農業次世代人材投資事業	
総合計画	基本目標	04 産業／産業と雇用を交流で生み出すむら
	施策	01 地域特性を活かした農業振興
担当所属	700100 産業振興課・農政係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	050103 農林水産業費・農業費・農業振興費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 7 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	新規就農者の確保及び定着を目的とする国庫事業の経費。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	対象者						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	5	5						
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・補助金 7,500 千円（経営開始型補助金）
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	7,500	7,500	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	7,500	7,500	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<p>○現在の対象者は5名（いちご・きゅうり・市田柿・トマト）。</p> <p>○就農初期は経営が不安定であることから当事業による新規就農者支援としての効果は高い。</p>
村民等からの意見等	
今後の課題	<p>○新規就農者の初期経営安定のため積極的な活用をするが、申請から交付期間5年+5年の10年間農業従事が必要である。離農の場合は返還が必要なことから、意欲・経営力のある農業者の見極めと育成が重要である。</p> <p>○本年度からの新規就農者支援は、「新規就農者育成総合対策」で実施していく。</p>

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	<p>判断理由</p> <p>新規就農者の安定確保のために不可欠な事業である。</p>

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	多面的機能支払交付金事業	
総合計画	基本目標	04 産業／産業と雇用を交流で生み出すむら
	施策	01 地域特性を活かした農業振興
担当所属	700100 産業振興課・農政係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	050103 農林水産業費・農業費・農業振興費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	農地・水路等の維持管理及び農村環境の保全活動を行う活動組織の支援を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	活動組織数						単位	組織
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	3	3						
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	・活動組織 6,404千円 (小川下平会・伊久間会・帰牛原耕地保全会)
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	6,404	7,398	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	4,803	5,547	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1,601	1,851	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○3組織（小川・伊久間・帰牛原）で117haの協定面積となっている。 ○中山間地域等直接支払制度とともに、農用地保全を実施するために非常に有効な事業である。
村民等からの意見等	○農業用施設の維持修繕に効果的な事業である。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○3活動組織とも高齢化や事務の負担感が課題となっているが、地元農地を地元で管理していくことを支援する。 ○農業施設修繕の費用や作業労賃の支出が可能な有利な制度であることを周知し、取り組み組織の増加を目指したい。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 農地保全を地域で広範囲に実施するために不可欠な事業である。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	中山間地域等直接支払交付金事業	
総合計画	基本目標	04 産業／産業と雇用を交流で生み出すむら
	施策	01 地域特性を活かした農業振興
担当所属	700100 産業振興課・農政係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	050103 農林水産業費・農業費・農業振興費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	中山間地域の農用地等の維持管理を行う集落に交付金を交付する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・高齢化による担い手不足で、第6期対策以降の協定の締結が難しい集落がある。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	集落協定数						単位	集落
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	11	11						
活動	指標名	協定面積						単位	ha
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	26	25.5						
活動	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
活動	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	・活動補助金 5,400千円 (村内11集落の取り組み 一本木、小塩洞、塩田、大沢、帰牛原上、名平島、城原、菅沼、富田五反田、馬草田、大島) ・委員謝金 44千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	5,611	5,460	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	4,090	4,060	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	171	0	0	0	0	0
	一般財源	1,350	1,400	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○令和2年度より第5期対策が開始となり、11集落で25.5haの農地の保全を行った。
村民等からの意見等	○協定農用地の周辺草刈りの負担や事務的負担等から、令和7年度から始まる第6期対策は、集落での活動が実施できないとの意見が一部集落から挙げられている。
今後の課題	○集落協定の一部で、担い手が不足している地域があるため、担い手育成が必要である。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 農用地保全を広範囲で実施するに不可欠な事業である。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	経営所得安定対策等推進事業	
総合計画	基本目標	04 産業／産業と雇用を交流で生み出すむら
	施策	01 地域特性を活かした農業振興
担当所属	700100 産業振興課・農政係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	050103 農林水産業費・農業費・農業振興費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	経営所得安定対策及び水田活用の直接支払交付金の実施に必要な事務経費。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	申請件数						単位	件
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	92	87						
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員報酬 109千円 ・委員報酬（配布回収、現地確認、会議出席） 237千円 ・印刷製本費（封筒印刷代） 15千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	361	529	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	361	527	0	0	0	0
	一般財源	0	2	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○経営所得安定対策及び水田活用の直接支払交付金に係る申請書の配布回収、水田転作の現地確認を実施した。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 経営所得安定対策及び水田活用の直接支払い交付金の実施に必要な経費のため。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

■新規 □完了 ■実計対象 ■評価対象 ■施策対象

事務事業名	新規就農者育成総合対策	
総合計画	基本目標	04 産業／産業と雇用を交流で生み出すむら
	施策	01 地域特性を活かした農業振興
担当所属	700100 産業振興課・農政係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	050103 農林水産業費・農業費・農業振興費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	
事業概要	新規就農者の確保及び定着を目的とする国庫事業の経費	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	対象者						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値		1						
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	経営発展支援 633 千円 経営開始資金 1,500 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	2,133	16,545	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	2,133	16,545	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<p>○現在の対象者は1名（きゅうり・市田柿）</p> <p>○就農初期は経営が不安定であることから当事業による新規就農者支援としての効果は高い。</p>
村民等からの意見等	
今後の課題	<p>○新規就農者の初期経営安定のため積極的な活用をするが、申請から交付期間3年+5年の8年間農業従事が必要である。離農の場合は返還が必要なことから、意欲・経営力のある農業者の見極めと育成が重要である。</p> <p>○村外から移住をする新規就農者については、農地と住居の確保が必要となるが、現在村では柿畑が確保しづらい状況になっているため、関係機関と連携し、新規就農者の支援を行っていく必要がある。</p>

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
			A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
			A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
			A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
			Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	<p>判断理由</p> <p>新規就農者の安定確保のために必要不可欠な事業である。</p>

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	村単農業施設改良事業	
総合計画	基本目標	04 産業／産業と雇用を交流で生み出すむら
	施策	01 地域特性を活かした農業振興
担当所属	900200 高速交通対策課・建設係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	050104 農林水産業費・農業費・農業施設改良費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	用排水路など、地元が取り組む農業用施設改良工事への補助を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	農業用施設の老朽化

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	A. 小さな拠点づくりの推進と交通網活用プロジェクト
----------	----------------------------

3. 指標の推移

活動	指標名	地元補助件数						単位	件
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	5	7						
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 排水路詳細設計業務委託料（阿島北 田中下構造改善水路）5,808千円 農業施設改良工事（4件）3,081千円 地元工事補助金（材料支給7件）892千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	10,368	9,005	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	5,800	3,500	0	0	0	0
	その他	1,077	870	0	0	0	0
	一般財源	3,491	4,635	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○維持に必要な農業用施設について、工事または材料支給により整備できた。 水路改修工事（4件） 材料支給補助（7件）
村民等からの意見等	○農業用施設雨水排水としての水路となっていることから費用負担について検討してほしい。 ○材料支給制度について、より使いやすい制度への改善及び限度額の増について要望あり。
今後の課題	○農業施設の老朽化による補修対策

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	B：一部見直しが必要である
	B	B	B	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない 農業施設等整備おける補助金及び負担率の見直しが必要である。

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 農業施設の維持管理のため、地元と情報を共有しながら整備を継続していく。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	土地改良事業関係経費	
総合計画	基本目標	04 産業／産業と雇用を交流で生み出すむら
	施策	01 地域特性を活かした農業振興
担当所属	700100 産業振興課・農政係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	050105 農林水産業費・農業費・農地費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	小渋川土地改良区への賦課金・負担金に係る経費	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	小渋川土地改良区喬木地区受益者数						単位	人
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	623	623						
活動	指標名	小渋川土地改良区喬木地区賦課面積						単位	ha
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	215	209.8						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	小渋川土地改良区経常賦課金 1,417千円 (維持管理助成金) 小渋川土地改良区経常負担金 2,869千円 (地区協議会助成金) 県営かんがい排水事業負担金 614千円 (県営事業)
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	4,900	8,673	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	4,900	8,673	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○県営かんがい排水事業により、老朽化した幹線水路等の改修を実施。
村民等からの意見等	
今後の課題	○設置後40年以上経過しているため、近年補修箇所が非常に多い。多面的機能支払交付金事業と連携しながら、農業用水利施設の機能維持に努める。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 農用地維持のために不可欠な事業である。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	交流研修センター管理運営経費		
総合計画	基本目標	04 産業／産業と雇用を交流で生み出すむら	
	施策	04 観光の振興	
担当所属	700200 産業振興課・商工観光係		
予算科目	会計	01 一般会計	
	科目	050106 農林水産業費・農業費・農村交流研修センター管理運営費	

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	交流研修センターの管理運営を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	交流研修センター施設の老朽化に伴う大規模改修

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	交流センターの営業日数						単位	日
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	355	357						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・大規模改修（工事） 9,889千円 （設計・監理） 715千円 ・敷地料等 1,424千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	12,028	1,463	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	9,500	0	0	0	0	0
	その他	480	0	0	0	0	0
	一般財源	2,048	1,463	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○劣化が目立った外装や2階フロア、故障していた自動ドア、厨房機能及びの改修を実施
村民等からの意見等	
今後の課題	○村の交流拠点・観光拠点としての施設利用について、新たな活用方法も含め検討していく。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 交流拠点の役割を果たすため、運営管理を支援していく

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	公園事業	
総合計画	基本目標	02 社会基盤／住みたいと思える生活環境の整ったむら
	施策	02 住環境の整備
担当所属	600100 生活環境課・環境林務係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	050107 農林水産業費・農業費・活性化対策費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	村内の公園を安全快適に使用されるように管理を行う。 天竜小洪水系県立公園計画に基づいた矢筈公園の整備を行っていく。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・富田里山整備事業と連携した城山公園の活用方法の検討 ・老朽化した矢筈公園施設の取り壊し

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	B. 関係人口拡大プロジェクト
----------	-----------------

3. 指標の推移

活動	指標名	公園数						単位	箇所
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	7	7						
	指標名							単位	
	説明	村立公園と村立自然公園の計							
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 公園管理委託 2,418千円 工事請負費 2,309千円 (矢筈キャンプ場周辺遊歩道整備 汗馬沢～矢筈公園橋) 修繕費 485千円 光熱水費 885千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	6,472	5,892	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	2,300	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	4,172	5,892	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<p>○公園の管理や除草作業は適正に行い公園環境の維持が出来た。</p> <p>○矢筈キャンプ場の老朽化した遊歩道及び橋の修繕工事を行い、安全性・利便性の向上につながった。</p>
村民等からの意見等	<p>○矢筈キャンプ場が樹木で鬱蒼とした感があるため伐採等の対応の必要がある。</p>
今後の課題	<p>○矢筈キャンプ場周辺の活用方法として、天竜小洪水系県立公園計画の中で自然景観の保護について記載があることから、村としても遊歩道の整備等を通じ、気軽に自然を体験出来る公園として整備する。</p> <p>○矢筈キャンプ場における快適な利用のための整備に対応する。</p> <p>○安全性の確保のため定期的な遊具等の点検及び修繕の実施していく。</p>

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	クラインガルテン事業	
総合計画	基本目標	02 社会基盤／住みたいと思える生活環境の整ったむら
	施策	02 住環境の整備
担当所属	700100 産業振興課・農政係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	050107 農林水産業費・農業費・活性化対策費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	利用者支援体制を含め滞在型市民農園の運営を地元で行うことを支援することで、地域活性化・遊休農地の解消を図る。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・利用者の確保及び現利用者の継続利用 ・活用の検討

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	C. 協働・共創によるSDGs推進プロジェクト
----------	-------------------------

3. 指標の推移

成果	指標名	利用人数						単位	戸
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	8	8						
成果	指標名	利用率						単位	%
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	80	80						
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 31千円 ・修繕費 41千円 ・手数料 34千円 ・管理委託料 724千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費		830	1,558	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	830	1,440	0	0	0	0
	一般財源	0	118	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○氏乗地区は5棟、大島地区は3棟のクライנגルテン利用となり利用者を確保することが出来た。
村民等からの意見等	○引き続き利用者の確保に努めてほしい。(大島区) ○長期滞在利用される方の割合が多く大島といえど夏は暑いことからエアコン設置の要望がある。
今後の課題	○大島においては案内対応を丁寧に行うことで、利用者の確保に努めていきたい。 ○氏乗については三遠南信自動車道工事及び開通を見据えた活用を検討していきたい。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	B	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	B	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 地域の交流人口増加と活性化のために今後も継続していきたい。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	ふるさと会事業	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいを一つに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	01 協働のむらづくりの推進
担当所属	700200 産業振興課・商工観光係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	050107 農林水産業費・農業費・活性化対策費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	関東・東海地区ふるさと会の運営の支援と喬木村出身者宛てに喬木通信を発行する。	評価対応内容	・開催方法の見直し 同年会形式 ・幹事役員に村在住者を含めた運営方法の検討
		問題点・課題等	・会員数の減少と高齢化

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	ふるさと会参加者数隔年（関東・東海）						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	0	0						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・たかぎ通信、ふるさと会員向け土産卸業者カタログ発送 229千円 ・たかぎ通信等印刷 94千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	357	1,950	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	357	1,950	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症の影響により関東地区は令和5年度に延期を決定、また東海地区は開催日程の見直しをおこない令和5年6月に開催することを決定した。 ○ふるさと通信と共にふるさと納税チラシを送付した。 ○関東、東海各地区での幹事会を3年ぶりに実施することが出来た。
村民等からの意見等	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○関東、東海とも幹事さんが高齢化してきており、会の運営を継続できるよう支援を図っていく。 ○会員数が減少してきているため、新たな会員を獲得出来る様な方策を模索していく。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	
	B	B	B	B：一部貢献している 【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない 新型コロナの影響により、ふるさと会開催は延期となった。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	
	A	A	A	A：経費は適正な水準である 【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	
	B	B	B	B：改善の必要がある 【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある ふるさと会の実施方法及び会員の維持および増加対策が必要となる。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	
	A	A	A	A：受益・負担は適正である 【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続 判断理由 故郷を離れた方々を結ぶ機会の一助となるよう、今後もたかぎ通信を配布するとともにふるさと会を開催していく。
--------	-----------------------------------------------------------------------------

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	地域活性化関連事業補助金	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいをついに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	01 協働のむらづくりの推進
担当所属	700200 産業振興課・商工観光係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	050107 農林水産業費・農業費・活性化対策費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	地域活性化団体の連絡調整や協議会の運営と活性化のための補助を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・ N P O 体制見直し ・ 活性化団体への支援

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	いちご狩り入園者数						単位	人
	説明	1 シーズンによる集計 (1 月～3 月)							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	0	11,641						
成果	指標名	りんごの樹オーナー園契約者数						単位	人
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	333	324						
活動	指標名	構成団体数						単位	組織
	説明	NPO 加入団体							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	19	21						
成果	指標名	花いっぱい参加団体数						単位	団体
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	36	11						

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・ 地域活性化事業補助金 (N P O 法人たかぎ) 8,000 千円 ・ 景観形成作物等普及事業補助金 (花いっぱい運動) 506 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位: 千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	9,441	11,100	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	9,441	11,100	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<p>○NPO法人たかぎ等で地域づくりに取り組む団体への情報提供や活動支援を行っており、活性化団体の団体数を2団体増やすことが出来た。</p> <p>○くりん草祭りは実施出来たが、ポピー園は催事を自粛し自由観覧とした。コロナの状況で対応が分かれたが、共に多くの来場者があった。また、いちご狩りについては1法人5農家と減少したが開園することは出来た。</p> <p>1万2千人弱（年度末時点）の来場者があり観光客の入り込みについては貢献できている。</p> <p>○地域おこし協力隊員を採用し、団体支援の一翼を担っていただいている。</p>
村民等からの意見等	
今後の課題	<p>○活性化団体はいずれも高齢化により活動が厳しいことから、NPO法人たかぎと連携して支援を図っていく。</p> <p>○既存施設の活用については、村職員によるプロジェクト等でも検討していきたい。</p> <p>○レンタサイクル事業は北部各町村の特性を生かした連携事業や、ジャパンアルプスサイクリングプロジェクト（JACP）の活用などを検討し、利用拡大を図りたい。</p>

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	<p>判断理由</p> <p>NPO法人たかぎと連携して地域活性化団体の支援を図っていく。</p>

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	森林造成事業	
総合計画	基本目標	04 産業／産業と雇用を交流で生み出すむら
	施策	02 豊かな森林の育成と活用
担当所属	600100 生活環境課・環境林務係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	050201 農林水産業費・林業費・林業総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	村有林の経営管理、私有林の整備補助及び森林病虫害防除対策等を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・村内における森林の適正な管理を図るが、森林所有者の管理意識が低下してきている。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	除間伐						単位	ha
	説明	村有林における除間伐（鞍馬）							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	0.8	0.85						
活動	指標名	支障木竹伐採等						単位	m ²
	説明	村有地における支障木竹伐採							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	1,150	463						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> 委託料 21,219千円 負担金 1,500千円 補助金 4,256千円 工事請負費 198千円 	松くい、ナラ枯れ、村道沿線等支障木竹伐採、林地台帳システム保守 村有林整備（鞍馬沢） 森林整備、竹林整備 鬼ヶ城山登山口看板設置
令和 5年度		
令和 6年度		
令和 7年度		
令和 8年度		
令和 9年度		

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	27,173	25,600	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	6,929	8,826	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	3,000	0	0	0	0
	一般財源	17,244	16,774	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○村有林及び村有地の支障木竹等を伐採処理することにより、森林整備のみでなく景観保全やライフラインの保全にもつながった。 ○昨今下伊那地域でも蔓延傾向にあり対策が求められていたナラ枯れについて、被害木の伐倒駆除に令和4年度から取り組みを始めた。 ○鬼ヶ城山登山口に看板を設置したことにより、案内が容易になり登山者の利便性が高まった。
村民等からの意見等	○村が管理する山は全体的に整備が行き届いていないとして、計画的な整備を求める声が寄せられる。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○村有林直営地の間伐等保育事業を計画的に実施し、健全な森林造成を進める。 ○伐期を迎えた村有林における主伐再造林等、脱炭素社会に向けた森林整備方法について検討していく。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	林業総務一般経費	
総合計画	基本目標	04 産業／産業と雇用を交流で生み出すむら
	施策	02 豊かな森林の育成と活用
担当所属	600100 生活環境課・環境林務係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	050201 農林水産業費・林業費・林業総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	林務行政全般に係る事業を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・緑化祭の内容、村有林茸山の整備方法の検討 ・林地台帳、森林GISの精度向上への対応

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	村緑化祭参加者数						単位	人
	説明	令和 4 年度は悪天候が見込まれたため中止							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	40	0						
活動	指標名	村茸山入札回数						単位	回
	説明	令和2年度から複数年（3年）の入札を実施（R3は継続されなかった箇所のみ実施）次回は令和5年度実施							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	1	0						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> 委託料 679千円 林地台帳管理システム保守、GISデータ取込業務ほか 原材料費 550千円 村緑化祭用苗木代、緑の募金市町村緑化事業用苗木代 負担金 414千円 各種団体負担金等（下伊那山林協会ほか） 需用費 172千円 木材破砕機修繕費（120千円）ほか
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	1,892	1,995	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	685	1,249	0	0	0
	一般財源	1,207	746	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<p>○村の茸山入札は、茸山の手入れが進むこと等を考慮し、令和2年度から複数年（3年）契約による入札を実施した。</p> <p>○竹林整備用備品や木材破砕機を地域に貸し出すことにより、地域で行う森林や竹林の整備推進に繋がった。</p>
村民等からの意見等	<p>○十二山は手入れしないと茸が出ない。入札するにあたっては手入れについて検討されたいとの声がある。（1号口及び5号口）。または、入札予定価格を見直されたいとの声がある。</p>
今後の課題	<p>○緑化祭は九十九谷森林公園において災害復旧とあわせ計画してきたが、鞍馬森林公園、大原机山公園等会場を変えての開催、村有林の伐採地への植樹等、今後の実施方法について検討していく。</p> <p>○茸山の整備は、地元と協力しながら効果的な整備方法を検討していく。</p>

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	森林づくり県民税事業	
総合計画	基本目標	03 生活環境／環境にやさしく、安全・安心なむら
	施策	02 農村景観の整備・形成
担当所属	600100 生活環境課・環境林務係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	050201 農林水産業費・林業費・林業総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	長野県森林づくり県民税を活用し、森林整備のほか、九十九谷森林公園の木製遊歩道整備等、木や森に親むることができる環境づくりを行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・令和 5 年度から始まる第 4 期森林税事業の詳細を把握し事業展開する必要がある。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	九十九谷森林公園木道改修						単位	m
	説明	くりん草園内の木製遊歩道改修							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	24.1	52.25						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・工事請負費 4,125 千円 九十九谷森林公園 木製遊歩道架替
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	4,125	3,000	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	692	2,700	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,433	300	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○九十九谷森林公園の木製遊歩道架替（くりん草園中段の木道架け替え）を実施したことにより、公園内の通行の安全が図られた。
村民等からの意見等	○九十九谷森林公園内の他の損壊箇所も改修を求める声がある。 ○遊歩道だけでなく、公園全体の案内看板の更新を求める声がある。
今後の課題	○九十九谷森林公園内の木製遊歩道の改修を進める予定であったが県の補助事業（森林づくり推進支援金事業）が廃止されたため、今後の計画について見直す必要がある。 ○ライフライン等保全対策のための私有林整備の補助事業は、地域の実情に照らし必要箇所において令和5年度から実施していきたい。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	有害鳥獣駆除事業	
総合計画	基本目標	04 産業／産業と雇用を交流で生み出すむら
	施策	02 豊かな森林の育成と活用
担当所属	600100 生活環境課・環境林務係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	050201 農林水産業費・林業費・林業総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	農林業に被害を与える鳥獣の駆除及び駆除従事者確保に係る補助を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・氏乗地区におけるサル被害及び村猟友会の新規加入者確保対策が必要である。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	シカ捕獲数						単位	頭
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	126	79						
活動	指標名	イノシシ捕獲数						単位	頭
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	17	8						
活動	指標名	ハクピシン捕獲数						単位	頭
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	6	5						
活動	指標名	サル捕獲数						単位	頭
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	2	0						

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> 補助金 1,745千円 有害鳥獣捕獲（シカ79頭、イノシシ8頭、ハクピシン5頭） 補助金 450千円 村猟友会補助金（猟友会活動補助） 補助金 90千円 猟銃所持経費補助金（有害鳥獣捕獲従事者 18名） 補助金 34千円 新規狩猟免許取得者補助金（新規取得者 3名）
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	2,319	3,990	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	423	696	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,896	3,294	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○猟銃所持者経費に対する補助制度の創設により、猟銃による有害鳥獣捕獲体制の維持が図られた。 ○豊丘村と銃猟による有害鳥獣捕獲活動を開始したことにより、村境付近で隣村に越境した鳥獣の捕獲対応が可能となり捕獲状況の改善を図ることができた。
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○以前より獣を見かけることは少なくなってきたが、シカやイノシシの被害が相変わらず発生している。 ○カラスの果樹被害、小型獣の農作物被害の対策も考えてほしい。 ○氏乗でサルの群れによる農作物被害が発生しており、大和知、小川及び富田地区まで目撃情報が寄せられた。 ○村からの依頼による有害鳥獣見回り等に対する出動手当の検討を求める声が寄せられている。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○小型獣による農作物被害が増加傾向にあるため、ハクビシン以外の補助金設定について検討していく。 ○サルによる農作物被害が発生し始めたため、捕獲体制の確立を図る。 ○クマやサルの目撃情報があった際、村から猟友会へ見回りや追払いを依頼した際の出動手当の検討を行う。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	森林経営管理事業	
総合計画	基本目標	03 生活環境／環境にやさしく、安全・安心なむら
	施策	02 農村景観の整備・形成
担当所属	600100 生活環境課・環境林務係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	050201 農林水産業費・林業費・林業総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	森林環境譲与税を活用した私有林管理に係る事業を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・森林所有者を対象とした意向調査を進め、私有林の適正な経営管理に取り組む必要がある。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	意向調査						単位	ha
	説明	森林所有者に対する調査							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	18.85	0						
成果	指標名	森林整備						単位	ha
	説明	私有林の整備							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	0.62	0.85						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・委託料 3,971 千円 私有林整備（帰牛原、寺之前） ・備品購入費 88 千円 森林実測機器購入
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	4,059	1,880	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	4,059	1,880	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○私有林整備では、梶原において保育間伐を実施し森林の健全化を図り、寺之前において村道沿線危険木伐採を実施しライフラインの保全対策を図ることができた。 ○貸出用の森林実測機器を導入したことにより、氏乗、大島、大和知地区における県森林税を活用した里山整備事業の実施に繋げることができた。
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○寺之前で実施した村道沿線危険木伐採は、広域農道から西側に入った箇所でも実施されたが、寺之前集落の近くまで伐採を求める声がある。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○意向調査を実施し、経営管理計画作成の準備を進める。令和4年度の大島地区は準備段階に留まったため、令和5年度実施地区と合わせて計画策定を実施すると共に今後複数年かけて全地区で実施していく。 ○森林環境譲与税の有効な活用のため、配分方法の見直し等を要望する。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	B：改善の必要がある
	A	A	B	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある 意向調査の外部委託を近隣町村でも実施しているため、業務の効率化に向け検討したい。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	3：改善
	<p>判断理由</p> <p>森林経営管理事業を直営のみではなく、外部委託と組み合わせ効率化を図りながら推進していきたい。</p>

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	林道管理経費	
総合計画	基本目標	04 産業／産業と雇用を交流で生み出すむら
	施策	02 豊かな森林の育成と活用
担当所属	900200 高速交通対策課・建設係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	050202 農林水産業費・林業費・林道費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	林道の維持管理を行う。 【新規】林道管理経費 県営林道開設事業及び林道橋梁管理事業を統合。	評価対応内容	
		問題点・課題等	管理不足並びに気象条件等から荒れが目立つ

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	A. 小さな拠点づくりの推進と交通網活用プロジェクト
----------	----------------------------

3. 指標の推移

活動	指標名	林道延長						単位	m
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	13,342.3	13,342.3						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	林道維持工事 103千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	103	24,265	0	0	0	0
	国庫支出金	0	2,189	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	17,500	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	103	4,576	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	林道大島氏乗線で、排土処理を実施した。 林道鬼ヶ城線で、倒木撤去を実施した。
村民等からの意見等	○林道大島虻川線上に一部未舗装区間あり。
今後の課題	○老朽化対策や維持工事を計画的に実施する必要がある。 ○広域基幹林道の移管に伴い維持管理の必要がある。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 林道の維持管理（支障木撤去・倒木処理・法面崩落による排土等）を引き続き実施していく。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

□新規 ■完了 ■実計対象 ■評価対象 ■施策対象

事務事業名	県営林道開設事業	
総合計画	基本目標	04 産業／産業と雇用を交流で生み出すむら
	施策	02 豊かな森林の育成と活用
担当所属	900200 高速交通対策課・建設係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	050202 農林水産業費・林業費・林道費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 4年度～令和 8年度	R3評価結果	継続
事業概要	大島と氏乗を結ぶ基幹林道を県の事業により整備し、森林資源の有効活用を行う。 林道管理経費へ統合	評価対応内容	
		問題点・課題等	事業の進捗および県の事業費確保 開設に係る伐採処分は村が行うこととなった（H29より）

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	A. 小さな拠点づくりの推進と交通網活用プロジェクト
----------	----------------------------

3. 指標の推移

活動	指標名	引き受け延長						単位	m
	説明	工事が完了し、県から村へ移管された延長							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	0	0						
活動	指標名	完成延長						単位	m
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	6,938	6,938						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	・大島氏乗線（1工区）支障木伐採工事 1,738千円 ・県営林道開設事業負担金（大島氏乗線）2,200千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	3,938	0	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	3,900	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	38	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○県営基幹林道開設に向け、氏乗側（1工区）の工事が進められた。
村民等からの意見等	○林道開通まで工事を進めてもらいたい。 ○工事のペースが遅いので、事業量を増やし取り組んで欲しい。
今後の課題	○大島側の現場は難工事箇所差し掛かり開設が進んでいない。 ○村へ移管された箇所の維持費が課題である。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 林道管理経費へ統合。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

□新規 ■完了 ■実計対象 ■評価対象 ■施策対象

事務事業名	林道橋梁管理事業	
総合計画	基本目標	04 産業／産業と雇用を交流で生み出すむら
	施策	02 豊かな森林の育成と活用
担当所属	900200 高速交通対策課・建設係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	050202 農林水産業費・林業費・林道費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 3 年度～令和 8 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	林道を利用する住民のため、安全して通行できる林道橋梁を維持する。 林業管理経費へ統合	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	A. 小さな拠点づくりの推進と交通網活用プロジェクト
----------	----------------------------

3. 指標の推移

指標名	説明	単位					
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		実績値					
指標名		単位					
説明		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
実績値							
指標名		単位					
説明		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
実績値							
指標名		単位					
説明		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
実績値							

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・林道1011号橋補修設計業務委託料 4,906千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	4,906	0	0	0	0	0
	国庫支出金	2,356	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	2,550	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	橋梁点検結果でⅢ判定であった林道1011号橋の補修設計を実施した。
村民等からの意見等	
今後の課題	林道を利用する住民のため、安全して通行できる林道橋梁を維持する。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A		A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A		A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A		A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z		Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 林道管理経費に統合。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	分収造林事業	
総合計画	基本目標	04 産業／産業と雇用を交流で生み出すむら
	施策	02 豊かな森林の育成と活用
担当所属	600100 生活環境課・環境林務係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	050204 農林水産業費・林業費・公団造林費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	分収造林地の保全及び整備を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・予算配分と労務体制の兼ね合いにより要望どおりの事業執行が難しい。また、官行造林地契約満了に伴う清算方法を確定する必要がある。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	除間伐						単位	ha
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	9.58	9.58						
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度に選木調査を実施した区域の保育間伐							
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・需用費 67千円 事務用品購入 ・委託料 2,244千円 矢筈団地 カラマツ 保育間伐（切捨て） 9.58ヘクタール ・負担金 245千円 県行造林地清算金、下伊那地区分収造林協議会負担金
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	2,556	11,173	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	2,421	2,856	0	0	0	0
	一般財源	135	8,317	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○森林整備センターとの分取契約地 氏乗山2（矢筈団地）において保育間伐を実施したことにより、森林の維持管理を図ることができた。 ○県行造林地の契約満了に伴う清算事務を完了させることができた。現地は引き続き阿島区管理山（茸山）として地元で管理される。
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○森林整備センターとの分取契約地は、村での計画的な整備実施を求める声がある。 ○アカマツの契約地も、除伐により茸が発生しやすいように整備を求める声がある。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○森林整備センターとの分取契約地は、全体を10年程度で整備できるよう、計画的に事業執行していく。 ○森林組合に委託しているが、施業単価が県の森林整備事業の標準単価と比較して大幅に安価なため、他の事業者にも請け負ってもらえるよう引き続き単価引き上げについて要望する。 ○森林整備センターの予算配分と森林組合の労務体制の兼ね合いにより、要望どおりに事業執行できないことへの対応検討を行う。 ○官行造林地（南信森林管理署）の契約が令和5年度末で満了するため、清算手続き等の協議を進める。

7. 事業評価

	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	
施策への貢献度				A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準				事業費・人件費の水準は適正か
				A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法				事業方法は適正か
				A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性				受益の公平性と負担の適正化は図られているか
				Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	商工業振興経費	
総合計画	基本目標	04 産業／産業と雇用を交流で生み出すむら
	施策	03 商工業・サービス業の振興
担当所属	700200 産業振興課・商工観光係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	060101 商工費・商工費・商工振興費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	商工業の振興を図るため、商工会及び村内商工業者に対して支援を行う。	評価対応内容	関係機関と情報共有を図るため、融資あっせん委員会を年 4 回実施する。
		問題点・課題等	・物価高騰事業者支援、新規創業支援

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	県村信用保証料補給件数						単位	件
	説明	県11件、村18件							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	22	29						
活動	指標名	商工会への補助金						単位	円
	説明	商工振興補助金、商工地域総合振興事業							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	5,000	5,500						
活動	指標名	商工会員数						単位	
	説明	総会資料より							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	145	143						
活動	指標名	工業等生産設備取得補助金交付決定数						単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	3	3						

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> 信用保証料県村負担分 3,930千円 県村制度資金利子補給 2,561千円 商工会補助金（商工振興補助金、商工地域総合振興事業）5,500千円 工場等生産設備取得補助金 396千円 事業継続支援給付金(33件) 3,700千円 商工業等物価高騰対策支援事業補助金(2件) 200千円 商工業等経営支援事業補助金(5件) 2,500千円 製造業等燃料高騰対策事業補助金(26件) 6,932千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	37,946	21,792	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	19,699	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	3,976	3,900	0	0	0
	一般財源	14,271	17,892	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○燃料等物価高騰影響を受ける事業者に対して、状況に応じた支援策や制度資金の制定等に取り組むことで、村内企業への経営支援が出来た。 ○コロナ禍における売り上げの落ち込みを機に業務転換や業務拡大に投資した村内事業者への経営支援が出来た。
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○燃料、資材費等の高騰が続いており、村からの支援はありがたかった。 ○社員を募集しているがなかなか集まらず人員不足が続いている。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○引続き燃料費及び資材費高騰の影響を受けている事業者に対して、状況に応じた支援策を講じていく。 ○リニア・三遠南信自動車道の開通を見据え、産業振興や観光誘客の面から地域の商工業を盛り上げられる方策を検討していく。 ○人員不足対策として、また村内企業の周知のため、小中学生の社会見学や高校生以上のインターン等村内企業の紹介について検討していく。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 事業者が必要としている支援を行うことで経営の安定を図り、産業振興に繋げていく

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

■新規 □完了 ■実計対象 ■評価対象 ■施策対象

事務事業名	喬木村地域活性化商品券発行事業	
総合計画	基本目標	04 産業／産業と雇用を交流で生み出すむら
	施策	03 商工業・サービス業の振興
担当所属	700200 産業振興課・商工観光係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	060101 商工費・商工費・商工振興費

1. 事務事業の概要

事業期間		R3評価結果	
事業概要	新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業活動に大きな支障を来している村内事業者を支援するため、喬木村地域活性化商品券を発行	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	商品券利用率 (59,389/60,680枚)						単位	%
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値		97.87						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	地域活性化商品券 交付総額 60,680千円 使用額 59,389千円 使用率97.87%
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	62,696	0	0	0	0	0
	国庫支出金	61,786	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	910	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○夏の帰省時期を利用期間中としたこともあり高い利用率となり、村内の消費需要の一助となった。
村民等からの意見等	
今後の課題	○今後の商品券事業の参考とする為、利用店舗等の解析する。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
			A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
			A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
			A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
			Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	5：終了
	判断理由 完了済事業

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

■新規 □完了 ■実計対象 ■評価対象 ■施策対象

事務事業名	喬木村飲食店消費活性化商品券発行事業	
総合計画	基本目標	04 産業／産業と雇用を交流で生み出すむら
	施策	03 商工業・サービス業の振興
担当所属	700200 産業振興課・商工観光係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	060101 商工費・商工費・商工振興費

1. 事務事業の概要

事業期間		R3評価結果	
事業概要	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い売り上げが減少している村内飲食関係事業者を支援する	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	商品券利用率 (15,631/21,430枚)						単位	%
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値		72.94						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	飲食店消費活性化商品券 (1枚500円) 交付総額 10,715千円 使用額 7,816千円 使用率72.94%
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	8,462	0	0	0	0	0
	国庫支出金	8,462	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○地域活性化商品券と並行し交付。商品券1枚を500円とし、かつ月1,000円分を5カ月間の長期に渡って補助する方式とし、利用者及び飲食店の利便性を図った。
村民等からの意見等	
今後の課題	○利用率が72%と地域活性化商品券に比較して低かった。利用状況を検証し今後の補助施策の参考にしたい。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
			A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
			A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
			A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
			Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	5：終了
	判断理由 完了済事業

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

■新規 □完了 ■実計対象 ■評価対象 ■施策対象

事務事業名	喬木村物価高騰対策商品券発行事業	
総合計画	基本目標	04 産業／産業と雇用を交流で生み出すむら
	施策	03 商工業・サービス業の振興
担当所属	700200 産業振興課・商工観光係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	060101 商工費・商工費・商工振興費

1. 事務事業の概要

事業期間		R3評価結果	
事業概要	原油価格の高騰が、コロナ禍からの回復の重荷にならないよう、村民の暮らしの経済負担を軽減するため商品券を発行する	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	商品券利用率						単位	%
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値		98.15						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	商品券 交付総額 30,375千円 使用額 29,812千円 使用率 98.15%
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	31,690	0	0	0	0	0
	国庫支出金	19,855	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	11,835	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○冬季、また年末年始の燃料消費が多くなる最適な期間での商品券交付で、最も利用率が高く住民生活を支援できた。
村民等からの意見等	○世帯単位ではなく個人単位の方が良いのではないかと。
今後の課題	○今までの商品券事業の中で最も利用率が高かった。但し、いただいた意見のとおり今後は個人別配布とした場合、同程度の予算での対応の可否及び効果等を検証し、今後の課題として検討する。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
			A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
			A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
			A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
			Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	5：終了
	判断理由 完了済事業

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	観光振興経費	
総合計画	基本目標	04 産業／産業と雇用を交流で生み出すむら
	施策	04 観光の振興
担当所属	700200 産業振興課・商工観光係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	060102 商工費・商工費・観光費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	観光振興を図るため、イベント参加や観光パンフレット作製を行う。また、喬木まつりの運営支援を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・アフターコロナでのイベント開催 ・喬木まつりのあり方

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	観光入込客統計						単位	人
	説明	交流センター集計							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	12,618	24,941						
成果	指標名	SNS（フェイスブック フォロワー数）年度末集計						単位	人
	説明	村ホームページ集計							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	335	344						
成果	指標名	SNS（ツイッター フォロワー数）						単位	人
	説明	村ホームページ集計							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	820	906						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	・観光パンフレット製本印刷 288千円 ・広告宣伝費 121千円（内YouTube 55千円）
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	484	2,735	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	484	2,735	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○喬木まつりは実施直前で催事中止となかったが、煙火の打上げは実施することができた。 ○コロナの蔓延状況を合わせながら催事開催となったがくりん草祭りやいちご狩り等は実施でき、観光入り込み客数は増加した。
村民等からの意見等	
今後の課題	○喬木まつりの実施は実施直前までの調整、会議まで行った成果を次回の実施に生かす。 ○コロナ蔓延で衰退した各活性化団体の現状を確認今後の再生等の課題に対して支援を検討していく。 ○広域連携での誘客を進めるため、南信州観光公社を核として村の観光資源（傘作り体験の事業化等）の整備や受入体制等の検討をしていく。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	B	B	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある 一部であるがイベントの再開、YouTube広告が実施できた。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 南信州観光公社、NPO法人たかぎを活用して、交流人口の増加（誘客）を図っていく

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	消費者保護関係経費	
総合計画	基本目標	03 生活環境／環境にやさしく、安全・安心なむら
	施策	05 防犯対策の充実
担当所属	200100 総務課・総務危機管理係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	060103 商工費・商工費・消費者保護事業費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	消費者保護の普及啓発及び特殊詐欺被害防止対策に対する補助を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・職員不足のため消費者行政の専門知識を持つ専任職員がいない。 ・消費者の会解散後の消費者行政

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	特殊詐欺被害件数						単位	件
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
		0	0						
	指標名							単位	
	説明	村内の認知件数							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・特殊詐欺被害防止対策機器設置補助金 20 千円（4 件）
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	20	75	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	20	75	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○架空請求等の情報が入った際に、注意喚起や情報提供を行い住民周知を図った。 ○特殊詐欺被害防止対策機器設置補助金制度を通じ、機器購入の促進を図った。
村民等からの意見等	
今後の課題	○専門相談員の確保及び消費生活センターの広域化による設置等の検討。 ○特殊被害防止啓発活動や消費者生活に関わる問題への取組の検討。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	B	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	土木管理経費	
総合計画	基本目標	02 社会基盤／住みたいと思える生活環境の整ったむら
	施策	01 道路・交通網の充実
担当所属	900200 高速交通対策課・建設係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	070101 土木費・土木管理費・土木総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	村の土木事業を行う上で必要となる経費。	評価対応内容	
	急傾斜地崩落対策事業を統合。	問題点・課題等	・新たな残土処理場の確保

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	A. 小さな拠点づくりの推進と交通網活用プロジェクト
----------	----------------------------

3. 指標の推移

指標名	説明	単位					
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		実績値					
指標名		単位					
説明		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
実績値							
指標名		単位					
説明		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
実績値							
指標名		単位					
説明		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
実績値							

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・道路台帳図電子化業務委託料 21,890千円 ・道路台帳補正委託料 2,552千円 ・上平トンネル道路照明他電気料 562千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	28,515	21,897	0	0	0	0
	国庫支出金	21,890	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	4,000	0	0	0	0
	その他	459	450	0	0	0	0
	一般財源	6,166	17,447	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○道路台帳図の更新と共に、道路台帳図面の電子化を行うことができた。
村民等からの意見等	○新たな残土処分場を整備してほしい。
今後の課題	○新たな残土処理場を確保すること。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 新たな処分場確保のため、地元と情報を共有しながら事業を実施していく。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

□新規 ■完了 ■実計対象 ■評価対象 ■施策対象

事務事業名	急傾斜地崩壊対策事業	
総合計画	基本目標	02 社会基盤／住みたいと思える生活環境の整ったむら
	施策	01 道路・交通網の充実
担当所属	900200 高速交通対策課・建設係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	070101 土木費・土木管理費・土木総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 4 年度～令和 6 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	上平集落センター【県】急傾斜地崩壊対策事業負担金 L=100m A=1,500㎡ 土木管理経費へ統合。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	A. 小さな拠点づくりの推進と交通網活用プロジェクト
----------	----------------------------

3. 指標の推移

	指標名							単位
	説明							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
	実績値							
	指標名							単位
	説明							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
	実績値							
	指標名							単位
	説明							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
	実績値							
	指標名							単位
	説明							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
	実績値							

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・急傾斜地崩壊対策事業負担金 231千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	231	0	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	200	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	31	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	長野県により、急傾斜地崩落対策（上平諸原）測量設計の業務が実施された。
村民等からの意見等	避難所となっている施設周辺の急傾斜地対策を望む声がある。（加々須・寺の前）
今後の課題	土砂災害警戒区域等（レッドゾーン、イエローゾーン）の危険箇所の対策をする。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
		A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
		A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
		A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
		A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 土木管理経費へ統合。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	道路橋梁維持管理経費	
総合計画	基本目標	02 社会基盤／住みたいと思える生活環境の整ったむら
	施策	01 道路・交通網の充実
担当所属	900200 高速交通対策課・建設係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	070201 土木費・道路橋梁費・道路橋梁維持費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	村道の維持管理を行う。	評価対応内容	
	社会資本整備総合交付金事業（橋梁修繕）を統合。	問題点・課題等	・除草雪体制確保

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	A. 小さな拠点づくりの推進と交通網活用プロジェクト
----------	----------------------------

3. 指標の推移

活動	指標名	修繕工事件数						単位	件
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	60	98						
活動	指標名	村道延長(実延長)						単位	m
	説明	北田中下宅地造成に伴う村道延長の増							
	実績値	183,317	183,446						
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> 道路維持補修工事 59,575千円 交通安全対策工事 2,933千円 除草委託料 3,851千円 除雪委託料 2,887千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費		70,911	89,270	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	13,051	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	5,100	0	0	0	0
	その他	0	175	0	0	0	0
	一般財源	70,911	70,944	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○主な維持管理工事は以下のとおり。 ・法面工事（学び坂） 10,879千円 ・法面工事（氏乗村道912号線）9,280千円 ・水路工事（富田村道731号線）4,631千円 これらの工事により利便性の向上や安心と安全な通行の確保が図られた。
村民等からの意見等	○各地区より道路舗装修繕等の要望は多い。 ○支障木、除草の処理の要望が多い。
今後の課題	○道路舗装維持のため、整備を計画的に実施していく。 ○支障木、除草を処理するには相当な予算が必要となる。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 緊急性を考慮して、道路修繕を継続的に実施していく。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

□新規 ■完了 ■実計対象 ■評価対象 ■施策対象

事務事業名	社会資本整備総合交付金事業	
総合計画	基本目標	02 社会基盤／住みたいと思える生活環境の整ったむら
	施策	01 道路・交通網の充実
担当所属	900200 高速交通対策課・建設係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	070202 土木費・道路橋梁費・道路橋梁新設改良費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 4 年度～令和 8 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	国の交付金を受け、村道改良および修繕工事を行う。 橋梁修繕を道路橋梁維持管理経費へ統合。 道路改良を道路橋梁新設改良経費へ統合。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	A. 小さな拠点づくりの推進と交通網活用プロジェクト
----------	----------------------------

3. 指標の推移

活動	指標名	工事施工延長						単位	m
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
		0	374.6						
活動	指標名	橋梁修繕工事						単位	橋
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
		1	4						
活動	指標名	橋梁点検実施数						単位	橋
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
		27	3						
活動	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・橋梁修繕工事（加々須大橋）15,180千円 ・道路改良工事（216号線297号線） 8,910千円 ・道路改良（線越分） 44,766千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	74,475	0	0	0	0	0
	国庫支出金	35,796	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	6,800	0	0	0	0	0
	その他	21,429	0	0	0	0	0
	一般財源	10,450	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<p>○社会資本整備総合交付金 道路改良工事（村道216号線村道297号線）南溝口 ○道路メンテナンス事業費補助 橋梁補修工事（加々須大橋）</p> <p>これらの工事により利便性の向上や安心と安全な通行の確保を図ることができた。</p>
村民等からの意見等	○道路改良の要望は多い。
今後の課題	○道路改良修繕には大きな費用負担が必要となるため、計画的な改良修繕計画と財源確保を検討していく。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	<p>2：継続</p> <p>判断理由 道路橋梁維持管理経費へ統合。</p>
--------	------------------------------------------------------------

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	道路橋梁新設改良経費	
総合計画	基本目標	02 社会基盤／住みたいと思える生活環境の整ったむら
	施策	01 道路・交通網の充実
担当所属	900200 高速交通対策課・建設係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	070202 土木費・道路橋梁費・道路橋梁新設改良費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	村単独で村道を計画的に改良する。 【事業名】村単道路改良事業 →道路橋梁新設改良経費	評価対応内容	
		問題点・課題等	地区内道路の整備

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	A. 小さな拠点づくりの推進と交通網活用プロジェクト
----------	----------------------------

3. 指標の推移

活動	指標名	改良事業決算額						単位	千円
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	29,695	58,464						
活動	指標名	材料支給決算額						単位	千円
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	800	600						
活動	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
活動	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 上平トンネルLED化工事 16,280千円 道路改良工事（村道627号線伊久間）7,590千円 道路改良工事（村道3号線中原）6,985千円 舗装修繕工事（村道200号線阿島北）75,207千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	212,752	125,726	0	0	0	0
	国庫支出金	38,099	4,128	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	50,000	10,200	0	0	0	0
	その他	78,452	79,880	0	0	0	0
	一般財源	46,201	31,518	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○道路改良（新設）に伴う道路本体のほか、側溝整備を含めて実施した。 ・道路改良工事（村道627号線 伊久間古屋敷線）（村道3号線 中原） ・側溝整備工事（村道212号線 阿島南） ・上平トンネルLED化工事 ・舗装修繕工事（村道200号線 阿島北） ○地元工事補助金（材料支給）3件
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○材料支給制度について、より使いやすい制度への改善及び限度額の増について要望あり。 ○道路改良の要望は多い。
今後の課題	○緊急性、必要性、効果及び経済面等を考慮しながら工事箇所を選定していく。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	B：一部見直しが必要である
	A	A	B	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない 材料支給制度について見直しの検討が必要である。

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 緊急性、必要性、効果及び経済面等を考慮しながら道路改良等を継続して実施していく。

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	三遠南信自動車道関係事業	
総合計画	基本目標	02 社会基盤／住みたいと思える生活環境の整ったむら
	施策	01 道路・交通網の充実
担当所属	900100 高速交通対策課・計画調整係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	070202 土木費・道路橋梁費・道路橋梁新設改良費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	飯橋道路 3 工区の事業を行う上で必要となる経費	評価対応内容	
		問題点・課題等	・三遠南信道建設に伴う安全対策等諸問題の対応 ・胡桃沢や工事用道路等の工事後の管理・利用計画

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	A. 小さな拠点づくりの推進と交通網活用プロジェクト
----------	----------------------------

3. 指標の推移

	指標名							単位
	説明							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
	実績値							
	指標名							単位
	説明							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
	実績値							
	指標名							単位
	説明							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
	実績値							
	指標名							単位
	説明							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
	実績値							

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・旅費 22 千円（飯橋道路 3 工区同協会要望活動） ・負担金 51 千円（建設促進期成同協会・飯橋道路 3 工区同協会負担金）
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	103	38,168	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	103	30,935	0	0	0	0
	一般財源	0	7,233	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○三遠南信自動車道飯橋道路3工区建設促進期成同盟会総会 (R4.5.20) ・要望活動 (R4.7.27、10.27、11.29、R5.1.31) ○地元工事説明会 (富田・大和知区 (R4.4.27)、氏兼区 (R4.4.28)) ○「氏兼IC (仮称) 建設に実施区分に関する協議書」の締結
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○工事用車両の運行の安全対策を講じてほしい ○工事に起因すると思われる諸問題 (工事用道路区間の雑草対策、茸山の入山など) の対応をしてほしい ○地元区などで工事現場の視察を行いたい ○三遠南信自動車道の開通時期の明示及び早期開通をしてほしい
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○工事用車両の運行の安全対策を講じること ○胡桃沢残土処分場の用地取得・埋立後の利用計画の具体化をすること ○氏兼IC周辺の工事調整・開発計画の具体化をすること ○大入・小手沢工事用道路の村道認定に係る富田区覚書の対応をすること ○建設残土の活用

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A : 十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A : 経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A : 適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z : 受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	<p>2 : 継続</p> <p>判断理由 事業主体である飯田国道事務所などの関係機関等と連絡調整を密にして、早期開通に向け、円滑に事業進捗が図られるよう取り組んでいく。</p>
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

□新規 □完了 ■実計対象 ■評価対象 ■施策対象

事務事業名	河川維持経費	
総合計画	基本目標	03 生活環境／環境にやさしく、安全・安心なむら
	施策	03 消防・防災対策の充実
担当所属	900200 高速交通対策課・建設係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	070301 土木費・河川費・河川改良費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	水害等を防止するため、村の管理河川の改修や維持修繕を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・異常気象への備え

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	A. 小さな拠点づくりの推進と交通網活用プロジェクト
----------	----------------------------

3. 指標の推移

活動	指標名	改修件数						単位	件
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	1	3						
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・水路（馬場堰下）測量設計業務委託料 6,864 千円 ・河川維持（排土）工事（雨沢川、唐沢） 1,518 千円 ・支障木、竹撤去工事（滝ノ沢）748 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	9,152	4,050	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	6,800	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	2,352	4,050	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○水路（馬場堰下）測量設計業務を実施した。 ○排土工事（雨沢川、唐沢）を実施した。 ○支障木、竹撤去工事（滝ノ沢）を実施した。
村民等からの意見等	○高齢化に伴い河川清掃参加者が不足しており大変である。
今後の課題	○豪雨による浸水被害が出ないよう排水等の流末処理の対策をすること。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続 判断理由 豪雨による越流の被害を防ぐため、地元と情報を共有して対策していく。
--------	----------------------------------------------------------

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	公営住宅事業	
総合計画	基本目標	02 社会基盤／住みたいと思える生活環境の整ったむら
	施策	02 住環境の整備
担当所属	600100 生活環境課・環境林務係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	070401 土木費・住宅費・公営住宅管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	村営住宅（43 戸）の維持管理を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・阿島北及び伊久間村営住宅の老朽化への対応 ・北集合住宅整備の評価と同様施設整備の検討

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	阿島北・伊久間 住宅入居数（全17戸）						単位	戸
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	12	12						
活動	指標名	クラソ喬木入居数（全16戸）						単位	戸
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	0	16						
活動	指標名	富田若者住宅（全3戸）						単位	戸
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	2	3						
活動	指標名	富田地優賃住宅（全7戸）						単位	戸
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	7	7						

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕費 752 千円 ・次世代ネットワーク使用料 275 千円 ・地優賃家賃補助金 665 千円 ・クラソ喬木建設費 310,739 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	313,454	7,700	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	149,526	7,700	0	0	0
	一般財源	163,928	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○富田若者定住住宅と地域優良賃貸住宅については、それぞれ令和3年度末に1戸の退去があったが、いずれも入居応募につながり全戸入居となった。なおその際、富田若者住宅についてはリフォーム工事を実施した。 ○子育て世代向け集合型村営住宅のクラソ喬木（全16戸）の建設を行い、募集では21件の申し込みがあり抽選となる部屋もあった。竣工時には全戸入居となり、子育て世代の人口増加に寄与することができた。（入居決定時点16戸42名うち子ども11名） ○公営住宅法適用村営住宅における保証人廃止等国及び他の自治体の動向を踏まえた条例改正を行った。 ○集合型村営住宅におけるエレベーターの設置は如何か。
村民等からの意見等	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○伊久間村営住宅は小規模な修繕を行い維持をしているが、躯体の老朽化により新たに入居者を募集出来ないため、全部空室となった際解体し、跡地の宅地利用等を検討する。 ○クラソ喬木に多数の応募や問い合わせがあったことから、子育て世代向け住宅に対する需要の高まりを実感した。人口増加施策として、同様の住宅を整備することが効果的か検証を行っていく必要がある。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	教員住宅維持管理経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	01 学校教育の充実
	担当所属	800100 教育委員会・子ども教育係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	070402 土木費・住宅費・教員住宅管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	里原、第一小、富田間洞教員住宅の維持管理を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・取壊、建替も含めた今後の活用方法。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	教員住宅入居戸数						単位	戸
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	4	4						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・修繕料 26千円（障子張り替え等） ・手数料 5千円（口振手数料等）
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	31	520	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	31	520	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○教員住宅6戸の管理。
村民等からの意見等	
今後の課題	○築20～30年以上経過し、修繕箇所等も多いため取壊や建替も含め検討していく。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	住宅等支援事業	
総合計画	基本目標	02 社会基盤／住みたいと思える生活環境の整ったむら
	施策	02 住環境の整備
担当所属	600100 生活環境課・環境林務係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	070403 土木費・住宅費・住宅管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	定住促進のため住宅・住宅用地関連の各種の補助を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・空き家の解体に対する補助制度を検討する。 ・ZEH等、住宅施策から脱炭素社会を推進するための制度を検討する。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	B. 関係人口拡大プロジェクト
----------	-----------------

3. 指標の推移

活動	指標名	住宅用地取得補助件数						単位	件
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	10	14						
活動	指標名	住宅新築補助件数						単位	件
	説明	(令和 4 年度全新築件数25件)							
	実績値	22	25						
活動	指標名	空き家活用補助金利用件数						単位	件
	説明	単年度補助件数(改修補助)							
	実績値	3	4						
活動	指標名	空き家活用補助金利用件数						単位	件
	説明	単年度補助件数(不用品処分補助)							
	実績値	4	5						

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> 住宅新築補助金 9,000千円 (25件) 住宅用地取得補助金 7,546千円 (14件) 空き家活用補助金 1,532千円 (不用品5件・改修4件) 耐震診断 455千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	20,362	18,690	0	0	0	0
	国庫支出金	1,556	565	0	0	0	0
	都道府県支出金	364	282	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	18,442	17,843	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○用地取得補助の実績は前年度比+4件の14件、新築補助実績は前年度比+3件の25件であった。 用地取得は14件中9件が村外からの転入者、新築補助は25件中12件が村外からの転入者であり、定住人口の増と転出の抑制に寄与できた。
村民等からの意見等	○空き家を探している人は下段で家を求める傾向が強い。 ○中原分譲地の計画に興味を示す声が届く。
今後の課題	○環境意識の高まりもあることから、ZEH（ゼロエネルギーハウス）新築や環境配慮型リフォームの際の補助制度の検討を行う。 ○空き家対策の一環として、国の動向も注視しつつ除却に対する措置についての可否検討を行う。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

□新規 □完了 ■実計対象 ■評価対象 ■施策対象

事務事業名	宅地造成事業	
総合計画	基本目標	02 社会基盤／住みたいと思える生活環境の整ったむら
	施策	02 住環境の整備
担当所属	600100 生活環境課・環境林務係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	070403 土木費・住宅費・住宅管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 5年度	R3評価結果	新規
事業概要	・定住促進のため、たかぎ保育園西側に宅地造成（10区画）を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・分譲地として土地を用意するか、空き家などの中古物件に対する補助金を拡充させることが効果的なのか検討していく必要がある。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	B. 関係人口拡大プロジェクト
----------	-----------------

3. 指標の推移

活動	指標名	宅地用分譲地整備区画数						単位	区画
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	説明	令和 3 年度の繰越事業として令和 4 年度 6 月末に整備完了							
	実績値	0	9						
活動	指標名	宅地用分譲地の利用者決定数（分譲区画 9 区画中）						単位	区画
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	説明	令和 4 年 5 月から募集開始							
	実績値	0	4						
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業用資産 15,202千円（北宅地造成地（繰越分）） ・委託料 2,705千円（北宅地造成地（繰越分）） ・広告料 22千円（新聞掲載分） ・消耗品 13千円（分譲地区画番号看板作成）
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	22,742	202,566	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	22,707	0	0	0	0	0
	一般財源	35	202,566	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○阿島北造成地については、村外の量販店などへの広告の掲載、ハウスメーカーに対し分譲地の広報を行った結果4区画が売約となった。なお、4年度中の相談受付等の状況から令和5年度前半には残り5区画も契約が整う見込み。
村民等からの意見等	
今後の課題	○宅地分譲による事業効果の検証を行う。 ○中原地区分譲については周辺へ配慮して円滑な造成工事を実施する。 ○中央保育園跡地分譲地の設計について、周辺への影響を考慮し区画の設定を行う。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	Z	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	下水道事業費	
総合計画	基本目標	02 社会基盤／住みたいと思える生活環境の整ったむら
	施策	04 上・下水道の整備
担当所属	600201 生活環境課・上下水道係・上下水道係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	070501 土木費・下水道費・下水道費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	下水道事業債の元利償還金相当額に係る下水道事業繰出金。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	水洗化率						単位	%
	説明	個別処理及び集合処理にて水洗化されている住宅の割合							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	96.67	97.36						
成果	指標名	有収率						単位	%
	説明	処理した汚水の内、料金を回収できた処理水の割合							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	88.11	91.8						
活動	指標名	特環下水経費回収率 (H31より法適化)						単位	%
	説明	特環下水道使用料/汚水処理費 : 経営比較分析表							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	60	47.1						
活動	指標名	農集経費回収率 (H31より法適化)						単位	%
	説明	農集下水道使用料/汚水処理費 : 経営比較分析表							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	61.3	77						

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	下水道事業出資金 94,000千円 下水道事業補助金 88,000千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	182,000	219,500	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	5,500	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	182,000	214,000	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○基準に基づく繰出しを行うことで、下水道事業経営の安定化が図られ、予定した事業を実施することができた。 ○収益的収支に対する補助金及び資本的収支に対する出資金を事業会計に繰り出すことで円滑な事業経営に資することができた。
村民等からの意見等	
今後の課題	○令和4年度から5年度にかけて策定する3ヵ年計画に基づき、補助金等財源の活用を図りながら計画的に修繕等を行う。 ○資材・物価等の高騰が想定されるため、経費の削減等により費用の抑制に努める。 ○伊久間浄化センター稼働停止に伴い清掃・撤去を行うにあたり、事業会計に対する基準外繰り出しを行う必要がある。 ○電気料高騰分の補てんを行うため、基準外の繰り出しを行う必要がある。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 必要な事業であるため

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	常備消防経費	
総合計画	基本目標	03 生活環境／環境にやさしく、安全・安心なむら
	施策	03 消防・防災対策の充実
担当所属	200100 総務課・総務危機管理係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	080101 消防費・消防費・常備消防費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	飯田広域消防の火災、救急、救助活動に対する負担金支出を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	村内火災発生件数（1 月～1 2 月）						単位	件
	説明								
	実績値	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
		6	1						
成果	指標名	村内救急出動件数（1 月～1 2 月）						単位	件
	説明								
	実績値	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
		236	195						
成果	指標名	村内救助出動件数（1 月～1 2 月）						単位	件
	説明								
	実績値	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
		3	1						
	指標名							単位	
	説明								
	実績値	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・飯田広域消防負担金 110,323 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	110,323	102,550	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	110,323	102,550	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○飯田広域消防に対する負担金支出により、常備消防の確保維持が図られた。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	消防団運営経費	
総合計画	基本目標	03 生活環境／環境にやさしく、安全・安心なむら
	施策	03 消防・防災対策の充実
担当所属	200100 総務課・総務危機管理係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	080102 消防費・消防費・非常備消防費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	地域防災を担う喬木村消防団運営のための経費支出を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員の確保及び組織体制の再編 大規模災害に備えた災害対応能力の向上 消防団を中核とした地域防災力の強化

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	消防団員数（基本団員）						単位	人
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	95	86						
成果	指標名	消防団員数（機能別団員）						単位	人
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	70	72						
活動	指標名	延べ訓練出動人員（春季訓練・操法大会・秋季訓練・出初め式）						単位	人
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	148	258						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> 活動及び出動交付金 10,670千円 退職報償金（支給者18名） 4,217千円 退職報償金共済掛金 3,456千円 消防団に対する新型コロナウイルス感染症対策事業補助金 2,861千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	28,763	30,404	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	2,861	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	1,700	1,800	0	0	0
	その他	4,619	2,005	0	0	0
	一般財源	19,583	26,599	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○火災・風水害時の活動により、住民の生命・財産を守ることができた。 ○消防団員の処遇改善（報酬の見直し）により、団員の士気向上や家族の理解に繋がった。
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○団員減少が進む中で女性消防団員の本部役員登用等を含めた組織体制、定年延長等について検討されたい。 ○地域と連携した消防力維持の施策について検討されたい。 ○機能別団員の処遇改善（報酬の見直し）についても検討されたい。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○基本団員の減少を見据え、団員確保の方策及び組織体制についての検討を継続していくことが必要である。 ○「消防団員の処遇等に関する検討会」の報告書を踏まえ、負担の軽減等を含め訓練のあり方について検討する必要がある。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	災害対策経費	
総合計画	基本目標	03 生活環境／環境にやさしく、安全・安心なむら
	施策	03 消防・防災対策の充実
担当所属	200100 総務課・総務危機管理係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	080103 消防費・消防費・災害対策費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	防災用品の備蓄や防災体制の向上等に係る経費支出を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の体制強化及び継続性確保 ・災害対策本部体制の強化 ・避難所における良好な生活環境の確保

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	防災対策が整っていると答える人の割合（満足度）						単位	%
	説明	村民意識調査で「満足」「まあ満足」と回答した率							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	61.5	58.6						
成果	指標名	マジックライス備蓄数						単位	食
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	6,084	6,084						
成果	指標名	自主防災組織リーダー数						単位	人
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	33	32						
活動	指標名	防災研修会実施回数						単位	回
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	16	17						

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・防災リーダー報酬 384千円 ・喬木村地域防災計画印刷製本費 765千円 ・避難所（中央社会体育館）電源供給工事 3,751千円 ・消防施設整備事業等補助金 1,238千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	7,969	6,734	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	2,000	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	3,700	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	4,269	4,734	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○地区別防災研修会の実施により、防災意識の醸成及び自主防災組織の取組推進に資することができた。 ○防災リーダーの研修会を開催し、自主防災組織の中核を担う人材の育成を図った。 ○避難所である中央社会体育館において、EV車のバッテリーから建物内に給電する工事を行い、災害時に備えることができた。 ○喬木村地域防災計画について県地域防災計画との整合を行うなど見直しを行い、改正後の地域防災計画の印刷製本を行った。
村民等からの意見等	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○地域防災計画の修正及びその実効性を確保するための各マニュアル等の策定。 ○災害時の共有すべき情報の整理と対応の経過について、職員が分かりやすいものになるよう統一を検討する。 ○地区が主体的に取り組む地区防災支え合いマップ作成の推進。 ○防災教育の面的拡大のため、小中学校と連携した防災教育の実施。

7. 事業評価

	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	
施策への貢献度				A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準				A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法				A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性				Z：受益と負担の適正化は図られているか
	Z	Z	Z	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない 【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	防災施設管理経費	
総合計画	基本目標	03 生活環境／環境にやさしく、安全・安心なむら
	施策	03 消防・防災対策の充実
	担当所属	200100 総務課・総務危機管理係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	080103 消防費・消防費・災害対策費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	災害に備えるため各種施設及び通信設備の強化、保守、運用に係る経費支出を行う。 【「防災センター関係経費」を当該事業に統合】	評価対応内容	
		問題点・課題等	・多様な情報伝達手段の確保 ・移動系防災行政無線不感エリア解消

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	屋外拡声子局（同報系）						単位	局
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	41	41						
成果	指標名	移動局数（半固定・車載・携帯型）						単位	局
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	48	48						
成果	指標名	河川カメラ台数						単位	台
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	4	4						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線等回線使用料 2,394千円 ・移動系防災行政無線統制台設備修繕 1,108千円 ・移動系防災行政無線保守点検委託料 3,630千円 ・同報系防災行政無線保守点検委託料 1,782千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	11,481	62,723	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	51,700	0	0	0
	その他	407	36	0	0	0
	一般財源	11,074	10,987	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○防災行政無線の適切な保守管理により、住民の情報伝達手段の確保ができた。
村民等からの意見等	
今後の課題	○住民に対し確実な情報伝達を行うため、公式LINEによる情報発信を進め、地域情報アプリ等を含めた情報伝達について周知を行う必要がある。 ○同報系防災行政無線の導入から10年ほどが経過していることから、操作卓の改修を行う必要がある。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

□新規 ■完了 ■実計対象 ■評価対象 ■施策対象

事務事業名	防災センター関係経費	
総合計画	基本目標	03 生活環境／環境にやさしく、安全・安心なむら
	施策	03 消防・防災対策の充実
担当所属	200100 総務課・総務危機管理係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	080103 消防費・消防費・災害対策費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 4 年度～令和 4 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	防災センター及び南部防災センターの維持管理を行う。 【当該事業を「防災施設管理経費」に統合】	評価対応内容	
		問題点・課題等	・大型機器及び施設整備の計画的な整備更新

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・清掃委託料 47 千円 ・トイレ換気扇修繕 34 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	81	0	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	36	0	0	0	0	0
	一般財源	45	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○施設の適切な管理を実施した。
村民等からの意見等	
今後の課題	○今後見込まれる南部防災センターの大規模な修繕に対する地区との負担割合について取り決める必要がある。 ○指定避難所としての機能強化。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	B：一部見直しが必要である
	B	B	B	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない 南部防災センターにおける大規模改修に対する3地区及び村それぞれの費用負担割合について取り決めが必要。

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	教育委員会経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	01 学校教育の充実
	担当所属	800100 教育委員会・子ども教育係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090101 教育費・教育総務費・教育委員会費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	定例・臨時教育委員会の開催、教育委員の研修等を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	定例教育委員会の開催						単位	回
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	12	12						
活動	指標名	教育委員数						単位	人
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	4	4						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・委員報酬 1,264千円（教育委員報酬） ・負担金 206千円（飯伊市町村教委連絡協議会負担金）
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	1,470	1,614	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,470	1,614	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○定例の教育委員会を12回開催した。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	教育委員会事務局一般経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	01 学校教育の充実
担当所属	800100 教育委員会・子ども教育係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090102 教育費・教育総務費・事務局費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	教育委員会事務局として適正な業務を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	登録ボランティア数						単位	人
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	59	86						
活動	指標名	ボランティア活動延べ人数						単位	人
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	410	430						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> 印刷製本費 1,494千円(小中学校150周年記念誌、パンフレット) 借上料 6,050千円(教育情報基盤システム、コピーリース料、学校用地借上料) 負担金 2,375千円(統合型校務支援システム、学校災害共済掛金等) 貸付金 4,320千円(奨学金)
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	18,052	20,658	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	5,277	1,326	0	0	0
	一般財源	12,775	19,332	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○教育委員会の事務運営を行った。 ○地域の方にボランティア登録をしていただき、小中学校での活動（読み聞かせ、敷地内環境整備、部活動等）に支援をいただいた。 ○小中学校150周年を記念した記念誌の作成及び式典の開催ができた。
村民等からの意見等	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○教育委員会及び学校の通常業務の利便性（メールの転送方法等）の追究。 ○小学校5・6年生向けの地域の教科書の製作。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	教育関係事業補助金	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	01 学校教育の充実
	担当所属	800100 教育委員会・子ども教育係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090102 教育費・教育総務費・事務局費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	小中学校の総合的な学習、校外活動、部活動等への補助を行う。各種検定の受験料補助を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	小学生受検者数						単位	人
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	323	283						
成果	指標名	小学生検定合格率						単位	%
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	87.93	89.4						
成果	指標名	中学生受検者数						単位	人
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	194	177						
成果	指標名	中学生検定合格率						単位	%
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	71.64	56.5						

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 検定受験補助金 500 千円 小学校補助金 246 千円 (第一小166千円、第二小80千円) 中学校補助金 188 千円 学校巡回劇場補助金 220 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	1,154	1,200	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,154	1,200	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○各種検定及び総合的な学習、校外学習と部活動に対する補助を実施した。 ○継続的な検定補助により小学生は合格率が上昇した。 ○中学生は検定合格率が下がったが、より高い級を受検する等学習意欲の向上が見られた。
村民等からの意見等	
今後の課題	○引き続き補助を実施し、対策講座により合格者数を増やす。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	要・準要保護児童生徒援助費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	01 学校教育の充実
担当所属	800100 教育委員会・子ども教育係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090102 教育費・教育総務費・事務局費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	経済的に困難な家庭の児童生徒への就学のための援助を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	要保護						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	0	0						
活動	指標名	準要保護						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	41	39						
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・ 扶助費 2,881千円（第一小20名、第二小3名、中学校15名）
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	2,881	3,194	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	2,881	3,194	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○経済的な理由により就学が困難な家庭の支援として効果がある。
村民等からの意見等	
今後の課題	○HP等を活用し、保護者に対して広く制度の周知を行う。 ○定期的に関係機関と連携し該当者の把握を行う。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	特別支援教育就学奨励費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	01 学校教育の充実
担当所属	800100 教育委員会・子ども教育係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090102 教育費・教育総務費・事務局費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	特別支援学級へ就学する児童生徒への援助を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	対象者						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	26	25						
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・扶助費 1,081千円（第一小13名、中学校12名）
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	1,081	1,327	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	531	663	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	550	664	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○特別支援学級等に在籍している児童生徒の保護者の経済的な負担の軽減に効果がある。
村民等からの意見等	
今後の課題	○就学判定後、早い段階で制度の周知を行う。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	ICT活用教育関係経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	01 学校教育の充実
	担当所属	800100 教育委員会・子ども教育係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090102 教育費・教育総務費・事務局費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	ICTを活用した教育、遠隔学習の推進を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	D. DX推進プロジェクト
----------	---------------

3. 指標の推移

活動	指標名	遠隔授業の実施回数						単位	回
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	5	8						
活動	指標名	実施教科数						単位	教科
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	2	2						
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕料 655千円(学習用タブレット端末等) ・電信料 602千円(SIMカード通信料) ・委託料 2,452千円(GIGAスクール運営支援センター委託・信州大学研修委託) ・借上料 2,225千円(学習用コンピュータ等機器リース料)
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	8,454	9,678	0	0	0	0
	国庫支出金	861	256	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	295	450	0	0	0	0
	一般財源	7,298	8,972	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○第一小第二小間の遠隔は「遠隔合同授業（教科学習）」から合同行事の事前事後の「遠隔学習」や交流を目的とした「遠隔交流」がメインとなった。（科目としては特別活動としてカウント） ○自宅とのオンライン学習や別室へのオンライン配信など、遠隔合同授業以外の遠隔学習が多く行われるようになった。 ○第一第二小間以外にも県外や海外との遠隔交流、中学校でのオンライン英会話など、幅広い遠隔学習が実施された。 ○GIGAスクール構想により、完全な一人一台環境とクラウドサービスの利用を前提とした新しい学習環境が整った。
村民等からの意見等	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・第一小一第二小間における、一人一台端末とクラウド環境を活用した新しい遠隔学習の方法の研究（映像をつなぐだけでなく、スライドやドキュメントなどのデータを共有してコメントしあうなど） ・県外や海外、専門機関とつないだ遠隔学習の充実、接続先の模索 ・学校のICT環境（電子黒板等）のリプレイスについての検討、児童生徒用端末のBYODの検討も行っていく。

7. 事業評価

評価項目	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	
施策への貢献度				A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準				事業費・人件費の水準は適正か
				A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法				事業方法は適正か
				A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性				受益の公平性と負担の適正化は図られているか
				Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	小中学生入学祝品支給事業	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	01 学校教育の充実
担当所属	800100 教育委員会・子ども教育係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090102 教育費・教育総務費・事務局費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	
事業概要	入学祝品として、小学校の入学生に学用品、中学校の入学生に制服・通学かばんを支給する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	小学校入学児童数						単位	人
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	62	42						
活動	指標名	中学校入学生徒数						単位	人
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	58	63						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	・消耗品費 3,399千円 (学用品・制服・通学パック等)
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	3,399	3,270	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,399	3,270	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○R3年度より、子育てを応援するため、保育園、小学校卒業時に入学準備用品（小学校は学用品、中学校は制服と通学カバン）を支給し、村民から一定の評価があったためR4年度についても継続した。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
		A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
		A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
		A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
		Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	第一小学校管理経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	01 学校教育の充実
	担当所属	800200 教育委員会・第一小学校
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090201 教育費・第一小学校費・学校管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	喬木第一小学校の適切な管理を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	学級数						単位	学級
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	15	15						
活動	指標名	児童数						単位	人
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	296	300						
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 2,159千円(コロナ対策消耗品等) ・光熱水費 4,958千円 ・修繕料 1,389千円(プールろ過装置、電気温水器等) ・工事請負費 2,211千円(校内放送設備、校庭車両スロープ改修)
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費		19,104	22,333	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	900	450	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	100	122	0	0	0	0
	一般財源	18,104	21,761	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○新型コロナウイルス感染症対策として、消耗品、備品（空気清浄機・滅菌機）を整備した。 ○放送設備、校庭車両スロープ等の改修を実施した。
村民等からの意見等	
今後の課題	○施設の老朽化等による修繕費の増加。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	第一小学校教育振興費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	01 学校教育の充実
担当所属	800200 教育委員会・第一小学校	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090202 教育費・第一小学校費・教育振興費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	喬木第一小学校の児童が学習に必要な教材、図書等の整備を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 1,436千円 ・図書購入費 1,189千円 (図書、デジタル教科書等) ・備品購入費 516千円 (オルガン、ライン引き等)
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	3,140	3,874	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	511	150	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,629	3,724	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○学習に必要な教材・図書等の整備を行った。
村民等からの意見等	
今後の課題	○ICT機器を効果的に活用するために必要なデジタル教材の検討。 ○児童の学習用デジタル教材の活用。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	第二小学校管理経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	01 学校教育の充実
	担当所属	800300 教育委員会・第二小学校
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090301 教育費・第二小学校費・学校管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	喬木第二小学校の適切な管理を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	学級数						単位	学級
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	6	5						
活動	指標名	児童数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	37	34						
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 2,137千円 (コロナ対策消耗品等) ・光熱水費 2,476千円 ・手数料 907千円 (防火設備調査、庭木剪定等) ・工事請負費 4,730千円 (校舎内壁等塗装工事)
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	13,517	15,371	0	0	0	0
	国庫支出金	4,310	450	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	123	132	0	0	0	0
	一般財源	9,084	14,789	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○抗ウイルス塗装による校舎内壁塗装を実施した。 ○新型コロナウイルス感染症対策として、消耗品、備品等を整備した。
村民等からの意見等	
今後の課題	○施設の老朽化等による修繕費の増加。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	第二小学校教育振興費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	01 学校教育の充実
担当所属	800300 教育委員会・第二小学校	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090302 教育費・第二小学校費・教育振興費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	喬木第二小学校の児童が学習に必要な教材、図書等の整備を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・講師謝礼 113千円 ・消耗品費 619千円 ・図書購入費 463千円 (図書、デジタル教科書等)
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	1,195	1,329	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	54	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,141	1,329	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○学習に必要な教材、図書等の整備を行った。
村民等からの意見等	
今後の課題	○ICT機器を効果的に活用するために必要なデジタル教材の検討。 ○児童の学習用デジタル教材の活用。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	中学校管理経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	01 学校教育の充実
	担当所属	800400 教育委員会・中学校
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090401 教育費・中学校費・学校管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	喬木中学校の適切な管理を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	学級数						単位	学級
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	9	9						
活動	指標名	生徒数						単位	人
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	184	178						
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 5,378千円 ・委託料 2,651千円 (水泳指導委託業務等) ・借上料 1,630千円 (行事、大会等バス借上) ・工事請負費 5,665千円 (昇降口タイル、体育館床修繕工事等)
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費		23,446	29,002	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	900	450	0	0	0	0
	都道府県支出金	521	672	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	109	115	0	0	0	0
	一般財源	21,916	27,765	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○校舎の改修工事（教師用下駄箱、昇降口タイル、体育館床修繕等）を実施した。 ○新型コロナウイルス感染症対策として、消耗品、備品（デジタル身長体重計・空気清浄機）を整備した。
村民等からの意見等	
今後の課題	○施設の老朽化等による修繕費の増加。 ○プールの跡地利用について。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	中学校教育振興費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	01 学校教育の充実
担当所属	800400 教育委員会・中学校	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090402 教育費・中学校費・教育振興費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	喬木中学校の生徒が学習に必要な教材、図書等の整備を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 983千円 ・図書購入費 1,163千円 (デジタル教科書、生徒図書等) ・使用料 1,248千円 (学習用ソフト) ・備品購入費 397千円 (電子ピアノ、トレーニングタイマー等)
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	3,870	5,205	0	0	0	0
	国庫支出金	476	90	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	3,394	5,115	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○学習に必要な教材・図書等の整備を行った。
村民等からの意見等	
今後の課題	○ICT機器を効果的に活用するために必要なデジタル教材の検討

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	外国青年招致事業	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	01 学校教育の充実
	担当所属	800100 教育委員会・子ども教育係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090403 教育費・中学校費・外国青年招致事業費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	児童生徒が生英語に触れる機会を増やすため、海外から外国青年を招致する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	ALT 雇用人数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	1	1						
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費 73 千円(新任者来日費用) ・特別旅費 153 千円(前任者帰国費用) ・借上料 708 千円(ALT 住宅家賃、敷金等) ・負担金 384 千円(JET プログラム負担金等)
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	1,337	734	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1,337	734	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○R4.7月に前任者が帰国し、R4.10月より新任のALTが配置された。 ○急遽帰国することとなったが、新任者の早期配置により、小学校低学年や未就学児にも英語にふれ合う機会を継続することができた。
村民等からの意見等	
今後の課題	○引き続き、小学校低学年や未就学児にも英語にふれ合う機会を増やし、幅広い学年での外国語活動を充実していく。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	調理場管理運営経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	01 学校教育の充実
	担当所属	800100 教育委員会・子ども教育係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090501 教育費・共同調理場費・共同調理場管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	児童生徒の健やかな成長を願い、安全で安心な給食の提供を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	人数						単位	人
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	594	590						
活動	指標名	提供日数						単位	日
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	197	199						
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 6,473千円 ・賄材料費 33,552千円 ・修繕料 904千円 ・委託料 2,526千円(学校給食運搬等)
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費		46,542	51,746	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	764	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	31,677	33,613	0	0	0	0
	一般財源	14,101	18,133	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○地元食材をできる限り使い、安心安全な学校給食を提供することができた。 ○未然の事故防止のため、事務局職員による検食を実施した。
村民等からの意見等	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○全行程において異物混入の防止。 ○地産地消の推進。 ○備品の修繕・更新の検討。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	社会教育総務一般経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	02 生涯学習の推進
担当所属	800500 教育委員会・社会教育係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090601 教育費・社会教育費・社会教育総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	社会教育の全般的なものに係る経費。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・たかぎ子育て憲章実践する事業の運営と地域への定着

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	社会教育委員数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	9	9						
成果	指標名	お泊まり体験 参加者数 (R3 年より代替事業を実施)						単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	36	21						
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員会報酬 190千円 印刷製本費（事業計画カレンダー） 93千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	458	690	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	50	0	0	0	0
	一般財源	458	640	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○行政、小中学校、保育園の事業計画を集約した年間事業計画カレンダーを作成し配布した。 ○お泊まり体験に代わり、防災地域探検ツアーを実施。村内を知り、異世代の方との交流に繋がった。 ○社会教育委員会において、たかぎ子育て憲章の改正（案）を作成することができた。
村民等からの意見等	○たかぎ子育て憲章について、SNSなど時代にあったものとする必要がある。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○たかぎ子育て憲章実践のため、家庭以外の異世代交流事業を行いながら、各地域に社会教育が浸透する事業を広める。 ○コロナ禍でも実施できる事業、実施方法の検討。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	B：改善の必要がある
	B	B	B	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある たかぎ子育て憲章の活用に向けて検討が必要。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	社会教育施設維持管理経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	02 生涯学習の推進
担当所属	800500 教育委員会・社会教育係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090601 教育費・社会教育費・社会教育総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	第一公民館の維持管理経費	評価対応内容	
		問題点・課題等	利用者が少ない

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	施設利用率						単位	%
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	13.3	15.7						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 借地料 1,269千円 管理人委託料 960千円 電気料 253千円 第一公民館トイレ洋式化工事 3,960千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	6,702	3,242	0	0	0	0
	国庫支出金	3,960	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	2	0	0	0	0
	一般財源	2,742	3,240	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○適正に維持管理した。 ○トイレの洋式化工事により利用者の利便性向上を図ることができた。
村民等からの意見等	
今後の課題	○敷地南側畑は近隣の方に管理していただいていたが、管理方法について検討する必要がある。 ○施設の利用率の向上について引き続き検討する。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	B：改善の必要がある
	B	B	B	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある 施設利用率が低いため、施設の利用方法や、サークルや地域の会議など利用促進を検討する。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	人権・平和関係経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	06 人権尊重の推進
担当所属	800500 教育委員会・社会教育係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090601 教育費・社会教育費・社会教育総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	人権教育を推進するための経費。	評価対応内容	平和学習会 H30より話題の映画上映会開催希望
		問題点・課題等	・幅広い年代に興味・関心を持って貰える内容、学習の場の提供。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	平和学習会事業実施数						単位	回
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	1	2						
成果	指標名	人権・平和イベント参加者数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	354	261						
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校満蒙開拓記念館訪問学習 24千円 ・人権、平和講演会等講師謝金 180千円 ・映画「ちむぐりさ」上映料 77千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	282	321	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	25	25	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	257	296	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○「世界情勢から考える平和」をテーマに喬木村出身の市瀬卓さんによる講演会を2回開催し、子どもから大人までの広い世代に平和について学ぶ機会を提供した。 ○映画「ちむぐりさ」上映を通じて、沖縄では基地問題等現在も様々な平和について課題があることがわかった。 ○広島平和のバス運行事業に代わる中学生の満蒙開拓記念館訪問学習を実施。
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○平和学習会を今後も続けて欲しい。 ○沖縄の現状について知らないことが多い。すぐ行動することはできないが、知るといふ事から始めたい。
今後の課題	○過去の戦争問題だけでなく現代の紛争問題や人権問題について、幅広い世代に興味を持って貰える内容、学習の場の提供。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	B	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	こども学遊館管理運営経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	07 保育・子育て支援の充実
担当所属	800100 教育委員会・子ども教育係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090601 教育費・社会教育費・社会教育総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	こども学遊館の管理運営を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 325千円 (こども学遊館消耗品) ・光熱水費 578千円 (上下水道料・電気料) ・修繕料 220千円 (通路雨よけシート補修工事等) ・手数料 119千円 (ガラス等清掃)
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	1,261	1,545	0	0	0	0
	国庫支出金	378	343	0	0	0	0
	都道府県支出金	303	343	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	8	10	0	0	0	0
	一般財源	572	849	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○各種事業の拠点施設として、多くの児童・親子の利用がある。 ○主な事業：子育てひろば（地域子育て支援拠点事業） 児童クラブ（放課後児童健全育成事業）
村民等からの意見等	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○完成から10年以上が経過し、床等の修繕が必要。 ○児童クラブの長期休みの利用者数が70人を超える日があり、クラブ施設としては手狭である。 ○長期休みは終日児童クラブとして使用するため、長期休みの期間中の子育てひろば（未就園児）の活動場所がない。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	子育て支援事業	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	03 青少年の健全育成
担当所属	800100 教育委員会・子ども教育係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090601 教育費・社会教育費・社会教育総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	多様化する子ども・家庭からの相談に応じ、支援を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	多様化する相談に対応できる人材の確保。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	臨床心理士による相談日数						単位	日
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	27	21						
活動	指標名	臨床心理士による相談件数						単位	件
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	44	40						
活動	指標名	発達支援相談員による相談日数						単位	日
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	23	21						
活動	指標名	発達支援相談員による相談件数						単位	件
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	30	40						

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・委員報酬 4千円 (子育て支援ネットワーク協議会委員報酬) ・会計年度任用職員 103千円 (発達相談員報酬・通勤手当) ・報償金 412千円 (臨床心理士)
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	519	3,524	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	519	3,524	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○子育てひろばにおいて発達支援相談日を月に1回開催。 ○各園に発達支援相談員が月1回の巡回を行い、発達に不安のある子どもへの早期対応ができた。 ○子育て支援ネットワーク協議会の実施。(代表者会議1回、実務者会議2回、個別支援会議 随時実施) ○子育てや子どもの養育に不安を抱えている保護者の相談に応じることができた。 ○関係機関(児童相談所、SSWなど)と連携しながら支援することができた。 ○臨床心理士を確保し、保育園や小中学校で発達検査や子ども・保護者とのカウンセリング実施。 ○子どもの発達に関する不安などを相談できてよかった。
村民等からの意見等	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○多様化する相談に対応できる人材の確保。(臨床心理士や社会福祉士等の専門職の常勤的な配置が必要である)

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A: 十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A: 十分貢献している B: 一部貢献している C: あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A: 経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A: 適正な水準である B: 節減できる余地が一部ある C: 節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A: 適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A: 適切な方法である B: 改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z: 受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A: 適正 B: 一部見直しが必要 C: 全面見直しが必要 Z: 負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2: 継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	児童クラブ事業	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	07 保育・子育て支援の充実
担当所属	800100 教育委員会・子ども教育係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090601 教育費・社会教育費・社会教育総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生を対象として、安心安全な放課後の遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図る。	評価対応内容	
		問題点・課題等	利用者数は高い水準を維持しており、施設が手狭になってきている。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	登録児童数						単位	人
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	159	157						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員報酬 7,824千円 (児童クラブ支援員報酬・期末手当・社会保険料・通勤手当) ・賄材料費 181千円 ・修繕料 173千円 (飛散防止フィルム貼り工事等) ・委託料 156千円 (入退室管理システムサーバー利用料等)
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	9,284	10,262	0	0	0	0
	国庫支出金	2,452	2,452	0	0	0	0
	都道府県支出金	2,291	2,452	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	2,006	2,400	0	0	0	0
	一般財源	2,535	2,958	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○核家族・共働き家庭等の増加により、利用者数は高い水準を維持している。 ○第一児童クラブ：登録者数129名 開所日数278日（うち土曜日43日） ○第二児童クラブ：登録者数 28名 開所日数240日
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の時間があるって、わからないところも教えて頂けて有難い。 ○一人一人とても丁寧にみてくれてとても感謝している。長期の休みも勉強やイベントも有難い。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○児童クラブ支援員については、引き続き適切な人員確保に努める。（長期休業・土曜日開所への対応） ○個別の支援・配慮を必要とする児童の増加。学校との連携の強化。 ○児童数が減っていても児童クラブの利用者は高い水準にある。特に第一児童クラブでは、長期休みの利用者数が70名以上となるため、施設の手狭となっている。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	放課後子ども教室事業	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	07 保育・子育て支援の充実
担当所属	800100 教育委員会・子ども教育係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090601 教育費・社会教育費・社会教育総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	放課後や週末に安全・安心な子どもの活動拠点（居場所）を設け、子ども達が共に勉強やスポーツ、文化活動などを実施する。 <実施事業> ・子ども教室 ・学遊館広場	評価対応内容	
		問題点・課題等	地域人材を活用し、活動内容の充実させる。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	子ども教室 登録児童数						単位	人
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	19	24						
活動	指標名	子ども教室 実施回数						単位	回
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	138	108						
成果	指標名	子ども教室 平均参加児童数						単位	人
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	11	14.8						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・委員報酬 23千円（こども学遊館運営委員会委員報酬） ・報償金 240千円（コーディネーター、教育活動サポーター） ・消耗品費 114千円（木工教室材料費等） ・損害保険料 7千円（コーディネーター、教育活動サポーター）
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	393	871	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	260	332	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	10	0	0	0
	一般財源	133	529	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○子ども教室：コーディネーター1名（週2日の配置）、教育活動サポーター2名（常時1名の配置）補助金を活用した木工体験を開催。27名が参加。地域の木材に親しむ機会となった。子どもたちの感性で意欲的に取り組むことができた。 ○学遊館広場：コーディネーターを中心に小学生を対象としたイベントを企画。地域探検等のイベントを3回開催（コロナ感染拡大により2回中止）。地域の方との交流や体験をする機会となった。
村民等からの意見等	
今後の課題	○イベントの内容の充実、他機関との連携。 ○児童クラブに対象とならない児童の居場所の検討。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	B	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	地域子育て支援拠点事業	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	07 保育・子育て支援の充実
担当所属	800100 教育委員会・子ども教育係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090601 教育費・社会教育費・社会教育総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	子育て相談員が常駐し、子育て家庭（未就園児）、妊娠中の方の交流の場、子育て相談の場となるよう支援する。 <実施事業> ・子育てひろば	評価対応内容	
		問題点・課題等	利用したことのない家庭への働きかけ。関係機関との連携した支援。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	子育てひろば利用延べ人数						単位	人
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	2,566	3,132						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	・会計年度任用職員報酬 3,264千円（子育て相談員 報酬・期末手当・社会保険料・通勤手当） ・講師謝礼 106千円（絵本の会・足つぼマッサージ・ベビーピクス等） ・消耗品費 143千円（おもちゃ・絵本等） ・賄材料費 20千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費		3,534	4,192	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	774	772	0	0	0	0
	都道府県支出金	774	772	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	10	0	0	0	0
	一般財源	1,986	2,638	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナウイルス感染防止対策を行いながら、可能な限りの催事（絵本の読み聞かせ、ベビーピクス等）を開催した。 ○1歳未満の利用者促進に繋げるため、7ヶ月相談をこども学遊館で実施。 ○保健師と定期的に連絡会を開催し、子どもの情報共有を行い、支援の方法等を共有できた。
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○とてもありがたい施設 ○子育てが楽しくなる
今後の課題	○未満児で保育園へ入所する子どもが増えているが、入所していない児童で子育てひろばを利用していない人は一定数いるので、利用につながるような案内やイベントを検討する。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	地域未来塾事業	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	07 保育・子育て支援の充実
担当所属	800100 教育委員会・子ども教育係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090601 教育費・社会教育費・社会教育総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	地域と学校が連携・協働して地域創生活動を推進する中で、小学生と中学生を対象に学習機会を提供し、児童・生徒の学習意欲の向上及び基礎学力の底上げを図る。 <実施事業> ・たかぎ土曜塾 ・たかぎ未来カレッジ	評価対応内容	
		問題点・課題等	継続して参加してもらえるよう、生徒や保護者のニーズを把握し、内容を充実させる。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	利用生徒数（中学校）						単位	人
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	72	60						
成果	指標名	土曜塾受講者数（小学生）						単位	人
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	28	31						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・報償金 407千円（学習支援員） ・消耗品費 13千円（学習用品） ・損害保険料 6千円（学習支援員保険料） ・使用料 141千円（土曜塾学習ソフト使用料）
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	567	1,683	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	267	297	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	300	1,386	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<p>○未来カレッジ（中学校） コロナ感染拡大により、夏休み対策講座・受験対策講座は中止、英検対策講座のみ開催できた。</p> <p>○たかぎ土曜塾（小学生） 6月より開講し、27回開催。新しい学習ソフトを導入し、一人ひとりの理解度に合わせて学習を進めることができた。</p>
村民等からの意見等	
今後の課題	○今後も地域の方々等の協力を得て実施していく。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	男女共同参画活動費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいを一つに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	04 男女共同参画の推進
担当所属	400101 企画財政課・企画財政係・企画財政係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090601 教育費・社会教育費・社会教育総務費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	家庭・職場・地域など様々な場所・場面において、男女が共に参画できる環境づくりを進める。	評価対応内容	
		問題点・課題等	各種委員や自治会役員等における女性の割合改善に結びついていない。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	男女共同参画の地域づくりができていると答える人の割合						単位	%
	説明	村民意識調査で「満足」「まあ満足」と回答した率							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	62.5	59.2						
成果	指標名	主要な審議会、委員会等における女性委員の割合						単位	%
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	18.9	17.9						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画推進委員報酬（男女共同参画推進委員会の開催） 125千円 講師謝礼（職場から家庭まで 人間関係を良好にする！男女脳講座 手塚 祐基 氏） 50千円 印刷製本費 99千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	274	290	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	274	290	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○コロナ禍のなかでも講師のオンライン出演により、「職場から家庭まで 人間関係を良好にする！男女脳講座」をテーマに講演会を開催することができた。 ○第5次喬木村男女共同参画計画は、委員の皆さんと協議を重ね、また、県男女共同参画課の意見をいただき策定することができた。
村民等からの意見等	
今後の課題	○自治会活動や公民館活動等地域の担い手不足が懸念されるなか、女性と地域活動を結ぶ方法等について研究が必要。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	B：改善の必要がある
	B	B	B	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある 啓発イベントを行っているが、直接的な数値改善には結びついていない。自治会等各団体と連携した活動内容の検討が必要。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	公民館運営経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	02 生涯学習の推進
担当所属	800500 教育委員会・社会教育係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090602 教育費・社会教育費・公民館費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	公民館事業の企画運営に係る経費。	評価対応内容	公民館体育事業のあり方の検討
		問題点・課題等	公民館事業における参加者の固定化、競技性が強いこと、住民ニーズを反映し指標の変更を。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	公民館事業実施数（文化系）						単位	回
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	2	2						
活動	指標名	公民館事業実施数（体育系）						単位	回
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	1	2						
活動	指標名	大会参加分館率						単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	31.2	6.25						
活動	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館報制作費 636千円 ・部員報酬 557千円 ・団体活動補助金 235千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	1,973	5,149	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	19	10	0	0	0	0
	一般財源	1,954	5,139	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○公民館報の毎月発行。 ○映画と絵話の夕べのいちごチャンネルでの放映。 ○コロナ対策のため、文化祭展示を4会場にて行い、芸能大会の代わりにPR動画をいちごチャンネルにて放送。 ○公民館教養部主催の楽遊塾2講座を開催。 ○公民館あり方検討を開始。 ○各種事業の見直しを行いR5年事業に反映させた。
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○公民館活動が多すぎるので減らしてほしい。 ○少子高齢化、人口減、コミュニティーの変化への対応をお願いしたい。 ○全地域一律の活動は、現状の大島などには負担でしかない。 ○公民館そのものの意義を考えなおす（見直す）時期ではないか。 ○気軽に参加できるイベントの検討をお願いしたい。 ○住民の意見とのバランスが大切だと思う。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○公民館活動について、役員の出役を減らすなどの負担軽減と共に、自主的活動を助成する。 ○公民館の組織について検討を進めていく。 ○公民館活動により縦のつながりを持って、気軽に参加できるようなイベント。 ○公民館活動に携わっている方々の意見をどこまで丁寧に聞き納得いただけるか。 ○より多くの人に関われる公民館報を目指したい。

7. 事業評価

評価項目	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	
施策への貢献度				A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準				A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法				B：改善の必要がある
	B	B	B	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある 地域の实情に即した事業運営をする必要がある。
受益・負担の公平性				A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	保健体育運営経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	04 スポーツ活動の推進
	担当所属	800500 教育委員会・社会教育係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090603 教育費・社会教育費・保健体育費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	駅伝大会等社会体育事業の企画運営に係る経費	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	駅伝大会参加団体数						単位	チーム
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	26	25						
活動	指標名	スポーツ推進委員数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	8	8						
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・ 体育関係消耗品 727千円 ・ 体育関係負担金 73千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	1,062	1,346	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1,062	1,346	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○感染対策用品や、体育施設に必要な物品を整備した。 ○コロナ下ではあったが、用具等の整備によりスポーツ活動を継続できた。
村民等からの意見等	○実行委員会組織として行ってはどうか。
今後の課題	○今後は最低限の感染対策を行いつつ時代に適応した開催方法を検討し、実施をしたい。 ○スポーツ推進員を活用して、村民が自ら健康作りに取り組むように事業の周知と内容を検討する。 ○中学生の提言（スポーツと観光農業とのコラボや坂道だらけのマラソン大会など）を受け、新たなスポーツイベントを検討する。 ○体育部や村内スポーツ関係者だけでは難しいため、新たに一般公募でスタッフを募集するなど運営方法を検討する必要がある。

7. 事業評価

評価項目	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	
施策への貢献度				A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準				A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法				B：改善の必要がある
	B	B	B	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある 体育部や村内スポーツ関係者だけでは難しいため、新たに一般公募でスタッフを募集するなど運営方法を検討する必要がある。
受益・負担の公平性				Z：受益と負担の適正化は図られているか
	Z	Z	Z	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない 【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	保健体育関係事業補助金	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	04 スポーツ活動の推進
担当所属	800500 教育委員会・社会教育係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090603 教育費・社会教育費・保健体育費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	スポーツ振興のため、青少年スポーツ団体等へ補助を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	マレットクラブ会員の減少に伴い維持管理への不安がある。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	補助対象団体						単位	団体
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	9	9						
成果	指標名	県大会以上出場						単位	件
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	6	6						
成果	指標名	体育協会登録者数						単位	人
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	800	757						
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少年少女スポーツクラブ団体補助金 252千円 (柔道、パレー、剣道、野球、バスケ、サッカー、体操) ・ 西宮マレットゴルフコース管理補助 100千円 ・ 大原机山マレットゴルフコース管理補助 150千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	502	502	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	502	502	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○県大会以上の大会への出場者（チーム）の激励を行った。 ○スポーツ団体が継続できるよう助成を行うことができた。
村民等からの意見等	
今後の課題	○少年少女スポーツ団体の存続（新規加入者確保）。 ○マルチゴルフクラブの組織体制や施設利用方法等について対応の結果、現状で納得いただけましたが、新規加入者確保が課題となっている。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	保健体育施設管理経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	04 スポーツ活動の推進
	担当所属	800500 教育委員会・社会教育係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090603 教育費・社会教育費・保健体育費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	社会体育施設の維持管理を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	B. 関係人口拡大プロジェクト
----------	-----------------

3. 指標の推移

活動	指標名	管理施設数						単位	施設
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	7	7						
成果	指標名	体育施設利用率						単位	%
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	56.9	59.6						
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・中原運動・芝公園トイレ改修工事 20,955千円 ・電気料 5,819千円 ・第一社会体育館照明LED化工事 3,410千円 ・帰牛原バスケットコート整備工事 6,358千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動公園電気設備改修工事 2,948千円 (繰越) ・中央社会体育館外壁修繕工事 4,180千円 (繰越)
令和 5年度		
令和 6年度		
令和 7年度		
令和 8年度		
令和 9年度		

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費		55,481	24,402	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	13,500	0	0	0	0	0
	その他	14,905	1,890	0	0	0	0
	一般財源	27,076	22,512	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○中原運動・芝公園のトイレ改修やバスケットコート改修工事により快適に利用できる環境を整えることができた。 ○第一社会体育館照明LED化工事により、運動施設の省電力化を推進できた。
村民等からの意見等	○ボランティアによる除草活動の様子を広報などで紹介しては。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○運動公園等の管理方法について検討する。 ○利用団体との連携を図り維持管理を実施していく。 ○電気料高騰への対応としてLED化工事を計画的に実施し省電力化を図る。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	多機能型施設関係経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	04 スポーツ活動の推進
	担当所属	800500 教育委員会・社会教育係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090603 教育費・社会教育費・保健体育費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	多機能型施設の管理運営経費	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	C. 協働・共創によるSDGs推進プロジェクト
----------	-------------------------

3. 指標の推移

成果	指標名	スポーツクラブ会員数						単位	人
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	571	556						
活動	指標名	ボランティア登録人数						単位	人
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	746	706						
活動	指標名	ボランティア登録団体数						単位	団体数
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	52	49						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間休日管理委託料 2,776千円 ・電気料 1,498千円 ・コピー機使用料 263千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	5,262	6,143	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	827	460	0	0	0
	一般財源	4,435	5,683	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、適切に施設の管理運営を行った。 ○ライフスポーツ財団の助成を受けスポーツ関連用品の整備を行った。
村民等からの意見等	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○開業以来備品、重要書類が増加し収納スペースが減少しはじめている。 ○営業時間の短縮について検討。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	文化財保護一般経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	05 文化・芸術活動の推進
担当所属	800500 教育委員会・社会教育係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090604 教育費・社会教育費・文化財保護費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	村内にある各文化財の保護に係る経費。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・指定文化財の保護

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	村指定文化財数						単位	件
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	20	20						
活動	指標名	文化財保護委員数						単位	人
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	5	5						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護委員報酬 72千円 曙月庵運営謝金 100千円 曙月庵維持管理手数料 347千円 文化財保護交付金 45千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	622	6,286	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	4,600	0	0	0
	その他	2	1	0	0	0
	一般財源	620	1,685	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○村内の文化財の管理、保護を行った。 ○曙月庵へのツアーの受け入れやイベントの実施等、多くの方に曙月庵を紹介することができた。
村民等からの意見等	○阿島陣屋跡や曙月庵・郭1号古墳など、一帯の歴史観光として発信することができないか。
今後の課題	○村内にある文化財の保護と長寿命化。 ○リニア新幹線開通を見据えた歴史遺産の活用方法。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	B：改善の必要がある
	B	B	B	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある 個人所有の村指定文化財の管理・活用方法について検討が必要。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	歴史民俗資料館管理運営経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	05 文化・芸術活動の推進
担当所属	800500 教育委員会・社会教育係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090604 教育費・社会教育費・文化財保護費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	資料館の管理運営を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・資料館来館者の増

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	来館者数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	851	695						
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 資料館当番賃金 87千円 光熱水費 216千円 建物清掃料 96千円 コピー使用料 53千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	583	940	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	583	940	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○資料館所蔵の資料の管理と保存 ○小・中学校の学習に対応。（出張授業等）武田信玄狼煙上げでは学遊館と連携して取り組めた。 ○資料館だよりを発行し、地域の歴史への興味関心を高めた。 ○大学をはじめ研究機関・諸団体の学習、研究等に対応。 ○資料館・曙月庵見学者の対応。 ○文化祭特別展等の開催により令和元年以前と比べ多い来館者数となった。
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き文化祭での展示会場として欲しい。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○資料館の収蔵品を活用し、村の魅力を発信するとともに興味・関心を高める。 ○小学校5・6年生用の地域の教科書の作成 ○歴史民俗資料館にある収蔵品のリスト化 ○村誌統編の編纂

7. 事業評価

評価項目	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	
施策への貢献度				A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準				A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法				A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性				Z：受益と負担の適正化は図られているか
	Z	Z	Z	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない 【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	埋蔵文化財発掘経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	05 文化・芸術活動の推進
	担当所属	800500 教育委員会・社会教育係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090605 教育費・社会教育費・埋蔵文化財発掘調査費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	村内にある埋蔵文化財の保護・調査に係る経費。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	包蔵地内の開発立会調査数						単位
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
	実績値	13	10					
	指標名							単位
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
	実績値							
	指標名							単位
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
	実績値							
	指標名							単位
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
	実績値							

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・埋蔵文化財保護関係者会議旅費 1 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	1	1,746	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1	1,746	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○包蔵地内の住宅開発による立会・試掘調査の実施
村民等からの意見等	
今後の課題	○発掘調査が必要となった場合、指導する先生の不足

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	椋記念館図書館運営経費	
総合計画	基本目標	05 教育・文化／生涯、共に学び、誇りと愛着を持ったグローバルな人材を育むむら
	施策	05 文化・芸術活動の推進
	担当所属	800500 教育委員会・社会教育係
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	090606 教育費・社会教育費・椋記念館図書館費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	椋十の資料展示と研究資料の収集、図書館の管理運営を行う。 南信州ネットワーク（広域連携システム）と長野県版電子図書館デジとしょ信州の利用向上に向けた取り組み。	評価対応内容	
		問題点・課題等	図書館ネットワークシステムの更新

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	B. 関係人口拡大プロジェクト
----------	-----------------

3. 指標の推移

成果	指標名	図書館入館者数						単位	人
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	11,079	9,007						
活動	指標名	貸出冊数						単位	冊
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	51,180	45,644						
成果	指標名	記念館入館者数						単位	人
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	421	703						
成果	指標名	村外図書館との貸借数						単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	6,131	6,152						

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開館30周年記念原画展 1,996千円 ・ 改修工事費（飛散防止フィルム・図書館LED化） 5,390千円 ・ 図書購入費 3,000千円 ・ 各種講師謝礼 334千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	17,017	14,351	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	200	210	0	0	0
	一般財源	16,817	14,141	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 椋鳩十記念館・記念図書館開館30周年行事を実施することができた。椋鳩十と原田泰治の交流をテーマに企画展示等を行った。 ○ コロナ禍であったが、前年度の研修団体（7団体）を上回る9団体の研修を受け入れることができた。来館者も前年度より約280人増加。 ○ 第35回椋鳩十賞読書感想文コンクールは、約130作品の応募増。 ○ ギャラリー一展は、展示希望者が多く、年度内に次年度の枠が埋まる状況である。
村民等からの意見等	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幼児・小学生・子育て世代を対象とした企画、SNS等を活用した周知により、多くの方に図書館を利用いただけるよう努める。 ○ 読書運動の推進・読書の啓発。学校と記念館・図書館の連携。出張読み聞かせ等の実施。 ○ 顕彰会の存続。公園等施設の維持管理。今後の整備等に係る検討。 ○ 安全で安心して利用できる図書館を目指し、施設等の修繕に取り組む。 ○ 南信州図書館ネットワーク 図書館システム更新に向けた準備を確実に進行。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	森林災害復旧事業費	
総合計画	基本目標	03 生活環境／環境にやさしく、安全・安心なむら
	施策	03 消防・防災対策の充実
担当所属	600100 生活環境課・環境林務係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	100103 災害復旧費・農林水産施設災害復旧費・森林災害復旧費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	被災した森林において災害復旧を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・財源確保が厳しく、計画的な事業執行が難しい。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	災害復旧実施箇所						単位	箇所
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	説明	令和 2 年 7 月に発生した豪雨災害の復旧作業実施箇所数							
	実績値	3	4						
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 工事請負費 7,500 千円 九十九谷森林公園災害復旧 4 箇所 原材料費 495 千円 九十九谷森林公園植栽用苗木代 (ドウダンツツジ)
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	7,995	1,500	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	5,000	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	2,995	1,500	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○九十九谷森林公園大和知洞において池の排土を実施したことにより災害復旧及び景観整備が進んだ。 ○くりん草園中段の遊歩道法面崩落防止工事と沢筋洗堀防止工事の実施により園内の災害復旧が進んだ。 ○くりん草園下段の上流側整地工事を実施したことによりくりん草愛好会の作業環境を改善することができた。
村民等からの意見等	○九十九谷森林公園のあちらこちらに、まだ災害を受けたままの状態の場所があるため、早期復旧を求める声がある。
今後の課題	○土砂流入等自然災害の影響を受けやすい九十九谷森林公園内の整備における財源確保

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規 完了 実計対象 評価対象 施策対象

事務事業名	国庫補助農業用施設災害復旧事業費	
総合計画	基本目標	03 生活環境／環境にやさしく、安全・安心なむら
	施策	03 消防・防災対策の充実
担当所属	900200 高速交通対策課・建設係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	100105 災害復旧費・農林水産施設災害復旧費・国庫補助農業用施設災害復旧費

1. 事務事業の概要

事業期間		R3評価結果	
事業概要	○災害復旧（国庫農地・施設）	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	A. 小さな拠点づくりの推進と交通網活用プロジェクト
----------	----------------------------

3. 指標の推移

指標名	説明	単位					
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		実績値					
指標名		単位					
説明		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
実績値							
指標名		単位					
説明		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
実績値							
指標名		単位					
説明		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
実績値							

4. 年度別事業内容

令和 4年度	・農地復旧工事（富田1） 825千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	825	0	0	0	0	0
	国庫支出金	798	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	27	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	令和3年度からの繰越事業を実施 令和3年度8月豪雨災害復旧 農業用施設災害復旧事業（富田）
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	A	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	借入金元金償還経費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいをついに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	03 戦略的な自治体経営の推進
担当所属	400101 企画財政課・企画財政係・企画財政係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	110101 公債費・公債費・元金

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	村債の元金償還金。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	元金償還金残高						単位	千円
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	2,237,089	2,590,745						
活動	指標名	交付税措置見込額（概算）						単位	千円
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	1,822,891	1,818,726						
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・地方債償還金（元金） 323,944千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	323,944	298,594	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	323,944	298,594	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○実質公債費比率は概ね横ばいに推移している。また、交付税措置率の高い地方債を借り入れていることもあり、将来負担比率はマイナスである。
村民等からの意見等	
今後の課題	○今後、大型事業が計画されているなか、将来世代への著しい負担とならないよう、計画的に地方債を発行する。 ○地方債を発行する際は、なるべく交付税措置率の高い地方債の借入れを行えるようにする。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由 引き続き適正な起債運用を行っていく

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	借入金利子償還経費	
総合計画	基本目標	06 行財政・村民参加／村民と行政がおもいをついに協働と戦略的経営を進めるむら
	施策	03 戦略的な自治体経営の推進
担当所属	400101 企画財政課・企画財政係・企画財政係	
予算科目	会計	01 一般会計
	科目	110102 公債費・公債費・利子

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	村債の利子償還金。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	元金償還金残高（一般会計債）						単位	千円
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	2,237,089	2,590,745						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・地方債償還金（利子） 4,259千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	4,259	7,202	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	4,259	7,202	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○利率の低い財政融資資金や市町村振興協会からの借入を積極的に行った。
村民等からの意見等	
今後の課題	○民間資金・公的資金ともに利率が下がっていることから、民間資金・公的資金のバランスに配慮しながら借入れを行っていく必要がある。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続 判断理由 引き続き適正な起債運用を行っていく
--------	------------------------------------------

令和4年度 喬木村国民健康保険特別会計

わかりやすい決算書

令和4年度 喬木村国民健康保険特別会計 主要事業の執行状況を別紙のとおり報告します。

令和5年9月6日

喬木村長 市瀬 直史

1. 国保運営協議会の開催状況

(1) 国保運営協議会

開催月日	審議事項
令和4年6月1日	・ 令和4年度喬木村国民健康保険税税率について
令和4年9月13日	・ 喬木村第5次総合計画施策評価について（書面）
令和5年3月6日	・ 令和4年度国保事業状況報告について

(2) 研修会

コロナのため中止	・ 国民健康保険運営協議会委員等研修会（資料のみ配付）
----------	-----------------------------

2. 国保被保険者数の状況

(1) 加入率及び構成割合

(単位：人%)

年度	世帯数			人口			国保被保険者			
	総世帯数	国保加入世帯数	加入率	総人口	国保加入被保険者数	加入率	一般		退職	
							被保険者数	構成割合	被保険者数	構成割合
H29年度	2,152	813	37.8	6,463	1,377	21.3	1,354	98.3	23	1.7
H30年度	2,141	781	36.5	6,369	1,312	20.6	1,306	99.5	6	0.5
R1年度	2,145	747	34.8	6,302	1,232	19.5	1,230	99.8	2	0.2
R2年度	2,131	743	34.9	6,173	1,227	19.9	1,227	100.0	0	0.0
R3年度	2,133	743	34.8	6,064	1,207	19.9	1,207	100.0	0	0.0
R4年度	2,157	746	34.6	6,029	1,193	19.8	1,193	100.0	0	0.0

※各年度未現在

3. 財政の状況

(1) 令和4年度収支決算の状況

[歳入]

(単位：円%)

科目	決算額	割合	被保険者1人当り金額	前年比	
保険税	107,430,300	18.5	90,051	100.5	
国庫支出金	6,000	0.0	5	2.8	
県支出金	普通交付金	415,105,043	71.4	347,951	125.5
	特別交付金				
	保険者努力支援分	5,527,000	1.0	4,633	101.2
	特別調整交付金分	1,075,000	0.2	901	83.1
	県繰入金	410,000	0.1	344	65.2
	特定健診等負担金	1,934,000	0.3	1,621	100.8
	小計	8,946,000	1.5	7,499	96.2
小計	424,051,043	73.0	355,449	124.7	
繰入金	保険基盤安定	26,224,146	4.5	21,982	103.6
	その他	6,748,924	1.2	5,657	104.5
小計	32,973,070	5.7	27,639	103.8	
基金繰入金	0	0.0	0	-	
前年度繰越金	12,926,193	2.2	10,835	82.2	
その他収入	3,671,680	0.6	3,078	101.9	
合計	581,058,286	100.0	487,056	115.14	

[歳出]

(単位：円%)

科目	決算額	割合	被保険者1人当り金額	前年比	
総務費	4,260,572	0.8	3,571	94.2	
保険給付費	療養給付費	355,408,736	62.8	297,912	121.3
	療養費	3,045,437	0.5	2,553	74.1
	高額療養費	55,528,900	9.8	46,546	146.3
	移送費	0	0.0	0	-
	出産育児諸費	420,000	0.1	352	33.7
	葬祭費	250,000	0.0	210	84.2
	結核精神給付金	904,967	0.2	759	98.8
	審査支払手数料	1,146,256	0.2	961	101.2
	小計	416,704,296	73.6	349,291	123.0
	国保事業費納付金	131,955,512	23.3	110,608	105.9
保健事業費	8,906,065	1.6	7,465	105.0	
基金積立金	69,519	0.0	58	0.6	
保険給付費等交付金償還金	3,057,925	0.5	2,563	88.7	
その他支出	1,230,200	0.2	1,031	112.0	
合計	566,184,089	100.0	474,589	115.1	

[歳入歳出差引]

(単位：円)

	歳入総額	歳出総額	差引
令和3年度	510,555,698	497,629,505	12,926,193
令和4年度	581,058,286	566,184,089	14,874,197

4. 国民健康保険税の状況

国民健康保険税の収納状況

区分		調定額	収納額	不能欠損額	未納額	収納率	収納率 前年比
一般被保険者分	現年度分	107,447,000	105,119,000	0	2,328,000	97.8%	-0.9%
	滞納繰越分	5,820,300	2,311,300	172,700	3,336,300	39.7%	14.3%
	計	113,267,300	107,430,300	172,700	5,664,300	94.8%	0.4%
退職被保険者分	現年度分	0	0	0	0	-	0.0%
	滞納繰越分	0	0	0	0	-	0.0%
	計	0	0	0	0	-	0.0%
合計	現年度分	107,447,000	105,119,000	0	2,328,000	97.8%	0.9%
	滞納繰越分	5,820,300	2,311,300	172,700	3,336,300	39.7%	14.3%
	計	113,267,300	107,430,300	172,700	5,664,300	94.8%	0.4%

5. 喬木村の国保医療費の状況【一般分】

(1) 一人あたり医療費・調定額及び基金保有額の推移

(国保連資料より R 4 は速報値)

年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度
一人あたり医療費	300,517円	284,472円	331,018円	339,449円	317,544円	336,902円	325,088円	333,941円	331,856円	395,948円
県内順位	44位	66位	39位	37位	56位	53位	63位	54位	64位	35位
一人あたり保険料	76,424円	79,883円	78,096円	91,755円	91,617円	91,485円	93,357円	87,066円	85,931円	83,237円
基金保有額	1千円	1千円	1千円	30,001千円	90,001千円	90,119千円	90,251千円	110,376千円	121,452千円	121,521千円

(2) 療養の給付費等内訳 (一般分)

		件数 (件)	日数 (日)	費用額 (円)	1件あたり 費用額 (円)	前年度1件あたり 費用額 (円)	前年比 (%)
診療費	入院	240	3,178	165,347,640	688,949	661,701	104.1%
	入院外	11,072	14,821	194,740,280	17,589	14,430	121.9%
	歯科	2,299	4,127	28,031,160	12,193	12,464	97.8%
	小計	13,611	22,126	388,119,080	28,515	23,782	119.9%
調剤		6,287	7167枚	77,501,590	12,327	11,036	111.7%
食事療養・生活療養 (再掲)		(229)	(8,308回)	5,642,551	24,640	24,705	99.7%
訪問看護		82	502	5,223,580	63,702	48,761	130.6%
合計		19,980	22,628	476,486,801	23,848	20,106	118.6%

(3) 高額療養費の推移 (一般分)

年度	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	前年比 (%)
件数(件)	663	637	711	873	122.8%
費用額 (円)	37,701,662	40,560,308	38,399,294	55,528,900	144.6%

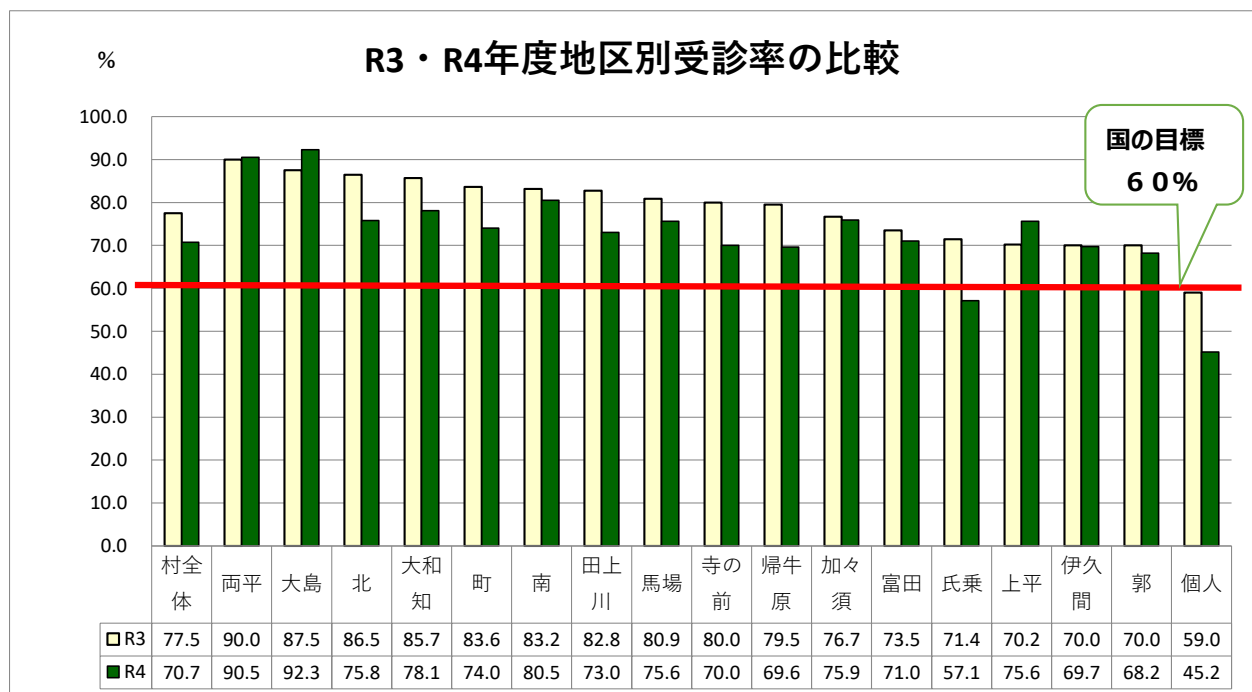
特定健診地区別の受診状況 令和4年度途中経過（R5.7月現在）

対象者：国保加入者 40～74才

: 受診率60%に達した地区

順位	R3年度		R4年度			
	地区名	%	地区名	%	対象者	受診者数
1	両平	90.0%	大島	92.3%	13	12
2	大島	87.5%	両平	90.5%	21	19
3	北	86.5%	南	80.5%	87	70
4	大和知	85.7%	大和知	78.1%	32	25
5	町	83.6%	加々須	75.9%	29	22
6	南	83.2%	北	75.8%	91	69
7	田上川	82.8%	上平	75.6%	45	34
8	馬場	80.9%	馬場	75.6%	45	34
9	寺の前	80.0%	町	74.0%	73	54
10	帰牛原	79.5%	田上川	73.0%	63	46
11	加々須	76.7%	富田	71.0%	100	71
12	富田	73.5%	寺の前	70.0%	10	7
13	氏乗	71.4%	伊久間	69.7%	119	83
14	上平	70.2%	帰牛原	69.6%	46	32
15	伊久間	70.0%	郭	68.2%	22	15
16	郭	70.0%	氏乗	57.1%	28	16
17	個人	59.0%	個人	45.2%	104	47
	村全体	77.5%	村全体	70.7%	928	656

R3年度:対象者881人 受診者683人



【令和5年度 喬木村保健計画】

令和5年4月作成

社会保障制度改革推進法

消費税増税

医療制度改革

医療と介護の適正化 目標

保健事業実施計画
(データヘルス計画)
(総論)
平成27年3月

(平成26年度)保健事業指針を10年ぶりに改正
計画策定手引きの提示

データヘルスを
医療保険各法で明確化(告示→法制化へ)

厚労省
保険局 健康局

KDB
(国保データベース)

※同規模：全国人口規模での区分。
喬木村は
人口5,000人以上10,000人未満
全国244町村平均と比較。

R3年度

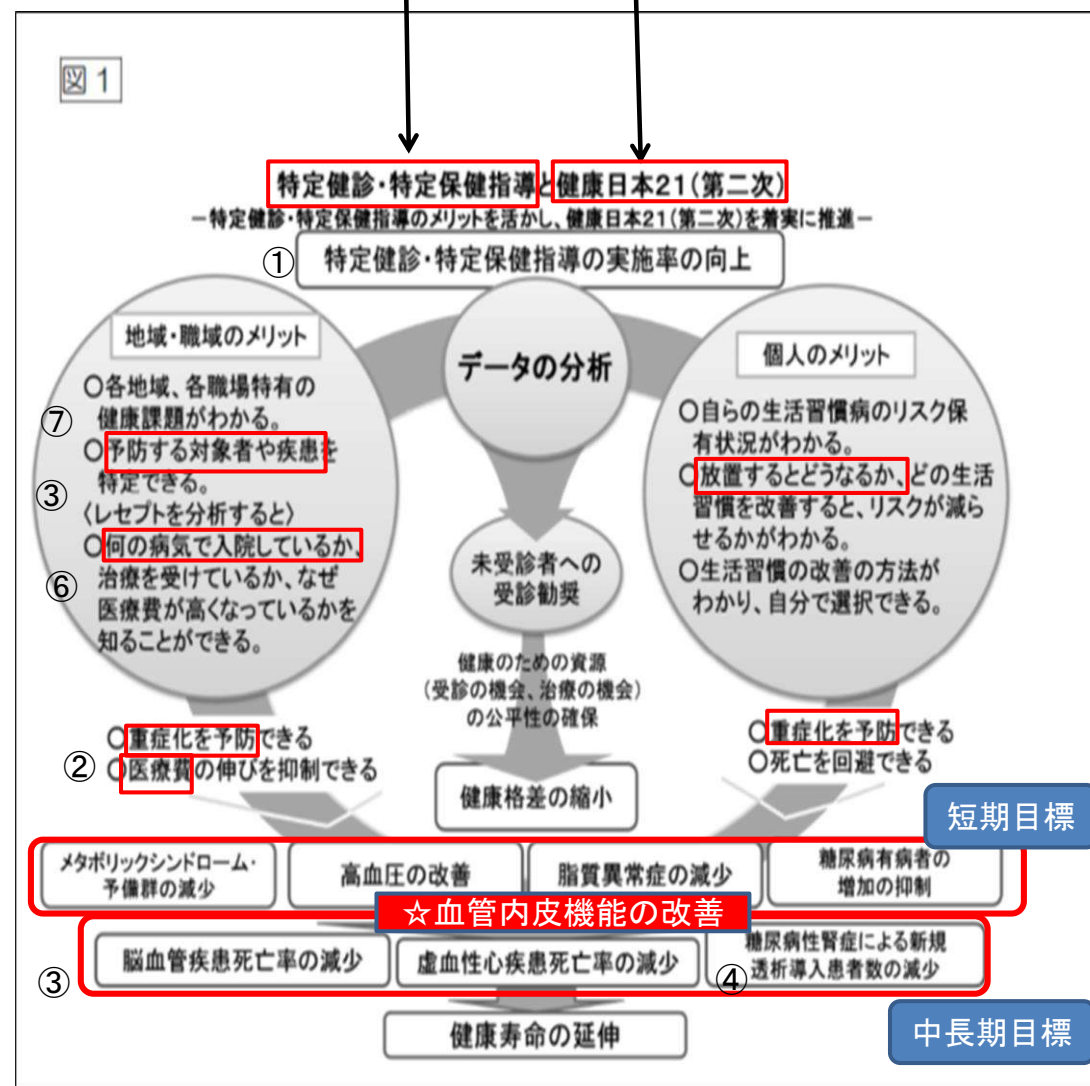
① 健診	喬木村	同規模	県
特定健診受診率	77.5% 1位	44.7%	45.5%
保健指導実施率	90%	46.3%	53.2%
メタボ該当者割合	21.9%	21.5%	19.2%

R4年度

② 医療	喬木村	同規模	県
1人当たり医療費 (1ヶ月)	29,716 円	30,325 円	27,326 円
全国同規模	137位/244町村		
県	18位/77町村		

③ 高額になる疾患の状況(予防可能な疾患について)
(1件80万円以上レセプトの内訳)

	人数	件数	費用額	脳血管疾患	虚血性心疾患
R3	31人	61件	8466万円	5件 853万円	1件 92万円
R4	50人	96件	1億4577万円	3件 575万円	1件 218万円



⑥ 医療費 国保レセプト分析(R3年)

(5月診療分、40-74歳について)

・生活習慣病治療者：被保険者の生活習慣病治療者数
・割合：生活習慣病治療者に対する各疾患治療者の割合

生活習慣病治療者	脳血管疾患	虚血性心疾患	糖尿病性腎症	
530人	67人 12.6%	48人 9.1%	39人 7.4%	
の基礎 な り 患	高血圧	53人 79.1%	41人 85.4%	27人 69.2%
	糖尿病	21人 31.3%	22人 45.8%	39人 100.0%
	脂質異常症	41人 61.2%	33人 68.8%	29人 74.4%
高血圧症	糖尿病	脂質異常症	高尿酸血症	
316人 59.6%	134人 25.3%	262人 49.4%	65人 12.3%	

参考)血圧基準

外来血圧値 (高血圧治療ガイドライン 2019/日本高血圧学会)	正常		保健指導	受診勧奨判定値		
	正常	正常高値	高値血圧	軽症 (I度)	中等症 (II度)	重症 (III度)
収縮期	~120	120~129	130~139	140~159	160~179	180~
拡張期	~80	~80	80~89	90~99	100~109	110~

④ 人工透析患者の比較

R2年度

	喬木村 (国保)	市町村国保
透析導入者数 (被保険者千当たり)	2.43 (55位/77町村)	3.96
新規透析導入者数 (被保険者千当たり)	0.81↑ (16位/77町村)	0.40

喬木村の課題

- 生活習慣病の治療では、約6割が高血圧症治療中であり、脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の基礎疾患である。また、高額医療費も脳血管疾患が多く、人工透析新規も県内上位である。
- メタボ該当者割合は県より高く、21.9%(前年19.7%)である。内臓脂肪の蓄積は、高血糖、脂質異常、血圧高値を合併し、脳・心・腎の血管疾患の発症につながり易

R4年度

⑤ 介護	喬木村	同規模	県
1号認定率	16.9%	19.4%	17.7%
2号認定率 (40-64歳)	0.2%	0.4%	0.3%
1件当たり介護給付費 (円)	64,581	74,989	62,434

★ 対策

- 高血圧症の改善：Ⅱ度以上の高血圧者の①未治療者②コントロール不良者への定期的訪問による支援(保健師)
- 高血糖の改善：①HbA1c6.5以上の未治療者②HbA1c7.0以上のコントロール不良者への定期的訪問による支援(栄養士)
- メタボ該当者の改善に向け、肥満台帳を作成し、生活実態把握と改善に向け、訪問を実施
- 上記対象者の他、重症化予防対象者(R4途中205人)にも訪問を実施。

★ ⑦ 特定健診結果

高血圧	R2	R3	高血糖	R2	R3		
I度高血圧以上 (割合)	165 (23.2%)	192 (27.1%)↑	HbA1c6.5以上 (割合)	63人 (9.3%)	72人 (10.7%)↑		
再掲	II度高血圧	21人 (3.0%)	25人 (3.5%)↑	再掲	7.0~7.9% (割合)	22人 (3.2%)	29人 (4.3%)↑
	未治療	11人 (52.3%)	11人 (44.0%)		未治療	3人 (13.6%)	4人 (13.6%)
再掲	III度高血圧	5人 (0.7%)	3人 (0.4%)	再掲	8.0%以上 (割合)	4人 (0.6%)	6人 (0.9%)↑
	未治療	2人 (40.0%)	2人 (66.7%)		未治療	1人 (25.0%)	2人 (33.3%)

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	特定健康診査等事業費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	01 村民の健康づくりの推進
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	02 国民健康保険特別会計
	科目	040101 保健事業費・特定健康診査等事業費・特定健康診査等事業費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	40歳から74歳の被保険者に対して実施する特定健康診査等の実施費用	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	特定健診受診率						単位	%
	説明	R3年度法定報告確定：R4年10月							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	79.9	77.5						
成果	指標名	メタボリックシンドローム該当者の割合（特定健診受診者）						単位	%
	説明	R3年度法定報告確定：R4年10月							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	19.7	21.8						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬 保健師報酬 2,400千円 ・委託料 健診委託料 3,970千円 運動指導士委託料 146千円 ・使用料 保健指導用教材 14千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費	6,840	8,017	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	6,023	5,601	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	817	2,416	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診受診率は77.5%(県内1位)で、総合計画目標値の76.8%を上回った。 ○受診結果をもとに、特定保健指導対象者・重症化予防対象者に保健指導を実施した。 ○特定保健指導終了率は90.4%で、総合計画目標値の92.6%には到達しなかった。 ○健診結果を基に選定した対象者に対して、運動指導士による減量プログラムを実施、13人中9人(69.2%)が腹囲か体重のいずれかが改善した。
村民等からの意見等	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診の新規対象者(年度末40歳、新規国保加入者)に対して受診勧奨を行い、受診率を維持する。また、健診未受診者に対しては、地区担当保健師が個別訪問などで健診の必要性を伝えて、受診率向上を目指す。 ○健診受診者のうち、重症化予防対象者を明確にし、健診結果の改善を目指して保健指導を実施する。 ○特定保健指導指導率の低い60歳～64歳男性、50歳～54歳男性を重点的に、対象者と担当者を明確にして実施する。 ○メタボリックシンドローム該当者・予備群に加えて改善しやすいBMI 23以上に対して、減量プログラム事業の周知を行い、参加を促す。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	保健衛生普及費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	01 村民の健康づくりの推進
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	02 国民健康保険特別会計
	科目	040201 保健事業費・保健事業費・保健衛生普及費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	国保の広報、レセプト点検や医療費通知等の費用	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	ジェネリック医薬品の使用割合（数量ベース）						単位	%
	説明	医薬品に占める後発医薬品の使用割合を高める（年度末）							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	84	81.9						
活動	指標名	後発医薬品広報実施回数						単位	回
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	3	3						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 委託料 レセプト点検委託 158千円 医療費通知作成委託 45千円 郵送料 保険証等郵送料 84千円 需用費 追録代等 470千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	757	996	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	159	307	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	598	689	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○ジェネリック使用割合については、前年度より減少しているが目標値は上回っている。 ○医療費通知の発送を年3回行った。 ○ジェネリック医薬品の利用差額通知の発送を年2回行った。 ○保険証更新時にジェネリック医薬品使用勧奨シールの配布を行った。
村民等からの意見等	
今後の課題	○ジェネリック医薬品使用率は目標を達しているが、さらなる周知を実施していく必要がある。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	疾病予防費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	01 村民の健康づくりの推進
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	02 国民健康保険特別会計
	科目	040202 保健事業費・保健事業費・疾病予防費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	受診結果に伴う生活習慣病等の早期発見、早期治療の啓発	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	人間ドック受診助成者数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	126	126						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・負担金 人間ドック助成金 1,310千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	1,310	1,350	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1,310	1,350	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<p>○人間ドック受診者への助成については、126人（前年同数）に行った。</p> <p>○コロナ禍の影響が緩和されたことに因ると思われるが、受診数は維持されている。</p>
村民等からの意見等	
今後の課題	○引き続き制度の周知を行い、受診助成対象者数の増加を図る。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規 完了 実計対象 評価対象 施策対象

事務事業名	一般管理費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
	担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係
予算科目	会計	02 国民健康保険特別会計
	科目	010101 総務費・総務管理費・一般管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	国保運営に関する一般経費	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・委託料 電算委託料 220千円 システム改修委託 534千円 保険証作成委託料 343千円 国保連業務委託料 497千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	1,737	1,331	0	0	0	0
	国庫支出金	6	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	91	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	1,111	1,313	0	0	0	0
	一般財源	529	18	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○システム委託料、被保険者証作成委託料等が主な費用である。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規 完了 実計対象 評価対象 施策対象

事務事業名	連合会負担金	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	02 国民健康保険特別会計
	科目	010102 総務費・総務管理費・連合会負担金

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	国民健康保険団体連合会への負担金	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

指標名	説明	単位					
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		実績値					
指標名		単位					
説明		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
実績値							
指標名		単位					
説明		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
実績値							
指標名		単位					
説明		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
実績値							

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・連合会負担金 305 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	305	315	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	305	315	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○負担金 平等割 112千円 被保険者割 131千円 事業割 62千円
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	Z	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	賦課徴収費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
	担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係
予算科目	会計	02 国民健康保険特別会計
	科目	010201 総務費・徴税费・賦課徴収費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	国保税の賦課徴収に関する費用。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	収納率（現年度分）						単位	%
	説明	事業年報より							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	98.7	97.8						
成果	指標名	収納率（過年度分）						単位	%
	説明	事業年報より							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	25.4	39.7						
成果	指標名	滞納額（現年度分）						単位	円
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	1,405,900	2,155,300						
成果	指標名	滞納額（過年度分）						単位	円
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	4,608,600	3,509,000						

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・需用費 納税通知等用紙代 144千円 ・役務費 口座振替手数料 69千円 ・委託料 電算委託料 1,785千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費		2,106	2,197	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	2,106	2,197	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<p>○収納率 現年度分 97.83%（前年度比 ▲0.87%） 過年度分 39.71%（前年度比 +14.30%）</p> <p>○現年度分については、収納率が大幅に下がってしまった。</p> <p>○過年度分については、大幅に上昇した。</p> <p>滞納者が固定化されているが、分納誓約を結ぶなどし、確実な納付に繋げている。</p>
村民等からの意見等	
今後の課題	○短期証の発行などにより、滞納者との定期的な接触を図り、納付に繋げる。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規 完了 実計対象 評価対象 施策対象

事務事業名	運営協議会費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
	担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係
予算科目	会計	02 国民健康保険特別会計
	科目	010301 総務費・運営協議会費・運営協議会費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	国保運営の内容を審議する協議会に関する費用。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

指標名	説明	単位					
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		実績値					

指標名	説明	単位					
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		実績値					

指標名	説明	単位					
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		実績値					

指標名	説明	単位					
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		実績値					

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・委員報酬 64千円 ・消耗品費（国保新聞）51千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	115	199	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	115	199	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○国保運営協議会を2回開催した。税率については諮問どおり据置で承認いただいた。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	一般被保険者療養給付費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	02 国民健康保険特別会計
	科目	020101 保険給付費・療養諸費・一般被保険者療養給付費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	
事業概要	一般被保険者の医療費（保険者負担分）	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	1人あたりの医療費（一般）（全体）						単位	円
		説明	R4は速報値						
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	331,856	395,948						
活動	指標名	療養給付費受診件数						単位	件
	説明	事業年報より							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	19,825	19,980						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・負担金 335,401千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	355,401	330,000	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	355,401	330,000	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○対前年度比 13.12%の増加 ○一人あたりの医療費は、19.31%の増加 100万円以上の件数は81件となり、前年比30件増と大幅に増加した。 ○全体の件数も伸び、高額な治療を必要な方もいらっしやったため、費用は大幅に伸びた。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

評価項目	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	
施策への貢献度				A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準				事業費・人件費の水準は適正か
				A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法				事業方法は適正か
				A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性				受益の公平性と負担の適正化は図られているか
				Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規 完了 実計対象 評価対象 施策対象

事務事業名	退職被保険者等療養給付費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	02 国民健康保険特別会計
	科目	020102 保険給付費・療養諸費・退職被保険者等療養給付費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	退職被保険者の医療費（保険者負担分）	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	1人あたりの医療費（退職）（全体）						単位	円
	説明	R3は速報値							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	0	0						
活動	指標名	療養給付費（退職）件数						単位	件
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	0	0						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・負担金 0千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	0	1	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	1	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○対象となる退職被保険者がいないため実績なし。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	一般被保険者療養費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
	担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係
予算科目	会計	02 国民健康保険特別会計
	科目	020103 保険給付費・療養諸費・一般被保険者療養費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	一般被保険者の柔整等の医療費（保険者負担分）	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	1 人あたりの医療費（一般）（療養費）						単位	円
	説明	事業年報÷被保数							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	3,445	3,401						
活動	指標名	療養費件数						単位	件
	説明	事業年報より							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	745	616						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・負担金 3,054 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	3,054	3,600	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	3,054	3,600	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○対前年度比 26.67%の減少 ○一人あたりの医療費も、1.27の減少 ○柔道整復の受診件数が大幅に減少したことにより、費用額が減少した。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規 完了 実計対象 評価対象 施策対象

事務事業名	審査支払手数料	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
	担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係
予算科目	会計	02 国民健康保険特別会計
	科目	020105 保険給付費・療養諸費・審査支払手数料

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	医療費請求の集計や内容審査等の手数料	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	支払審査件数（療養給付費）						単位	件
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	19,825	19,980						
活動	指標名	支払審査件数（療養費）						単位	件
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	688	558						
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・負担金（審査支払手数料）1,133 千円 ・手数料 1 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	1,147	1,337	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	1,146	1,335	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1	2	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○件数 審査支払（療養給付費） 19,980件（対前年度比 155件の増加） 審査支払（療養費） 558件（対前年度比 130件の減少）
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	一般被保険者高額療養費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	02 国民健康保険特別会計
	科目	020201 保険給付費・高額療養費・一般被保険者高額療養費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	一般被保険者の高額療養費	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	1人あたり的高額医療費（一般）						単位	円
	説明	事業年報÷被保数							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	31,813	45,892						
活動	指標名	高額療養費（一般）件数						単位	件
	説明	事業年報							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	711	873						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・負担金 55,529千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	55,529	48,000	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	55,529	48,000	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○対前年度比 44.61%の増加 ○一人あたりの高額医療費 44.26%の増加 100万円以上の件数も81件となり、前年度比30件増加している。 ○高額な治療を必要とする方が多く、医療費が上昇した。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	出産育児一時金	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	02 国民健康保険特別会計
	科目	020401 保険給付費・出産育児諸費・出産育児一時金

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	被保険者の出産に対して支給する一時金	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	出産育児一時金対象者数						単位	件
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	3	1						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・ 出産育児一時金 420千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	420	2,500	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	1,691	0	0	0	0
	一般財源	420	809	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○対前年度比 2件の減 ○件数 1件
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	葬祭費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	02 国民健康保険特別会計
	科目	020501 保険給付費・葬祭諸費・葬祭費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	被保険者の方が亡くなられた場合に支給される費用。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	支給対象件数						単位	件
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	6	5						
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・葬祭費 250 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	250	500	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	250	500	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○対前年度比 1件減 ○件数 5件
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	結核精神給付金	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	02 国民健康保険特別会計
	科目	020601 保険給付費・結核精神諸費・結核精神給付金

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	結核・精神通院が必要な方への給付金。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	支給対象件数						単位	件
	説明	事業年報より							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	852	868						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・負担金 結核精神給付金 882千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	882	960	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	882	960	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○費用額 4.85%の減少（前年比） ○件数 868件（前年比 16件の増加）
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	一般被保険者医療給付費分	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	02 国民健康保険特別会計
	科目	030101 国民健康保険事業費納付金・医療給付費分・一般被保険者医療給付費分

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	
事業概要	村から県への納付金（一般医療分）	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	一人あたりの納付金額（一般医療分）						単位	円
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	67,876	71,138						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・負担金（納付金） 86,078千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	86,078	82,565	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	2,673	2,681	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	19,533	24,581	0	0	0	0
	一般財源	63,872	55,303	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○税率を据え置いたが、不足することなく納付することが出来た。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	一般被保険者後期高齢者支援金等	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	02 国民健康保険特別会計
	科目	030201 国民健康保険事業費納付金・後期高齢者支援金等分・一般被保険者後期高齢者支援金等分

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	
事業概要	村から県への納付金（一般後期支援分）	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	一人あたりの納付金額（一般後期支援分）						単位	円
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	27,413	28,053						
	指標名							単位	
	説明	一般後期支援分÷年度平均一般被保数							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・負担金（納付金） 33,945千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	33,945	37,941	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	7,458	7,460	0	0	0	0
	一般財源	26,487	30,481	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○税率を据え置いたが、不足することなく納付することが出来た。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	介護納付金分	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	02 国民健康保険特別会計
	科目	030301 国民健康保険事業費納付金・介護納付金分・介護納付金分

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	
事業概要	村から県への納付金（介護分）	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	一人あたりの納付金額（介護納付金分）						単位	円
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	介護納付金÷年度平均被保険者	9,132	9,801						
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・負担金（納付金） 11,859 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	11,859	12,527	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	2,369	2,368	0	0	0	0
	一般財源	9,490	10,159	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○税率を据え置いたが、不足することなく納付することが出来た。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規 完了 実計対象 評価対象 施策対象

事務事業名	財政調整基金積立金	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	02 国民健康保険特別会計
	科目	050101 基金積立金・基金積立金・財政調整基金積立金

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	基金への積立金	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	基金残高						単位	千円
	説明	年度末							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	121,451	121,521						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・基金積立金 70千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	70	71	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	70	0	0	0	0
	一般財源	70	1	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○70千円を積み増すことができた。
村民等からの意見等	
今後の課題	○税率の統一を見据え、被保険者の負担が急激に増えることの無いよう、税率の設定と基金の活用について検討する必要がある。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規 完了 実計対象 評価対象 施策対象

事務事業名	公債費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
	担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係
予算科目	会計	02 国民健康保険特別会計
	科目	060101 公債費・公債費・利子

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	一時借入金の利子償還のための費用。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

指標名	説明	単位					
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		実績値					

指標名	説明	単位					
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		実績値					

指標名	説明	単位					
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		実績値					

指標名	説明	単位					
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		実績値					

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・公債費 0千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	0	1	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	1	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○実績なし
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規 完了 実計対象 評価対象 施策対象

事務事業名	一般被保険者保険税還付金	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
	担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係
予算科目	会計	02 国民健康保険特別会計
	科目	070101 諸支出金・償還金及び還付加算金・一般被保険者保険税還付金

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	一般被保険者への保険税還付金	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	還付件数						単位	件
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	17	10						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・還付金 1,149千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	1,149	1,000	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	1,149	1,000	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○還付件数 10件（前年度比 7件減）
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規 完了 実計対象 評価対象 施策対象

事務事業名	その他償還金	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
	担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係
予算科目	会計	02 国民健康保険特別会計
	科目	070104 諸支出金・償還金及び還付加算金・その他償還金

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	療養給付費等の精算による返還金等	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 令和 3 年度分普通交付金返還金 3,058 千円 令和 2 年度分納付金精算金 82 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	3,140	1	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	3,140	1	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	・概算で交付を受けた交付金の精算を行った。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

■新規 □完了 ■実計対象 ■評価対象 ■施策対象

事務事業名	傷病手当金	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	06 社会保障の充実
	担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係
予算科目	会計	02 国民健康保険特別会計
	科目	020701 保険給付費・傷病手当金・傷病手当金

1. 事務事業の概要

事業期間		R3評価結果	
事業概要	国保加入者のうち、被用者に対してコロナ感染による傷病手当金を支給する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	傷病手当金支給対象者						単位	人
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値		1						
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	・扶助費 傷病手当金 24千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	24	0	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	24	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	・国保に加入している被用者に対して、コロナ感染に対する傷病手当金を支給した。 対象者 1名
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
			A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
			A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
			A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
			Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	5：終了
	判断理由 コロナの影響を鑑み、令和4年度で終了。

令和4年度 喬木村後期高齢者医療特別会計

わかりやすい決算書

令和4年度 喬木村後期高齢者医療特別会計 主要事業の執行状況を別紙のとおり報告します。

令和5年9月6日

喬木村長 市瀬 直史

1. 後期高齢者医療被保険者数 (令和5年3月末)

被保険者数	65歳～74歳 (障害認定)
1,282	(再掲) 27

2. 医療費の状況 (年間集計)

(単位：円)

総医療費	医療給付費	うち		葬祭費		対象人員 (平均)	1人当たり 医療費
		7割分	9割分	金額	件数		
974,131,118	902,146,463	20,194,245	881,952,218	3,800,000	76	1,263	771,284
		3割負担者数	1割負担者数				前年度比 (%)
		46	1,217				96%

医療給付費内訳				
療養給付費	訪問看護費	療養費	高額療養費	高額介護合算療養費
883,402,441	2,086,425	9,351,315	6,463,675	842,607

3. 後期高齢者医療保険料の状況

(単位：円 %)

区分	調定額	収納額	未納額	収納率
特別徴収分	42,944,000	42,944,000	0	100.0
普通徴収分	20,027,400	20,019,200	8,200	99.96
滞納繰越分	16,900	16,900	0	100.0
合計	62,988,300	62,980,100	8,200	99.99

4. 財政の状況

(単位：円 % 円)

歳入	区分	決算額	割合	対象者1人当たり金額	前年比
		後期高齢者医療保険料	62,980,100	71.5	49,126
	使用料及び手数料	4,300	0.0	3	111.8%
繰入金	事務費繰入金	987,986	1.1	771	97.1%
	広域連合事務費繰入金	3,098,979	3.5	2,417	99.2%
	保険基盤安定繰入金	20,939,832	23.8	16,334	101.9%
	繰越金	29,000	0.0	23	73.0%
	諸収入	22,900	0.0	18	127.6%
	合計	88,063,097	100.0	68,692	99.9%

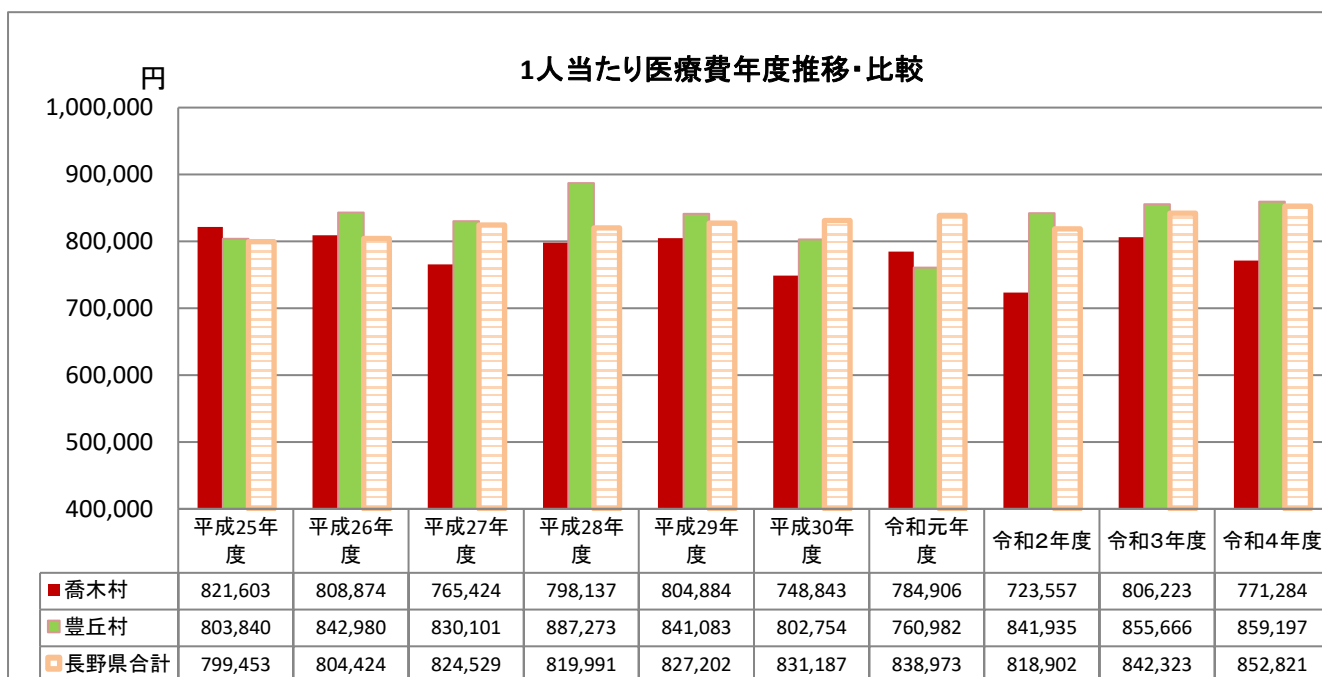
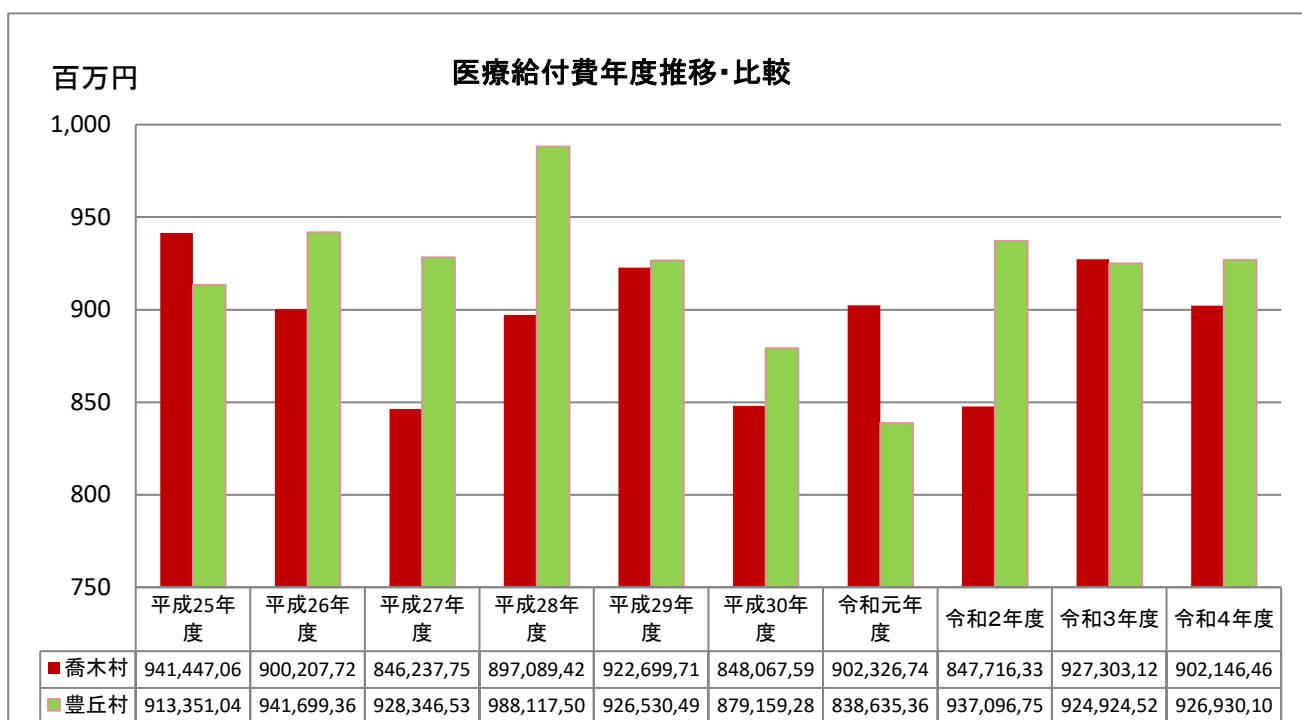
歳出	区分	決算額	割合	対象者1人当たり金額	前年比
		一般管理費	987,986	1.1	771
負担金	保険料	62,878,600	71.5	49,047	99.2%
	保険基盤安定負担金	20,939,832	23.8	16,334	101.9%
	広域連合負担金(事務費)	3,098,979	3.5	2,417	99.2%
	保険料還付金	22,900	0.0	18	38.0%
	保険料還付加算金	0	0.0	0	±0
	一般会計繰出金	0	0.0	0	±0
	合計	87,928,297	100.0	68,587	100.4%

歳入歳出差引	区分	決算額
	歳入合計	88,063,097
	歳出合計	87,928,297
	歳入歳出差引	134,800

5. 後期高齢 医療費年度推移・比較

(単位：円)

年度	医療給付費			1人当たり医療費		
	喬木村	豊丘村	長野県合計	喬木村	豊丘村	長野県合計
平成25年度	941,447,067	913,351,040	238,382,358,154	821,603	803,840	799,453
平成26年度	900,207,725	941,699,366	241,394,977,495	808,874	842,980	804,424
平成27年度	846,237,758	928,346,530	251,212,063,698	765,424	830,101	824,529
平成28年度	897,089,422	988,117,507	253,876,749,296	798,137	887,273	819,991
平成29年度	922,699,717	926,530,495	260,222,826,365	804,884	841,083	827,202
平成30年度	848,067,596	879,159,282	264,695,535,243	748,843	802,754	831,187
令和元年度	902,326,749	838,635,362	272,475,158,175	784,906	760,982	838,973
令和2年度	847,716,339	937,096,751	268,296,342,158	723,557	841,935	818,902
令和3年度	927,303,126	924,924,523	273,039,340,815	806,223	855,666	842,323
令和4年度	902,146,463	926,930,103	284,708,508,237	771,284	859,197	852,821



令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	一般管理費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
	担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係
予算科目	会計	04 後期高齢者医療特別会計
	科目	010101 総務費・総務管理費・一般管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	後期高齢者医療事業に係わる一般事務費	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 印刷製本費 後期保険証等 90千円 通信運搬費 郵便料 164千円 使用料 後期システム使用料 670千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
	事業費	988	1,119	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	988	1,119	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○適正に事務を行うことができた
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	後期高齢者医療広域連合納付金	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係	
予算科目	会計	04 後期高齢者医療特別会計
	科目	020101 後期高齢者医療広域連合納付金・後期高齢者医療広域連合納付金・後期高齢者医療広域連合納付金

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	長野県後期高齢者医療広域連合へ納付する後期高齢者医療保険料や負担金	評価対応内容	
		問題点・課題等	・加入者増加による納付額の増加見込

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	後期高齢者被保険者						単位	人
	説明	年度末時点の被保険者数（全体）							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	1,263	1,257						
成果	指標名	後期高齢者医療保険料軽減対象者数（基盤安定）						単位	人
	説明	年度末時点の軽減対象の被保険者数（被扶養者）H31で制度改正あり							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	10	11						
成果	指標名	後期高齢者医療保険料軽減対象者数（基盤安定）						単位	人
	説明	年度末時点の軽減対象の被保険者数（区分Ⅰ、区分Ⅱ）							
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	412	411						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 後期高齢者医療保険料 62,879千円 後期高齢者医療保険負担金（基盤安定） 20,940千円 後期高齢者医療広域連合事務費負担金 3,099千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	86,918	91,202	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	86,918	91,202	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○保険料等負担金を納入した。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規 完了 実計対象 評価対象 施策対象

事務事業名	保険料還付金	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
	担当所属	500100 保健福祉課・健康保険係
予算科目	会計	04 後期高齢者医療特別会計
	科目	030101 諸支出金・償還金及び還付加算金・保険料還付金

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	長野県後期高齢者医療保険広域連合へ納付済みの保険料の還付金	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

指標名	説明	単位					
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		実績値					

指標名	説明	単位					
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		実績値					

指標名	説明	単位					
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		実績値					

指標名	説明	単位					
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		実績値					

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・還付金 23 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	23	50	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	23	50	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	・選付 4人
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和4年度 喬木村介護保険特別会計

わかりやすい決算書

令和4年度 喬木村介護保険特別会計 主要事業の執行状況を別紙のとおり報告します。

令和5年9月6日

喬木村長 市瀬 直史

1. 高齢者福祉懇話会・包括支援センター運営協議会の開催状況

(1) 高齢者福祉懇話会・包括支援センター運営協議会

開催年月日	協議事項
第1回 令和5年 3月16日	○第8期介護保険事業計画の進捗状況について ○令和4年度介護保険事業の実施状況について ○令和5年度新規・拡充事業について ○令和5年度介護保険特別会計・地域支援事業予算案について ○高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について

2. 介護保険被保険者の状況

(各年度 年度末現在)

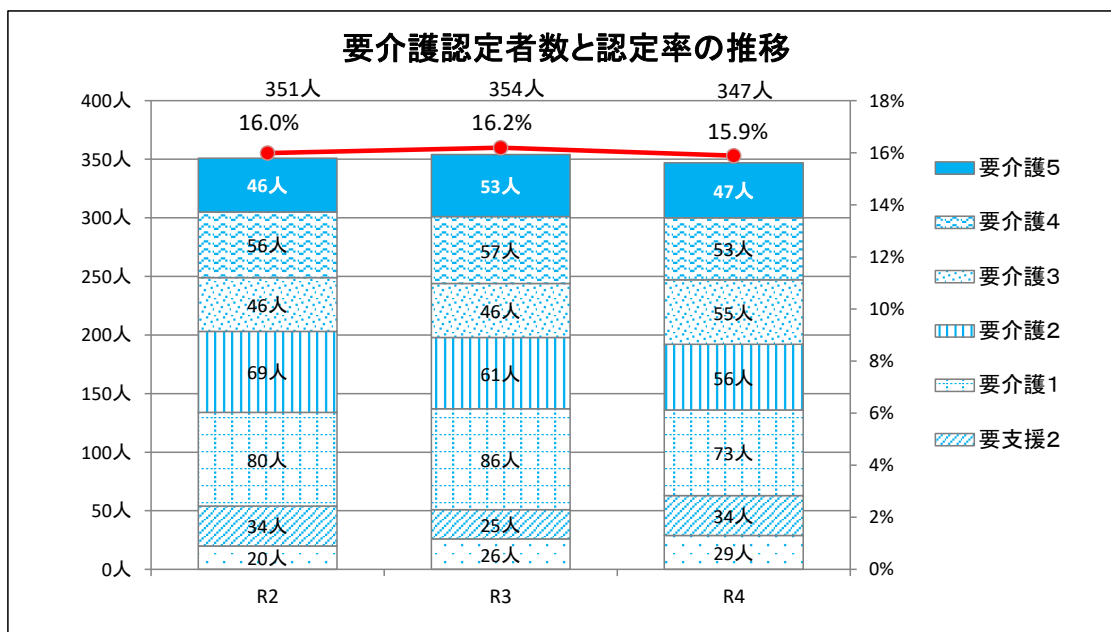
(1) 被保険者の状況 (単位：人)

	R2年度	R3年度	R4年度
世帯数	1,415	1,416	1,415
被保険者数	2,195	2,167	2,184
65～74歳	957	951	923
75歳以上	1,238	1,235	1,261
(再掲)住特者	28	30	27

(2) 要介護(要支援)認定者数の状況

(単位：人)

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
第1号被保険者	28	32	73	56	55	52	47	343
65～74歳	3	2	3	1	6	3	5	23
75歳以上	25	30	70	55	49	49	42	320
第2号被保険者	1	2	0	0	0	1	0	4
総数	29	34	73	56	55	53	47	347



3. 総合事業対象者の状況

(各年度 年度末現在)

(1) 総合事業対象者数の状況

(単位：人)

	R2年度	R3年度	R4年度
事業対象者数※	150	146	147

※事業対象者とは、全国共通の25項目である「基本チェックリスト」により心身の状態を判定するもので、村では事業対象者として認定されれば、介護予防事業(いきいきクラブやヘルパー、配食等)のサービスを利用することができます。

4. 財政の状況

令和4年度 喬木村介護保険特別会計

① 保険事業勘定

[歳入]		(単位：円)		
		R3年度決算額	R4年度決算額	比較
保険料	特別徴収保険料	139,874,890	138,522,800	99.0%
	普通徴収保険料	8,229,320	8,791,360	106.8%
	普通滞納保険料	588,150	256,900	43.7%
使用料及び手数料		2,200	2,400	109.1%
国庫支出金	介護給付費負担金	130,810,555	127,764,096	97.7%
	財政調整交付金	62,034,000	64,722,000	104.3%
	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活総合事業)	7,178,323	5,922,800	82.5%
	地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	8,925,083	8,670,359	97.1%
	事務費交付金	0	0	-
	保険者機能強化推進交付金・保険者努力支援交付金	2,469,000	2,961,000	119.9%
	その他補助金	508,000	144,000	28.3%
支払基金	介護給付費交付金	196,695,567	203,127,000	103.3%
	地域支援事業支援交付金	8,967,231	7,995,000	89.2%
県支出金	介護給付費負担金	103,092,629	113,181,179	109.8%
	財政安定化基金支出金	0	0	-
	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活総合事業)	4,290,125	3,701,750	86.3%
	地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	5,189,636	4,335,179	83.5%
	保険者機能強化推進交付金	790,000	0	0.0%
財産収入		36,079	16,234	45.0%
一般会計繰入金	介護給付費繰入金	90,195,000	92,574,000	102.6%
	総務費に係る繰入金	21,780,000	21,182,000	97.3%
	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活総合事業)	3,344,000	3,563,000	106.5%
	地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	2,743,129	3,168,163	115.5%
低所得者保険料軽減繰入金		6,353,790	6,683,000	105.2%
基金繰入金		0	0	-
繰越金		14,029,371	14,960,886	106.6%
諸収入		218,036	168,000	77.1%
合計		818,344,114	832,413,106	101.7%

[年度末時点 基金残高]

(単位：円)

介護給付費準備基金	69,320,232
-----------	------------

[歳出]		(単位：円)		
		R3年度決算額	R4年度決算額	比較
総務費	総務管理費	18,561,301	17,648,785	95.1%
	徴収費	634,917	679,700	107.1%
	介護認定審査会費	2,816,480	2,721,219	96.6%
	趣旨普及費	223,242	223,683	100.2%
保険給付費	介護サービス等諸費	674,154,438	692,140,450	102.7%
	介護予防サービス等諸費	12,780,032	13,821,172	108.1%
	高額介護サービス諸費	13,662,486	13,408,417	98.1%
	高額医療合算介護サービス諸費	1,448,270	1,985,836	137.1%
	特定入所者介護サービス費	18,853,279	18,617,968	98.8%
	審査支払手数料	664,506	649,020	97.7%
支援地域事業	介護予防・日常生活総合事業費	29,088,029	31,220,463	107.3%
	包括的支援事業・任意事業	20,573,043	20,365,666	99.0%
財政安定化基金拠出金		0	0	-
財政安定化基金償還金		0	0	-
基金積立金		7,036,079	16,234	0.2%
その他支出		2,887,126	4,240,430	146.9%
合計		803,383,228	817,739,043	101.8%

② 介護サービス事業勘定

(単位：円)

		R3年度決算額	R4年度決算額	比較
歳入	予防給付費収入	2,230,230	2,475,000	111.0%
	一般会計繰入金	4,338,871	4,186,837	96.5%
合計		6,569,101	6,661,837	101.4%
歳出	負担金	6,569,101	6,661,837	101.4%

[歳入歳出差引]

(単位：円)

	R3年度決算額	R4年度決算額	比較
歳入総額	824,913,215	839,074,943	101.7%
歳出総額	809,952,329	824,400,880	101.8%
歳入歳出差引	14,960,886	14,674,063	-

5. 介護保険料関係

(1) 介護保険料の収納状況

(単位:円)

区分		調定額	収納額	不納欠損額	未収額	収納率
現年度分	特別徴収	138,522,800	138,522,800			100.0%
	普通徴収	8,898,790	8,791,360	0	107,430	98.8%
	計	147,421,590	147,314,160	0	107,430	99.9%
滞納繰越分	普通徴収	1,535,430	256,900	0	1,278,530	16.7%
合計	特別徴収	138,522,800	138,522,800			100.0%
	普通徴収	10,434,220	9,048,260	0	1,385,960	86.7%
	計	148,957,020	147,571,060	0	1,385,960	99.1%

(2) 近隣市町村の介護保険料の比較(一月あたりの基準額)

(単位:円)

期別	期間	喬木村	豊丘村	松川町	高森町	大鹿村	飯田市	県平均
第1期	平成12~14	2,334	2,367	2,300	2,350	2,142	2,292	2,346
第2期	平成15~17	3,217	2,950	3,000	3,050	2,900	3,380	3,058
第3期	平成18~20	3,700	3,750	3,500	3,800	3,000	3,960	3,882
第4期	平成21~23	3,900	4,300	3,800	4,500	3,200	4,245	4,047
第5期	平成24~26	4,800	5,200	4,300	5,200	3,700	4,997	4,972
第6期	平成27~29	5,900	5,950	4,900	5,750	4,500	5,635	5,399
第7期	平成30~令和2	5,900	5,650	4,900	5,750	5,000	6,088	5,596
第8期	令和3~5	5,750	5,950	5,400	5,600	5,000	5,980	5,623

6. 保険給付の状況

(1) 要介護度別保険者負担状況

総数

(単位:円 令和4年4月~令和5年3月利用分)

区分	件数	費用額	保険者負担額	利用者負担額
総数	11,325	790,791,750	711,360,974	79,430,776
月平均	944	65,899,313	59,280,081	6,619,231

介護度別内訳

(単位:円)

区分	件数	費用額	保険者負担額	利用者負担額	構成比 (費用額)
要支援1	524	5,677,275	5,216,791	460,484	0.7%
要支援2	755	9,503,516	8,610,018	893,498	1.2%
要介護1	2,736	116,143,533	105,209,577	10,933,956	14.7%
要介護2	2,100	131,064,774	117,295,564	13,769,210	16.6%
要介護3	1,802	140,901,886	127,301,709	13,600,177	17.8%
要介護4	1,871	202,682,659	182,187,882	20,494,777	25.6%
要介護5	1,537	184,818,107	165,539,433	19,278,674	23.4%

(2) サービス別の受給状況
 保険給付費の状況（給付額）

【居宅介護サービス】

（単位：円）

給付実績	令和3年度	令和4年度	比較
居宅サービス	302,966,914	289,144,148	95.4%
訪問介護	46,429,480	47,793,763	102.9%
訪問入浴介護	5,895,166	4,502,766	76.4%
訪問看護	14,734,499	14,399,880	97.7%
訪問リハビリテーション	9,002,464	8,021,784	89.1%
居宅療養管理指導	1,928,688	2,006,911	104.1%
通所介護	107,935,855	99,225,500	91.9%
通所リハビリテーション	12,748,415	13,472,512	105.7%
短期入所生活介護	42,590,217	37,223,462	87.4%
短期入所療養介護	22,804,372	26,055,709	114.3%
福祉用具貸与	25,489,502	24,068,733	94.4%
福祉用具購入	842,402	717,153	85.1%
特定施設生活介護	12,565,854	11,655,975	92.8%
地域密着型サービス	74,564,032	76,244,058	102.3%
認知症対応型通所介護	235,377	448,407	190.5%
地域密着型通所介護	28,816,218	28,658,971	99.5%
認知症対応型共同生活介護	45,512,437	47,136,680	103.6%
その他	33,428,914	36,562,403	109.4%
住宅改修費	1,206,074	780,783	64.7%
居宅介護支援	32,222,840	35,781,620	111.0%
施設サービス	263,190,193	290,189,841	110.3%
介護老人福祉施設	138,348,267	140,308,703	101.4%
介護老人保健施設	110,943,371	132,738,315	119.6%
介護療養型医療施設 介護医療院	13,898,555	17,142,823	123.3%
合計	674,150,053	692,140,450	102.7%

【介護予防サービス】

（単位：円）

給付実績	令和3年度	令和4年度	比較
介護予防サービス	9,808,391	10,213,752	104.1%
介護予防訪問看護	0	0	-
介護予防訪問リハビリテーション	523,233	1,275,876	243.8%
介護予防居宅療養管理指導	2,491,461	1,432,413	57.5%
介護予防通所リハビリテーション	246,159	86,364	35.1%
介護予防短期入所生活介護	3,966,363	3,009,625	75.9%
介護予防短期入所療養介護	189,954	1,321,065	695.5%
介護予防福祉用具貸与	106,578	60,660	56.9%
介護予防福祉用具購入	2,062,289	2,680,090	130.0%
介護予防住宅改修	222,354	347,659	156.4%
# 地域密着型サービス	0	0	-
認知症対応型通所介護	0	0	-
地域密着型通所介護	0	0	-
認知症対応型共同生活介護	0	0	-
その他	2,966,126	3,607,420	121.6%
介護予防住宅改修費	718,596	1,078,480	150.1%
介護予防居宅介護支援	2,247,530	2,528,940	112.5%
合計	12,774,517	13,821,172	108.2%

	令和3年度	令和4年度	比較
保険給付費合計	686,924,570	705,961,622	102.8%

【介護予防・日常生活支援総合事業サービス】

（単位：円）

事業費実績	令和3年度	令和4年度	比較
訪問型サービス	1,762,488	2,454,600	139.3%
通所型サービス	15,654,932	16,259,800	103.9%
合計	17,417,420	18,714,400	107.4%

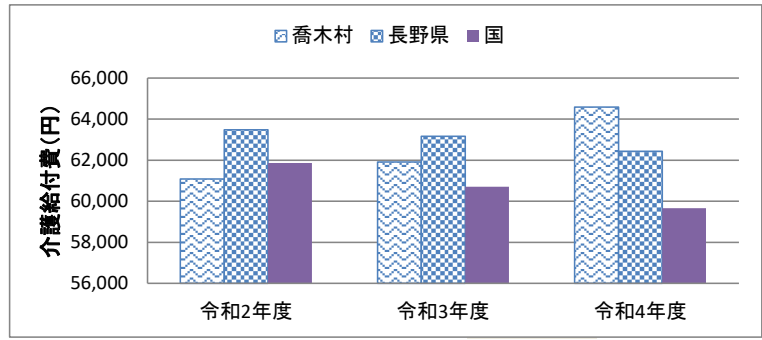
※介護予防・日常生活支援総合事業サービス（総合事業）は保険給付費ではなく地域支援事業費ですが、平成28年度より保険給付費の介護予防訪問介護、介護予防通所介護および介護予防訪問入浴介護が総合事業へ移行しているため、併せて記載しています。

(3) 介護保険 介護給付費推移の比較(利用者1件当たりの金額)

単位(円)

	介護給付費		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
喬木村	61,085	61,909	64,581
長野県	63,476	63,158	62,434
国	61,864	60,703	59,662

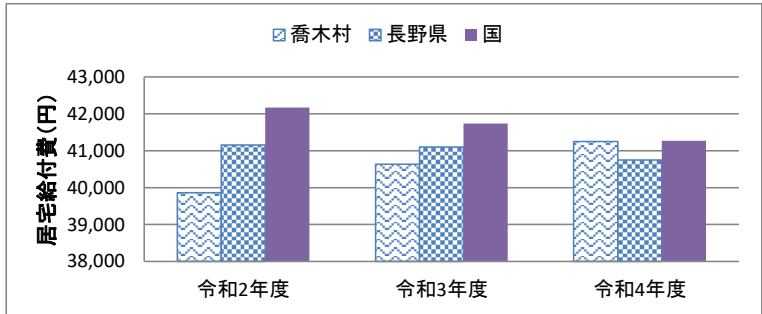
(R4年度末現在KDBより)



単位(円)

	居宅給付費		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
喬木村	39,861	40,632	41,253
長野県	41,157	41,103	40,752
国	42,170	41,736	41,272

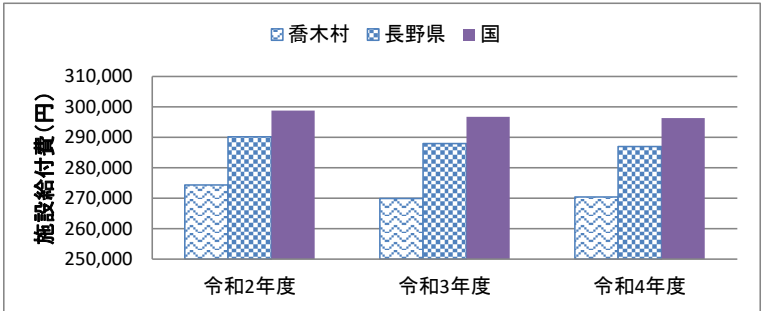
(R4年度末現在KDBより)



単位(円)

	施設給付費		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
喬木村	274,358	269,899	270,384
長野県	290,163	287,966	287,007
国	298,785	296,733	296,364

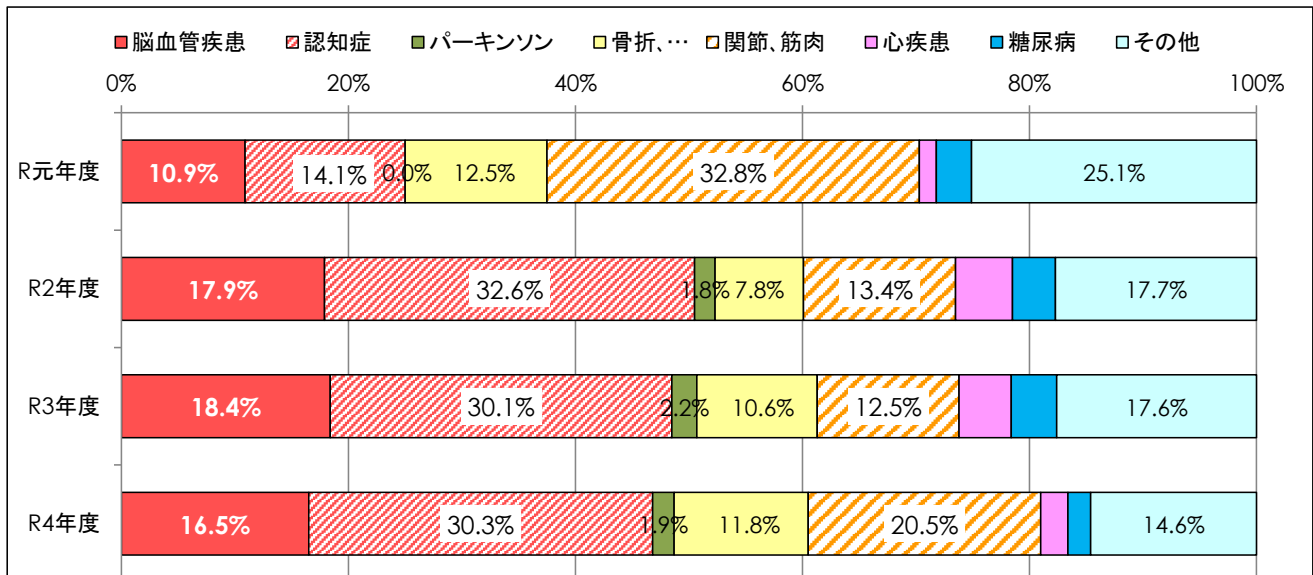
(R4年度末現在KDBより)



7. 認定者の原因疾患

(令和4年度末現在)

	脳血管疾患	認知症	パーキンソン	骨折、骨粗鬆症	関節、筋肉	心疾患	糖尿病	その他	計
R元年度	10.9%	14.1%	0.0%	12.5%	32.8%	1.5%	3.1%	25.1%	100.0%
R2年度	17.9%	32.6%	1.8%	7.8%	13.4%	5.0%	3.8%	17.7%	100.0%
R3年度	18.4%	30.1%	2.2%	10.6%	12.5%	4.6%	4.0%	17.6%	100.0%
R4年度	16.5%	30.3%	1.9%	11.8%	20.5%	2.4%	2.0%	14.6%	100.0%



令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規 完了 実計対象 評価対象 施策対象

事務事業名	一般管理経費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
	担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	010101 総務費・総務管理費・一般管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	介護保険事業に関わる一般事務費。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険システム改修委託料 260千円 消耗品費 88千円 地域包括支援センター運営協議会委員報酬 40千円 印刷製本費 32千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	446	654	0	0	0	0
	国庫支出金	144	59	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	302	515	0	0	0	0
	一般財源	0	80	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○介護保険報酬改定に係るシステム改修等、適切な事業運営のために必要な整備を行った。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	一般職人事管理経費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	010101 総務費・総務管理費・一般管理費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	介護保険事業担当職員の人事経費。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 一般職員給料 7,534千円 地方公務員共済組合等負担金 2,174千円 会計年度任用職員報酬 2,111千円 期末手当 1,474千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
	事業費	17,203	17,757	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	17,203	17,757	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○一般事務職員2名及び会計年度任用職員1名の人件費
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	賦課徴収経費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
	担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	010201 総務費・徴収費・賦課徴収費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	介護保険料賦課徴収に係わる事務費。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	介護保険料徴収率（普通徴収分）						単位	%
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	95.57	98.8						
成果	指標名	滞納繰越額						単位	円
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	1,535,430	1,385,960						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 印刷製本費 337千円 電算処理保守管理委託料 103千円 郵便料 211千円 口座振替手数料 16千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	680	930	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	680	930	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規 完了 実計対象 評価対象 施策対象

事務事業名	認定調査等関係経費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	010301 総務費・介護認定審査会費・認定調査等費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	介護認定調査に係る事務費。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	認定調査件数						単位	件
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
活動	実績値	292	270						
	指標名	うち、新規調査						単位	件
活動	説明								
	実績値	83	91						
活動	指標名	うち、区分変更調査						単位	件
	説明								
活動	実績値	38	45						
	指標名	うち、更新調査						単位	件
活動	説明								
	実績値	171	133						

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 手数料（主治医意見書作成手数料） 1,185千円 消耗品費 66千円 燃料費 60千円 通信運搬費 26千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	1,359	1,947	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	1,359	1,947	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規 完了 実計対象 評価対象 施策対象

事務事業名	認定審査会共同設置関係経費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	010302 総務費・介護認定審査会費・認定審査会共同設置負担金

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	介護認定審査会（南信州広域連合）の共同設置に伴う運営経費の負担金。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・認定審査会共同設置負担金 1,363千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	1,363	1,637	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	1,363	1,637	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規 完了 実計対象 評価対象 施策対象

事務事業名	趣旨普及関係経費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	010401 総務費・趣旨普及費・趣旨普及費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	介護保険制度に係るパンフレットを作成し、制度の普及を図る。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険料パンフレット印刷製本費 206千円 ・消耗品費 18千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	224	226	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	224	226	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	介護サービス等関係費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	020101 保険給付費・介護サービス等諸費・介護サービス等諸費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	要介護認定者（要介護1～5）の方が利用したサービス費用額の7割から9割を給付する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 居宅介護サービス給付費 288,427千円 ・ 施設介護サービス給付費 290,190千円 ・ 地域密着型介護サービス給付費 76,245千円 ・ 居宅介護サービス計画給付費 35,782千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	692,141	722,404	0	0	0	0
	国庫支出金	181,412	191,480	0	0	0	0
	都道府県支出金	101,610	104,231	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	322,601	289,086	0	0	0	0
	一般財源	86,518	137,607	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	介護予防サービス等関係費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	020201 保険給付費・介護予防サービス等諸費・介護予防サービス等諸費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	要介護認定者（要支援1・2）の方が利用したサービス費用額の7割から9割を給付する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防サービス給付費 9,867千円 介護予防サービス計画給付費 2,529千円 介護予防住宅改修費 1,079千円 介護予防福祉用具購入費 348千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	13,822	13,134	0	0	0	0
	国庫支出金	3,924	3,734	0	0	0	0
	都道府県支出金	1,727	1,642	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	6,442	5,256	0	0	0	0
	一般財源	1,729	2,502	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規 完了 実計対象 評価対象 施策対象

事務事業名	審査支払関係費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
	担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	020301 保険給付費・その他諸費・審査支払手数料

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	サービス事業者からの介護報酬請求の取りまとめ及び内容の審査に係る国保連合会への手数料。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

指標名	説明	単位					
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		実績値					
指標名		単位					
説明		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
実績値							
指標名		単位					
説明		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
実績値							
指標名		単位					
説明		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
実績値							

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・ 審査支払手数料 650 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	650	670	0	0	0	0
	国庫支出金	184	190	0	0	0	0
	都道府県支出金	81	84	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	303	268	0	0	0	0
	一般財源	82	128	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規 完了 実計対象 評価対象 施策対象

事務事業名	高額介護等サービス関係費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
	担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	020401 保険給付費・高額介護サービス等費・高額介護サービス等費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	1ヶ月の利用者負担額合計が、一定の上限額を超えた場合の払戻金。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・高額介護サービス費 13,409千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	13,409	13,700	0	0	0	0
	国庫支出金	3,807	3,895	0	0	0	0
	都道府県支出金	1,676	1,712	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	6,250	5,481	0	0	0	0
	一般財源	1,676	2,612	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規 完了 実計対象 評価対象 施策対象

事務事業名	高額医療合算介護サービス等関係費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	020501 保険給付費・高額医療合算介護サービス等費・高額医療合算介護サービス等費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	介護保険と医療保険の両方の利用者負担額を年間で合算し、高額になった場合の払戻金。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・高額医療合算介護サービス費 1,986千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	1,986	2,100	0	0	0	0
	国庫支出金	564	597	0	0	0	0
	都道府県支出金	248	262	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	926	840	0	0	0	0
	一般財源	248	401	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規 完了 実計対象 評価対象 施策対象

事務事業名	特定入所者介護サービス等費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	020601 保険給付費・特定入所者介護サービス等費・特定入所者介護サービス等費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	低所得者（住民税非課税者）に対して、施設サービス及び短期入所サービス利用時の食費・居住費（滞在費）の一部を負担する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・特定入所者介護サービス費 18,481 千円 ・特定入所者介護予防サービス費 137 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	18,618	21,742	0	0	0	0
	国庫支出金	4,402	5,148	0	0	0	0
	都道府県支出金	3,212	3,750	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	8,678	8,699	0	0	0	0
	一般財源	2,326	4,145	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	訪問型・通所型サービス事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	030101 地域支援事業費・介護予防・日常生活支援総合事業・介護予防・生活支援サービス事業

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	要介護認定者（要支援1・2）及び総合事業対象者が利用した訪問型・通所型サービス費用額の一部を給付する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・通所型サービスAの利用者減少 ・高齢者買い物支援サービス実証後、訪問型サービスへの移行準備

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	実利用者数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	208	222						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・通所型サービス 16,113千円 ・訪問型サービス 1,992千円 ・訪問型サービス (D) 460千円 ・訪問型サービス (B) 150千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	18,715	24,000	0	0	0	0
	国庫支出金	6,692	7,910	0	0	0	0
	都道府県支出金	2,339	3,000	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	7,344	9,480	0	0	0	0
	一般財源	2,340	3,610	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○通所型サービスを利用することで、高齢者の外出機会の確保ができています。 ○訪問型サービスの利用により独居高齢者や高齢者世帯が在宅で生活することが継続できている。 ○訪問型サービスDは、加々須移動サービスと北サロン送迎かごやが本格運行2年目を迎え、地区の移送サービスとして定着し、利用者が増加している。 ○高齢者買い物サービス支援事業の実証運行を行い、延べ133名の利用があった。
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○デイサービスやいきいきクラブに行き、人と話をするのが楽しみ。 ○入浴支援を2時間程度の利用時間で利用できるのも、家のことができる。 ○ヘルパーさんが自宅に来てくれておかげである。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○令和5年度に通所型サービスA事業所「機能訓練特化型運動教室さくらんぼ」が新規開所予定。 ○令和5年度から訪問型サービスDとして「たかぎショッピングツアー」の本格運行を開始する。 ○通所型サービスAの利用者が減少傾向のため、住民が介護予防に積極的に取り組めるよう広報や訪問による促しを強化する。

7. 事業評価

評価項目	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	
施策への貢献度				A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準				A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法				A：適切な方法である
	B	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性				A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	配食サービス事業（要支援・事業対象者）	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
	担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	030101 地域支援事業費・介護予防・日常生活支援総合事業・介護予防・生活支援サービス事業

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	食事の準備や調理が困難な要支援者、事業対象者に対し、栄養バランスがとれるよう食事の提供を実施、また配食の際に安否確認を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・山間地域への配達や休日の対応を含むサービスの拡充を事業者に依頼していく。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	実利用者数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	56	61						
活動	指標名	配食数						単位	食
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	4,736	5,491						
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 業務委託料 1,376 千円 補助額 250 円/1 食
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	1,376	1,650	0	0	0	0
	国庫支出金	391	469	0	0	0	0
	都道府県支出金	172	206	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	641	652	0	0	0	0
	一般財源	172	323	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○栄養バランスのとれた食事の提供を実施。加えて配食の際に安否確認を行うことにより高齢者世帯の在宅生活の継続につながっている。
村民等からの意見等	○栄養バランスの良い食事を届けてくれるのでありがたい。 ○自分で料理をするときもお弁当のメニューや味付けを参考にしている。 ○ご飯の量やおかずの内容が寂しい時がある。
今後の課題	○配達エリアについて、喬木村社協は村全域だが民間2社は南部地域や大島は要相談となっているため、利用者の割り振りに留意する必要がある。 ○弁当の量や内容についての要望を各事業所に伝え検討を依頼していく。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	介護予防ケアマネジメント事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	030101 地域支援事業費・介護予防・日常生活支援総合事業・介護予防・生活支援サービス事業

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	介護予防サービス受給者及び介護予防・日常生活支援総合事業対象者のケアプラン作成と、介護支援専門員のネットワークを形成する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 一般職員給料 3,132千円 地方公務員共済組合等負担金 928千円 期末手当 653千円 町村総合事務組合負担金 533千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	6,662	7,346	0	0	0	0
	国庫支出金	1,190	1,407	0	0	0	0
	都道府県支出金	523	618	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	4,425	4,353	0	0	0	0
	一般財源	524	968	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規 完了 実計対象 評価対象 施策対象

事務事業名	訪問指導事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	030102 地域支援事業費・介護予防・日常生活支援総合事業・一般介護予防事業

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	要介護状態や重症化の予防及び閉じこもり、うつ傾向、認知症、生活習慣病、関節疾患などを防ぐための訪問相談を実施する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	訪問指導件数						単位	件
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	100	145						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・会計年度任用職員報酬 26千円 ・旅費 1千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	27	65	0	0	0	0
	国庫支出金	8	18	0	0	0	0
	都道府県支出金	3	8	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	13	26	0	0	0	0
	一般財源	3	13	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○独居訪問83件、高齢者世帯訪問62件、8050世帯訪問17件を実施した。 ○訪問を通じて、高齢者等の身体的状況や生活状況を把握し、専門職や医療等へ繋げることで自立支援や重症化防止に寄与している。
村民等からの意見等	○訪問で話を聞いてもらえることが楽しみになっている。 ○訪問時に、制度や通知に関する説明をしてもらえるのでありがたい。
今後の課題	○新規独居及び8050世帯を優先的に、生活や身体状況に応じて訪問を行っていく。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	介護予防教室事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	030102 地域支援事業費・介護予防・日常生活支援総合事業・一般介護予防事業

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	認知症のある方を地域で支え合うため、理解を深める学習会を実施する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	学習会開催数						単位	回
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	2	3						
成果	指標名	学習会参加者数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	38	61						
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・認知症学習会講師謝礼 9 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	9	20	0	0	0	0
	国庫支出金	2	6	0	0	0	0
	都道府県支出金	1	3	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	4	7	0	0	0	0
	一般財源	2	4	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○健和会病院の認知症看護認定看護師を講師に招き、認知症予防や認知症の方を支えるための学習会を帰牛原地区で開催。18名の参加があった。 ○同様の学習会を町地区でも計画したが、感染症の拡大により令和5年度に延期とした。 ○「認知症ケアパス」を用いた少人数向けの学習会を2回開催、計43名の参加があった。 ○学習会で再生するため「認知症の方との接し方②」の動画を作成、いちごチャンネルで放送したほか村のホームページにも掲載した。
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症に関する学習会は積極的に開催してほしい。 ○今自分が飲んでる薬が認知症の発症には関係ないことを看護師さんに教えてもらって安心した。 ○接し方の動画を見て、ああやって接してやらないといけないのだな、と思った。
今後の課題	○認知症者は増加しており、認知症について多くの住民の理解を深める必要があるため今後も学習会を多く開催していく。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	転倒骨折予防事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	030102 地域支援事業費・介護予防・日常生活支援総合事業・一般介護予防事業

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	筋力低下や麻痺の進行、関節の変形による生活機能の低下を予防し、自立した生活を送るための指導を実施する。	評価対応内容	高齢化に伴う筋力の低下、関節疾患の増加が見込まれるため、転倒骨折を予防する本事業への新規参加者を増やす取組を引き続き行う。
		問題点・課題等	・健康体操教室への継続参加による効果検証を行う。 ・水中体操教室参加者を継続的に確保する方策を検討する。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	開催回数						単位	回
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	176	219						
成果	指標名	延べ参加者数						単位	人
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	1,503	1,578						
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・転倒骨折予防事業委託料 2,661千円 【内訳】健康体操教室 207回、水中体操教室 12回 ・会計年度任用職員報酬 120千円 ・消耗品費 12千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
事業費		2,793	2,811	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	765	747	0	0	0	0
	都道府県支出金	336	328	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	1,356	1,221	0	0	0	0
	一般財源	336	515	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○健康体操教室を207回開催、水中体操教室を12回開催した。水中体操教室終了後、喬木村民のみの自主教室である「ほっ湯アップル喬木はつらつコース」には現在30人の登録があり、継続して水中運動を行っている。 ○水中体操教室では、看護師が開始前に血圧の測定・健康状態の聞き取りを行い、参加者の状態を把握し必要に応じて助言等を行った。 ○感染対策を徹底した結果、参加者増につながり、最終的に前年度比2.5%増となった。
村民等からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ○水中体操教室の参加者が少なく、費用対効果に疑問を感じる。 ○健康体操教室に参加しているが、参加者が少なくて拍子が悪い時がある。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○健康体操教室は、高齢化や会場までの交通手段が確保できないなどの理由により参加者数が伸び悩んでいるため、移送手段を確立して参加者を増やす方策を検討する。水中体操教室は減量プログラム対象者及び国保健診受診者への声掛けを行ない、引き続き新規参加者の確保に努める。

7. 事業評価

評価項目	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	
施策への貢献度				A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準				A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法				A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性				A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	地区サロン等支援事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	030102 地域支援事業費・介護予防・日常生活支援総合事業・一般介護予防事業

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	地域と高齢者が交流して支え合う機会を創出し、ボランティアなど自発的活動が行えるよう支援する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・現在の担い手の高齢化に伴い、新たな担い手の育成が必要。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	C. 協働・共創によるSDGs推進プロジェクト
----------	-------------------------

3. 指標の推移

活動	指標名	実施回数						単位	回
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	110	140						
成果	指標名	延べ参加者数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	2,161	2,544						
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 地区サロン支援事業委託料 1,271千円 地域介護予防活動支援事業補助金 75千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	1,346	1,650	0	0	0	0
	国庫支出金	382	469	0	0	0	0
	都道府県支出金	168	206	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	627	652	0	0	0	0
	一般財源	169	323	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<p>○感染症対策を十分講じた上で積極的に活動を行ったことで、前年度よりも参加者数が増加した。</p> <p>○帰牛原地区「つつみ会」が解散となった一方で、南地区「ゆったりサロン」が新たに補助金を受けて活動を開始した。</p> <p>○地域介護予防活動支援事業として、のんか弁当による配食サービス・見守り活動を24回実施し、延べ利用者は508名であった。</p>
村民等からの意見等	<p>○担い手の高齢化や役員の長期化により活動の継続が困難。</p> <p>○主催する側としては、未だコロナの不安がぬぐえず、以前のように活発な活動をするに抵抗がある。</p>
今後の課題	<p>○担い手の高齢化が課題であり、新たな担い手の育成及び持続可能なサロン活動の支援を行うため、引き続き社会福祉協議会と連携して取り組む。</p>

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	リハビリ相談事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	030102 地域支援事業費・介護予防・日常生活支援総合事業・一般介護予防事業

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	筋力低下や麻痺の進行、関節の変形による生活機能の低下を予防し、自立した生活を送るため、理学療法士等によるリハビリ訪問指導を実施。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	相談回数						単位	回
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	12	12						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・委託料 理学療法士（飯田市立病院・下伊那厚生病院） 198千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	198	198	0	0	0	0
	国庫支出金	56	57	0	0	0	0
	都道府県支出金	25	25	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	92	78	0	0	0	0
	一般財源	25	38	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○専門職の評価により自宅の環境整備、介護方法や運動方法の指導を受けることで、本人の自立支援や介護者の負担軽減につながっている。
村民等からの意見等	○専門家に丁寧に見てもらえてうれしかった。 ○歩行器を使うようになり楽に動けるようになった。 ○リハビリを始めるきっかけになった。
今後の課題	○在宅生活継続につなげられるよう、対象者の選定に配慮する。 ○事業の周知に努める。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	総合相談事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	030201 地域支援事業費・包括的支援事業・任意事業費・包括的支援事業

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	地域の方々からの総合相談を受け、医療・福祉・介護・保険のサービス提供機関と連携するための調整を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 一般職員給料 3,272千円 地方公務員共済組合等負担金 921千円 期末手当 592千円 町村総合事務組合負担金 557千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	6,530	6,875	0	0	0	0
	国庫支出金	3,475	2,933	0	0	0	0
	都道府県支出金	943	930	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	1,127	1,973	0	0	0	0
	一般財源	985	1,039	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	生活支援体制整備事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	030201 地域支援事業費・包括的支援事業・任意事業費・包括的支援事業

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	生活支援コーディネーターや協議体を設置し、高齢者の生活支援等サービス体制の整備を推進する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	生活支援サポーター数						単位	人
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	92	84						
成果	指標名	高齢者が在宅での生活を続けられるための福祉サービスが整っていると答える人の割合						単位	%
	説明	村民意識調査で「満足」「まあ満足」と回答した率							
	実績値	83.8	64.5						
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援事業委託料(社協) 4,740千円 会計年度任用職員報酬 1,879千円 会計年度任用職員期末手当 375千円 社会保険料 275千円
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位:千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	7,820	7,042	0	0	0	0
	国庫支出金	2,994	2,711	0	0	0	0
	都道府県支出金	1,497	1,356	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	1,832	1,356	0	0	0	0
	一般財源	1,497	1,619	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<p>○おたすけ隊たかぎレンジャーによる有償生活支援を749回実施した。</p> <p>○事務局及びコーディネート機能について、喬木村社会福祉協議会へ委託した。</p> <p>○喬木村地域支え合い協議会からの提案を受け、社会福祉法人ほけっとの協力のもと、高齢者買い物支援サービス実証運行を行った。</p>
村民等からの意見等	<p>○ショッピングツアーは同じ地区の人と一緒に行ってよかった。コロナで電話しかできないので、買い物で人との関わりができた。</p> <p>○おたすけ隊たかぎレンジャーは親しい方が援助をしてくれる。お互いが都合の良い日を決めて実施できるので良い。</p>
今後の課題	<p>○引き続きボランティアの担い手育成や地域活動への啓発を図る。</p> <p>○生活支援サポーター数は、馬場ボランティアの会が個々の家庭事情により解散したことで8人減少した。令和5年度はたかぎショッピングツアーの本格運行に伴い、ボランティア数の増加が見込まれる。引き続き生活支援サポーターが幅広く活躍できるよう働きかける。</p>

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	認知症総合支援事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	030201 地域支援事業費・包括的支援事業・任意事業費・包括的支援事業

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	認知症者やその家族に早期に関わる認知症初期集中支援チームを配置し、早期診断・早期対応に向けた支援を行う。また、地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を家族支援と併せて行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・認知症初期集中支援チーム及び認知症ケアパスの住民、関係機関への周知が必要。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	チーム介入により課題解決の方向性を見いだせたケース数						単位	件
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	3	0						
成果	指標名	認知症カフェ利用者数						単位	人
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	57	87						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> 認知症予防にこころココグニカフェ事業委託料（たかぎスポーツクラブ） 240千円 認知症カフェ補助金（喬木村社会福祉協議会） 230千円 認知症初期集中支援推進事業業務委託料（下伊那厚生病院） 34千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

	令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
事業費	504	890	0	0	0	0
財源内訳	国庫支出金	194	343	0	0	0
	都道府県支出金	97	171	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	116	171	0	0	0
	一般財源	97	205	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<p>○認知症初期集中支援チームは、年度内に1名の利用者に介入開始。介護保険利用にはつながったが、周辺症状が強く家族の負担が相変わらず大きいため、訪問支援を継続している。</p> <p>○認知症カフェは、感染予防対策をとりながら開催し、参加者数は前年度を上回った。認知症者を介護する人の息抜きの場となっている。</p>
村民等からの意見等	<p>○認知症初期集中支援チームの介入により、認知症看護認定看護師に相談ができるようになりありがたかった。</p>
今後の課題	<p>○認知症が進行し生活に困ることが出てきてからの相談が多く、できるだけ初期の段階で介入できるよう認知症初期集中支援チームの事業周知に努める。</p> <p>○令和7年度のチームオレンジ立ち上げに向けた準備を進める。</p>

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規 完了 実計対象 評価対象 施策対象

事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	030201 地域支援事業費・包括的支援事業・任意事業費・包括的支援事業

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	医療と介護を必要とする高齢者を地域で支え、在宅医療・介護連携体制を医師会等の協力を得て充実させるための推進事業に係る広域連合への負担金。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・広域連合負担金 39千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	39	46	0	0	0	0
	国庫支出金	15	17	0	0	0	0
	都道府県支出金	7	8	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	9	8	0	0	0	0
	一般財源	8	13	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者施設・介護サービス事業所等の新型コロナ感染防止の取組（臨時） <ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム24施設アンケート、情報交換会 ・高齢者施設情報共有メーリングリストの運用開始（特養・老健・市町村等を対象） ○入退院支援ルールづくり <ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護関係者の協力を得て、切れ目なく医療と介護が提供される体制を構築
村民等からの意見等	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の医療・介護関係者、地域包括支援センター等からの在宅医療・介護サービスに関する相談支援窓口の構築。 ○人材確保をさらに進めるため、看護師等確保対策修学資金貸与制度（H29開始）の見直し。 ○調剤情報・電子お薬手帳の医療機関での普及・利活用。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	家族介護教室事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	030202 地域支援事業費・包括的支援事業・任意事業費・任意事業費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	介護者が安心して在宅介護を継続できるよう家族が障害を理解し、本人や家族が安心して生活するための学習会を実施する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	学習会参加者数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	10	15						
活動	指標名	学習会開催数						単位	回
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	1	1						
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・講師謝礼 30千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	30	20	0	0	0	0
	国庫支出金	9	5	0	0	0	0
	都道府県支出金	4	3	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	5	9	0	0	0	0
	一般財源	12	3	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○介護者のための老いじたく学習会 講師：行政書士 宮沢優一 介護者が相続や遺言について理解を深めることができた。
村民等からの意見等	○親だけではなく、自分も元気なうちから老いじたくが必要だと学んだ。
今後の課題	○介護保険認定者の介護者を対象にしていたが、学習会内容によっては対象参加者の拡大を検討する。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	やすらぎ支援事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	030202 地域支援事業費・包括的支援事業・任意事業費・任意事業費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	認知症高齢者の家族が在宅で介護を継続できるよう、見守りや話し相手となる支援員の訪問を実施。利用料は100円/1回。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・やすらぎ支援員の安定的な確保が必要。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	利用回数						単位	回
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	165	120						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・やすらぎ支援員報酬 148千円 ・やすらぎ支援員旅費 16千円 ・やすらぎ支援員傷害保険料 10千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	177	438	0	0	0	0
	国庫支出金	46	113	0	0	0	0
	都道府県支出金	23	57	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	44	206	0	0	0	0
	一般財源	64	62	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○支援員の訪問により、家族の休息や外出機会が確保でき在宅介護が継続できている。 ○認知症により不慣れな場所（デイサービス等）に出かけることに抵抗がある方でも、自宅への訪問は受け入れがよく、楽しみにされている。
村民等からの意見等	○自分の話も聞いてくれてうれしい。 ○やすらぎ支援員さんが来てくれるようになってから、認知症の症状が少し良くなった気がする。
今後の課題	○75歳の定年を迎える支援員が令和5年度に2名おり、令和4年度末の利用者5名に対し支援員は6名。今後も認知症者の増加が予想されることから、新たな支援員を確保していく必要がある。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	介護用品支給事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	030202 地域支援事業費・包括的支援事業・任意事業費・任意事業費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	住民税非課税世帯で要介護4・5の方を介護している世帯へ、介護用品購入費用の一部補助を実施する。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	受給対象者						単位	世帯
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	7	9						
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・ 重度高齢者介護慰労品 330千円 (対象者9名)
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	330	500	0	0	0	0
	国庫支出金	95	54	0	0	0	0
	都道府県支出金	48	27	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	57	181	0	0	0	0
	一般財源	130	238	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○住民税非課税世帯で介護度4・5の在宅介護者である9世帯におむつ購入券の支給を行った。
村民等からの意見等	
今後の課題	○税額確定後に対象者の抽出を行うため、最短でも7月以降の交付となってしまう。 ○地域支援事業の補助対象から外れることが見込まれており、本事業を今後村単で実施していくかを含めて検討が必要。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	B：改善の必要がある
	B	B	B	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある 地域支援事業の補助対象から除外となることが見込まれており、今後村単で実施していくかを含めて本事業のあり方について検討する必要がある。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	家族介護者交流事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	030202 地域支援事業費・包括的支援事業・任意事業費・任意事業費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	新規介護者の制度の学習や、在宅介護の継続が出来るよう介護者間での交流を図る。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	学習会参加者						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	12	12						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・家族介護者交流補助金 11千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	11	40	0	0	0	0
	国庫支出金	3	11	0	0	0	0
	都道府県支出金	2	5	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	2	17	0	0	0	0
	一般財源	4	7	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○介護保険制度の理解と介護者同士の交流を深めることができた。
村民等からの意見等	○同じ悩みを持つ介護者同士の交流に力を入れてほしい。
今後の課題	○学習会の参加者が減少しているため、参加者が興味のある学習会を計画する。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	認知症サポーター養成事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	030202 地域支援事業費・包括的支援事業・任意事業費・任意事業費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	認知症の症状や認知症者、家族の気持ちを理解し立場を思いやり行動することで誰もが安心して暮らせる地域づくりに繋げる。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

活動	指標名	認知症サポーター養成講座参加者数						単位	人
	説明	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値	93	79						
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・認知症サポーター養成事業委託料（喬木村社会福祉協議会） 100千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	100	113	0	0	0	0
	国庫支出金	29	31	0	0	0	0
	都道府県支出金	14	15	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	43	45	0	0	0	0
	一般財源	14	22	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○氏乗地区を対象に養成講座を開催し、22名の参加があった。 ○中学生を対象にした養成講座を開催し、57名の参加があった。
村民等からの意見等	○楽しく、分かりやすくてとてもためになった。笑いあり、涙ありでよかった。
今後の課題	○認知症者の増加に伴い、より多くの地域住民の理解を広めていくことが必要。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	配食サービス事業（要介護・一般高齢者）	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
	担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	030202 地域支援事業費・包括的支援事業・任意事業費・任意事業費

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5年度～令和 9年度	R3評価結果	継続
事業概要	食事の準備・調理が困難な要介護者・一般高齢者に対し、栄養バランスがとれるよう食事の提供を実施、また配食の際に安否確認を行う。	評価対応内容	
		問題点・課題等	・山間地域への配達や休日の対応を含むサービスの拡充を事業者に依頼していく。

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

成果	指標名	実利用者数						単位	人
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	25	30						
活動	指標名	配食数						単位	食
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値	1,891	2,612						
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4年度	・業務委託料 649千円 ・補助額 250円/1食
令和 5年度	
令和 6年度	
令和 7年度	
令和 8年度	
令和 9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4年度決算額	令和 5年度予算額	令和 6年度計画額	令和 7年度計画額	令和 8年度計画額	令和 9年度計画額
財源内訳	事業費	649	750	0	0	0	0
	国庫支出金	188	203	0	0	0	0
	都道府県支出金	93	101	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	274	332	0	0	0	0
	一般財源	94	114	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○栄養バランスがとれた食事の提供を実施、また配食の際に安否確認を行うことにより高齢者世帯の在宅生活の継続につながっている。
村民等からの意見等	○栄養バランスの良い食事を届けてくれるのでありがたい。 ○自分で料理をするときもお弁当のメニューや味付けを参考にしている。 ○ご飯の量やおかずの内容が寂しい時がある。
今後の課題	○配達エリアについて、喬木村社協は村全域だが民間2社は南部地域や大島は要相談となっているため、利用者の割り振りに留意する必要がある。 ○弁当の量や内容についての要望を各事業所に伝え検討を依頼していく。

7. 事業評価

事業への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は適正である
	A	A	A	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規

完了

実計対象

評価対象

施策対象

事務事業名	地域包括支援センター運営事業	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	030301 地域支援事業費・地域包括支援センター運営事業・地域包括支援センター運営事業

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	地域包括支援センター運営に関する経費。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・一般職員給料 4,566千円 ・地方公務員共済組合等負担金 1,482千円 ・勤勉手当 1,041千円 ・期末手当 848千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	10,840	11,281	0	0	0	0
	国庫支出金	3,132	3,052	0	0	0	0
	都道府県支出金	1,566	1,526	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	1,871	4,997	0	0	0	0
	一般財源	4,271	1,706	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○相談業務や訪問等を通して、地域に暮らす住民の介護予防や日々の暮らしを様々な側面からサポートしている。
村民等からの意見等	
今後の課題	○引き続き地域包括支援センターの周知を行い、村民に身近な存在として認知してもらえるよう努めていく。

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規 完了 実計対象 評価対象 施策対象

事務事業名	審査支払関係費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
	担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	030401 地域支援事業費・その他諸費・審査支払手数料

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	介護予防・日常生活支援総合事業に係るサービス事業者から介護報酬請求の取りまとめ及び内容の審査に係る国保連合会への手数料。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

指標名	説明	単位					
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		実績値					
指標名		単位					
説明		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
実績値							
指標名		単位					
説明		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
実績値							
指標名		単位					
説明		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
実績値							

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・ 審査支払手数料 98 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	98	140	0	0	0	0
	国庫支出金	28	39	0	0	0	0
	都道府県支出金	12	18	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	45	56	0	0	0	0
	一般財源	13	27	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規 完了 実計対象 評価対象 施策対象

事務事業名	基金関係経費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
	担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	040101 基金積立金・基金積立金・介護給付費準備基金積立金

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	第1号保険料超過分を準備基金へ積立て、翌年度以降保険料不足時の財源とする。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	・基金関係経費 17千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	17	17	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	16	16	0	0	0	0
	一般財源	1	1	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	○介護給付実績を鑑み、今年度は基金積立を行わなかった。
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規 完了 実計対象 評価対象 施策対象

事務事業名	第1号被保険者保険料還付関係費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係	
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	050101 諸支出金・償還金及び還付加算金・第1号被保険者保険料還付金

1. 事務事業の概要

事業期間	令和5年度～令和9年度	R3評価結果	継続
事業概要	過年度の保険料に対する還付金及び返納金。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

	指標名							単位	
	説明								
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	実績値								
	指標名							単位	
	説明								
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	実績値								

4. 年度別事業内容

令和4年度	・第1号被保険者保険料還付金 42千円
令和5年度	
令和6年度	
令和7年度	
令和8年度	
令和9年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和4年度決算額	令和5年度予算額	令和6年度計画額	令和7年度計画額	令和8年度計画額	令和9年度計画額
財源内訳	事業費	42	50	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	42	50	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由

令和 5 年度 事務事業評価シート

(R 4 年度実績)

新規 完了 実計対象 評価対象 施策対象

事務事業名	償還金関係経費	
総合計画	基本目標	01 福祉・保健・医療／すべての人が生涯にわたり、健康で安心して暮らせるむら
	施策	05 高齢者福祉の推進
	担当所属	500300 保健福祉課・包括支援係
予算科目	会計	05 介護保険特別会計
	科目	050102 諸支出金・償還金及び還付加算金・償還金

1. 事務事業の概要

事業期間	令和 5 年度～令和 9 年度	R3 評価結果	継続
事業概要	前年度保険給付費等精算後の返納金。	評価対応内容	
		問題点・課題等	

2. 事務事業の分類

重点プロジェクト	
----------	--

3. 指標の推移

指標名	説明	単位					
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		実績値					

指標名	説明	単位					
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		実績値					

指標名	説明	単位					
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		実績値					

指標名	説明	単位					
		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		実績値					

4. 年度別事業内容

令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・国庫負担金返還金 3,058 千円 ・県負担金返還金 1,142 千円
令和 5 年度	
令和 6 年度	
令和 7 年度	
令和 8 年度	
令和 9 年度	

5. 年度別事業費

(単位：千円)

		令和 4 年度決算額	令和 5 年度予算額	令和 6 年度計画額	令和 7 年度計画額	令和 8 年度計画額	令和 9 年度計画額
財源内訳	事業費	4,200	7	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	4,200	7	0	0	0	0

6. 事業の成果・課題

成 果	
村民等からの意見等	
今後の課題	

7. 事業評価

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか
	2年度	3年度	4年度	A：十分貢献している
	A	A	A	【凡例】 A:十分貢献している B:一部貢献している C:あまり貢献していない
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：経費は適正な水準である
	A	A	A	【凡例】 A:適正な水準である B:節減できる余地が一部ある C:節減できる余地が多くある
事業手法	評価結果			事業方法は適正か
	2年度	3年度	4年度	A：適切な方法である
	A	A	A	【凡例】 A:適切な方法である B:改善の必要がある
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか
	2年度	3年度	4年度	Z：受益と負担の適正化を求める事務事業ではない
	Z	Z	Z	【凡例】 A:適正 B:一部見直しが必要 C:全面見直しが必要 Z:負担を求める事業ではない

8. 総合評価

今後の方向性	2：継続
	判断理由



わかりやすい決算書のご質問については、喬木村役場企画財政課までお問い合わせください。

【喬木村役場 企画財政課】

電話：0265-33-2001（代表）
0265-33-5129（直通）

メールアドレス：zaisei@vill.takagi.nagano.jp

村の予算・決算は村のホームページでもご覧になれます。

ホームページ：<http://www.vill.takagi.nagano.jp/>